

# 元総社蒼海遺跡群 (48)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2014.3

前橋市教育委員会

# 元総社蒼海遺跡群 (48)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2014.3

前橋市教育委員会

口絵写真 1



元総社畜海漁師群 (48) から櫻名山を望む 南東から



元總社蒼海遺跡群（48）全景 上が北

## は　じ　め　に

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国を中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる雁橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（48）は古代上野国の中核地域の調査であります。上野国府推定地域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出は出来ませんでしたが、縄文時代前期の住居跡をはじめ古墳時代から中世までの各時代の遺構や遺物を検出できました。特に遺跡中央に存在した谷地形の検出とそれに伴う各時代の集落変遷が解明できたことは一つの成果といえます。

今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、極暑の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成26年3月

前橋市教育委員会

教育長 佐藤博之

## 例　　言

1. 本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（48）発掘調査報告書である。

2. 調査主体は、前橋市教育委員会である。

3. 発掘調査の要項は次のとおりである。

調　　査　　場　　所　　群馬県前橋市元総社町1557、1559、1560-2、1560-3

遺　　跡　　コ　　ード　　24 A 130-48

発　　掘　　調　　査　　期　　間　　平成24年12月13日～平成25年3月29日

整　　理　　・　報　　告　　書　　作　　成　　期　　間　　平成25年11月13日～平成26年3月20日

発　　掘　　・　整　　理　　担　　当　　者　　日沖剛史・石岡雅晴（有限会社毛野考古学研究所）

4. 本遺跡に関する遺構測量に関しては、小出拓磨（有限会社毛野考古学研究所）が担当した。

5. 本書の編集は日沖（有限会社毛野考古学研究所）が行った。原稿執筆はIを福田貴之（前橋市教育委員会）、他を日沖が担当した。なお、遺物実測図・観察表に関しては、和久拓照・南田法正・土井道昭・山本千春・伊藤順一（有限会社毛野考古学研究所）が担当し、土器を和久・南田・山本・宮本、石器を土井・鉄製品を伊藤が行った。また、遺物写真に関しては長井正欣（有限会社毛野考古学研究所）が撮影した。

6. 遺跡の位置と環境については、『元総社蒼海遺跡群（28）』2010 前橋市埋蔵文化財発掘調査団を参照されたい。

7. 発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】 井口ヒロ子・井出 稔・岡村美弥子・狩野友好・川島隆好・北野進二・小関泰洋・齊藤清一  
佐藤開雄・志村久子・鈴木 正・鈴木 浩・鈴木若葉・高橋道敏・竹生正明・黒使川原幸枝  
永井述史・中島勝由・西山勝久・庭山靖正・萩原秀子・橋元裕児・藤丸亮介・森山恵子  
森山孝男

【整理作業】 磯 洋子・内田恵美子・大塚規子・合田幸子・高橋奈緒・永井祐二・山口昌子・山下奈那子

8. 発掘調査で出土した遺物及び、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

9. 以下の諸氏・機関に有益な御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）

石井克己・坂口 一・櫻井和哉・鈴木徳雄・橋本 淳・三浦京子・水谷貴之・三宅敦氣・山口逸弘

元総社町自治会・山下工業株式会社・J-T空撮

## 凡　　例

1. 遺構図の縮尺は、平面図及び土層断面図を1/60縮尺で表現することを基本として掲載し、挿図にはスケールを付してある。また、図中の北方位は座標北であり、座標値は日本測地系に基づいている。

2. 遺物実測図の縮尺は、1/1～1/6縮尺の範囲で掲載し、図中にスケールを付してある。遺物写真は遺物実測図とはほぼ同縮尺である。

3. 遺構実測図で使用しているトーンについては、随時図中に注釈を付してある。

4. 遺物実測図に使用しているトーンは次の意味を表す。

【断面】 須恵器 ■■■　灰釉陶器 □□□　【器面】 灰釉 □□□　油煙・煤 □□□　黒色処理 ■■■

5. 遺構及び土器の色調觀察は『新版 標準土色帖』（農林水産技術会議事務局 財團法人日本色彩研究所監修 2006）に従っている。

# 目 次

口絵写真

はじめに

例言・凡例

目次・図版目次・表目次・写真図版目次

I 調査に至る経緯	1
II 調査方針と経過	3
1 調査方針	3
2 調査経過	4
III 標準堆積土層	4
IV 遺構と遺物	5
Vまとめ	81

抄録

写真図版

奥付

## 図版目次

Fig. 1 調査区域図	1	Fig. 28 遺構実測図 (23)	34
Fig. 2 遺跡の位置	2	Fig. 29 遺構実測図 (24)	35
Fig. 3 元総社蒼海遺跡群位置図	3	Fig. 30 遺構実測図 (25)	36
Fig. 4 標準堆積土層	4	Fig. 31 遺構実測図 (26)	37
Fig. 5 全体図	11	Fig. 32 遺構実測図 (27)	38
Fig. 6 遺構実測図 (1)	12	Fig. 33 遺構実測図 (28)	39
Fig. 7 遺構実測図 (2)	13	Fig. 34 遺物実測図 (1)	40
Fig. 8 遺構実測図 (3)	14	Fig. 35 遺物実測図 (2)	41
Fig. 9 遺構実測図 (4)	15	Fig. 36 遺物実測図 (3)	42
Fig. 10 遺構実測図 (5)	16	Fig. 37 遺物実測図 (4)	43
Fig. 11 遺構実測図 (6)	17	Fig. 38 遺物実測図 (5)	44
Fig. 12 遺構実測図 (7)	18	Fig. 39 遺物実測図 (6)	45
Fig. 13 遺構実測図 (8)	19	Fig. 40 遺物実測図 (7)	46
Fig. 14 遺構実測図 (9)	20	Fig. 41 遺物実測図 (8)	47
Fig. 15 遺構実測図 (10)	21	Fig. 42 遺物実測図 (9)	48
Fig. 16 遺構実測図 (11)	22	Fig. 43 遺物実測図 (10)	49
Fig. 17 遺構実測図 (12)	23	Fig. 44 遺物実測図 (11)	50
Fig. 18 遺構実測図 (13)	24	Fig. 45 遺物実測図 (12)	51
Fig. 19 遺構実測図 (14)	25	Fig. 46 遺物実測図 (13)	52
Fig. 20 遺構実測図 (15)	26	Fig. 47 遺物実測図 (14)	53
Fig. 21 遺構実測図 (16)	27	Fig. 48 遺物実測図 (15)	54
Fig. 22 遺構実測図 (17)	28	Fig. 49 遺物実測図 (16)	55
Fig. 23 遺構実測図 (18)	29	Fig. 50 遺物実測図 (17)	56
Fig. 24 遺構実測図 (19)	30	Fig. 51 遺物実測図 (18)	57
Fig. 25 遺構実測図 (20)	31	Fig. 52 遺物実測図 (19)	58
Fig. 26 遺構実測図 (21)	32	Fig. 53 遺物実測図 (20)	59
Fig. 27 遺構実測図 (22)	33	Fig. 54 遺物実測図 (21)	60

Fig. 55 遺物実測図 (22) .....	61	Fig. 58 遺物実測図 (25) .....	64
Fig. 56 遺物実測図 (23) .....	62	Fig. 59 遺物実測図 (26) .....	65
Fig. 57 遺物実測図 (24) .....	63	Fig. 60 遺物実測図 (27) .....	66

## 表目次

Tab. 1 住居跡一覧表 (1) .....	6	Tab. 14 出土遺物観察表 (5) .....	70
Tab. 2 住居跡一覧表 (2) .....	7	Tab. 15 出土遺物観察表 (6) .....	71
Tab. 3 住居跡一覧表 (3) .....	8	Tab. 16 出土遺物観察表 (7) .....	72
Tab. 4 住居跡一覧表 (4) .....	9	Tab. 17 出土遺物観察表 (8) .....	73
Tab. 5 土坑一覧表 .....	9	Tab. 18 出土遺物観察表 (9) .....	74
Tab. 6 集石遺構一覧表 .....	10	Tab. 19 出土遺物観察表 (10) .....	75
Tab. 7 壁穴状遺構一覧表 .....	10	Tab. 20 出土遺物観察表 (11) .....	76
Tab. 8 性格不明遺構一覧表 .....	10	Tab. 21 出土遺物観察表 (12) .....	77
Tab. 9 溝一覧表 .....	10	Tab. 22 出土遺物観察表 (13) .....	78
Tab. 10 出土遺物観察表 (1) .....	66	Tab. 23 出土遺物観察表 (14) .....	79
Tab. 11 出土遺物観察表 (2) .....	67	Tab. 24 出土遺物観察表 (15) .....	80
Tab. 12 出土遺物観察表 (3) .....	68	Tab. 25 出土遺物観察表 (16) .....	81
Tab. 13 出土遺物観察表 (4) .....	69		

## 写真図版目次

<b>P L . 1</b>	<b>P L . 5</b>	<b>H - 27 号住居跡全景</b>
元経社舊海道跡群 (48) 連景	H - 13 号住居跡全景	H - 28 号住居跡全景
元経社舊海道跡群 (48) 調査区北側全景	H - 13 号住居跡炉跡全景	H - 28 号住居跡カマド全景
<b>P L . 2</b>	H - 13 号住居跡壁塗穴 (P15) 断ち割り断面	H - 30 号住居跡全景
H - 1 号住居跡全景	H - 14 号住居跡全景	H - 30 号住居跡炉跡全景
H - 1 号住居跡カマド全景	H - 14 号住居跡カマド全景	H - 31 号住居跡全景
H - 2 号住居跡全景	H - 15 号住居跡全景	J - 1 号住居跡全景
H - 2 号住居跡カマド全景	H - 15 号住居跡カマド全景	J - 1 号住居跡出土状況
H - 3 号住居跡全景	P L . 6	J - 1 号住居跡遺物出土状況
H - 4 号住居跡全景	H - 16 号住居跡全景	J - 1 号住居跡遺物出土状況
H - 5 号住居跡全景	H - 16 号住居跡カマド全景	J - 1 号住居跡遺物出土状況
<b>P L . 3</b>	H - 17 号住居跡全景	J - 1 号住居跡遺物出土状況
H - 6 号住居跡掘り方全景	H - 17 号住居跡カマド全景	<b>P L . 10</b>
H - 6 号住居跡カマド全景	H - 18 号住居跡全景	D - 4 号土坑全景
H - 7 号住居跡全景	H - 19 号住居跡掘り方全景	D - 4 号土坑遺物出土状況
H - 7 号住居跡カマド全景	H - 20 号住居跡全景	D - 8 号土坑全景
H - 8 号住居跡全景	H - 20 号住居跡カマド全景	D - 10 号土坑全景
H - 9 号住居跡全景	P L . 7	J D - 1 号土坑全景
H - 9 号住居跡カマド全景	H - 20 号住居跡出入口方施設検出状況	J D - 1 号土坑遺物出土状況
H - 10 号住居跡全景	H - 20 号住居跡出入口方施設断ち割り断面	J D - 2 号土坑全景
<b>P L . 4</b>	H - 21 号住居跡全景	1号配石全景
H - 10 号住居跡カマド全景	H - 21 号住居跡カマド全景	P L . 11
H - 10 号住居跡藏穴遺物出土状況	H - 22 号住居跡全景	T - 1 号壁穴状遺構全景
H - 11 号住居跡全景	H - 22 号住居跡カマド全景	T - 2 号壁穴状遺構全景
H - 11 号住居跡カマド全景	H - 23 号住居跡掘り方全景	T - 3 壁穴状遺構全景
H - 11 号住居跡藏穴遺物出土状況	H - 24 号住居跡全景	S X - 1 号性格不明遺構全景
H - 12 号住居跡全景	H - 25 号住居跡全景	S X - 2 号性格不明遺構全景
H - 12 号住居跡カマド全景	H - 26 号住居跡全景	S X - 3 号性格不明遺構全景
H - 12 号住居跡横穴施設断ち割り断面		W - 2 号漆器全景

W - 2 号漆器出土状況

P L . 12		P L . 21	
出土遺物①	出土遺物⑧	P L . 22	出土遺物⑨
P L . 13		P L . 23	出土遺物⑩
出土遺物②		P L . 24	出土遺物⑪
P L . 14		P L . 25	出土遺物⑫
出土遺物③		P L . 26	出土遺物⑬
P L . 15		P L . 27	出土遺物⑭
出土遺物④		P L . 28	出土遺物⑮
P L . 16		P L . 29	出土遺物⑯
出土遺物⑤			出土遺物⑰
P L . 17			出土遺物⑱
出土遺物⑥			出土遺物⑲
P L . 18			出土遺物⑳
出土遺物⑦			出土遺物㉑
P L . 19			出土遺物㉒
出土遺物⑧			出土遺物㉓
P L . 20			出土遺物㉔
出土遺物⑨			出土遺物㉕

## I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、14年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成24年11月8日付けで前橋市長 山本 龍（区画整理第二課）より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託し、整理業務については次年度に行なうよう前橋市に回答をした。民間調査組織の導入等については、依頼者である前橋市の合意も得られ、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下に発掘調査を実施することになり、平成24年12月13日付けで前橋市と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所との間で発掘調査業務契約を締結し、平成25年1月7日より発掘調査を開始した。整理業務については、平成25年9月12日付けで前橋市長 山本龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財整理業務依頼が提出されたが、直営での整理業務は困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう回答し、平成25年11月13日付けで前橋市と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所との間で埋蔵文化財整理業務委託契約書を締結し、整理業務が開始された。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群(48)」(遺跡コード:24A130-48)の「元総社蒼海」は区画整理事業名を採用し、数字の「(48)」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

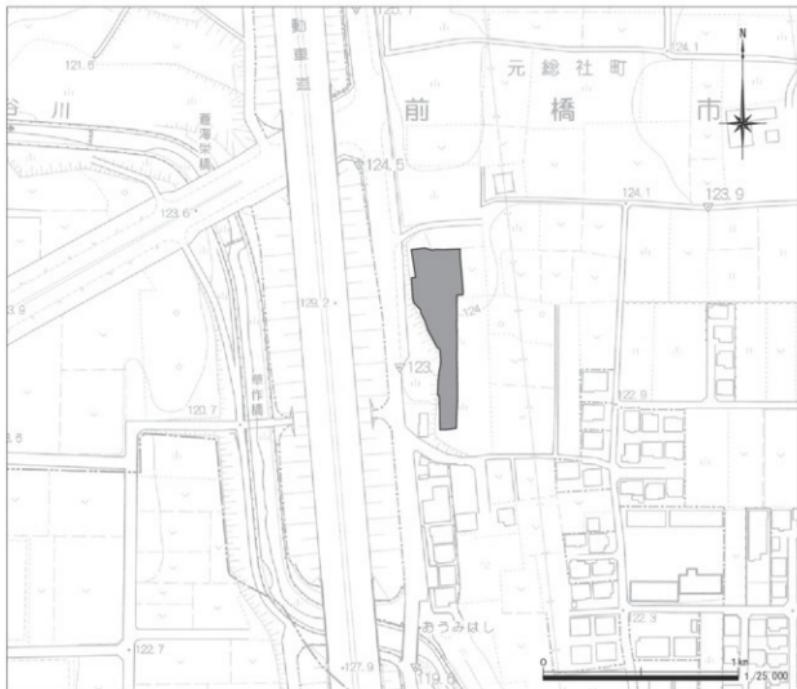


Fig. 1 調査区域図（前橋市役所発行『前橋市現形図 51-2』1/2,500）

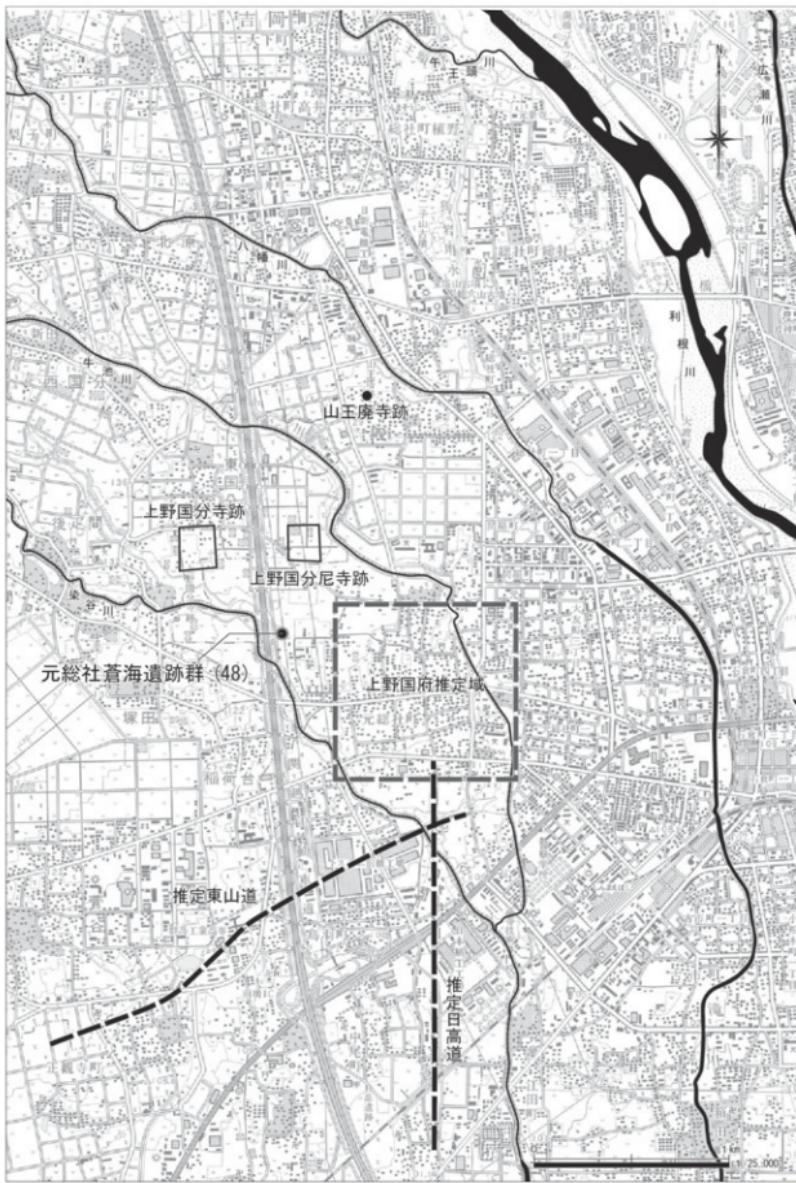


Fig. 2 遺跡の位置 (国土地理院発行『前橋』1/25,000)

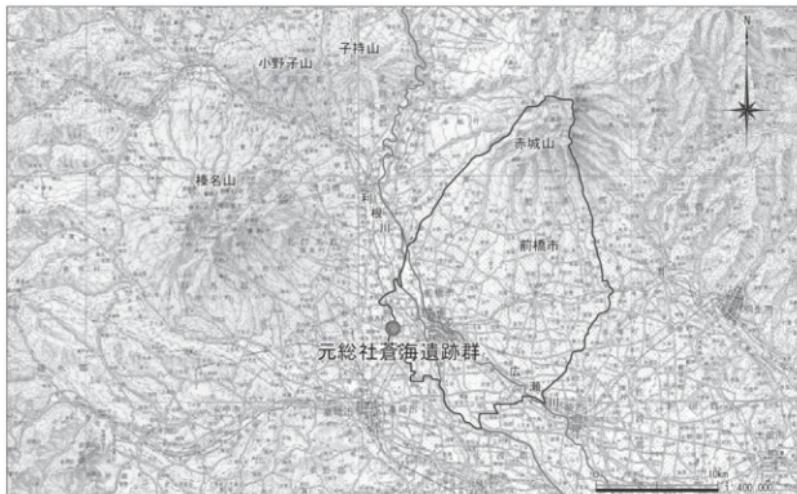


Fig. 3 元總社蒼海遺跡群位置図 (国土地理院発行『宇都宮』・『長野』1/200,000を50%縮小)

## II 調査方針と経過

### 1 調査方針

調査区に被せる方眼は2000年に行われた上野国分尼寺寺域確認調査から用いられているX : 44000.0000 (Y : 0), Y : -72200.0000 (X : 0)を基点とした4mごとの方眼(日本測地系)を用い、近隣調査との整合性を取りやすくした。グリッドは北西杭の名称を使用し、西から東へX:25, X:26, X:27…、北から南へY:170, Y:171, Y:172…、と設定した。本遺跡のX : 25, Y : 175の公共座標は以下のとおりである。

- ・元總社蒼海遺跡群 (48) 測点 X : 25 Y : 175

日本測地系 : X = 43300.000 Y = -72100.000 世界測地系 : X = 43654.9122 Y = -72391.7549

調査方法は、基本的に表土除去→遺構確認→遺構検出→断面観察→遺構完掘の順に行い、測量及び写真撮影による記録保存は、調査の進捗に合わせて随時行っている。表土除去は0.7バッカホーで遺構確認面であるA-s-Cが混入する黒褐色土層IV層上面まで掘り下げるのこととした。遺構確認は重複が激しいことから、調査区を4mごとの方眼に区画し、区画ラインをベルトとして、各区画ごとに遺構の詳細を捉えられるまで、ジョレンを使用して掘り下げることとした。確認された遺構は基本的に移植ゴテを使用して掘り下げた。遺構の検出過程では、ベルトないし半截により遺構の埋没状況を確認し、出土遺物は可能な限りトータルステーションで出土位置及び標高を記録した後に取り上げを行った。

検出された遺構の記録保存は、平面・断面測量及び写真撮影で対応している。遺構図面は平面・断面図とともに基本1/20縮尺で作成し、平面図はトータルステーション、断面図は手実測で対応している。遺構写真は、35mm白黒・35mmカラーリバーサルフィルムを使用して撮影し、補助として1,000万画素相当のデジタルカメラも利用した。また、完掘後はラジコンヘリコプターによる空撮も行っている。

## 2 調査経過

### 【発掘調査】

平成 24 年 12 月 13 日：調査準備。現地打ち合わせ。平成 25 年 1 月 7 日：重機の搬入。重機による雑木除去および残土置き場の整地。1 月 8 日：重機による表土除去開始。1 月 11 日：プレハブ・簡易トイレの設置。1 月 15 日：発掘補助員動員。調査区内の安全対策。1 月 16 日：遺構確認作業に着手。基準点・グリッド杭の設置。1 月 21 日：遺構確認作業と併行して遺構検出作業を開始する。2 月 1 日：発掘補助員増員。2 月 4 日：古墳時代後期に帰属する H-11 号住居跡が特異な形状を示すことが判明。同住居跡貯蔵穴中より完形の甕が出土。出土遺物の洗浄作業を開始する。2 月 5 日：縄文時代中期後半（加曾利 E III 式期）に帰属する土坑を確認し検出作業に取り掛かる。2 月 7 日：H-10 号住居跡で壁外へ突き出る貯蔵穴を確認。2 月 18 日：土器洗浄と併行して注記作業に着手。2 月 26 日：平安時代の河道と考えられる SX-1 号性格不明遺構を確認し、検出作業に取り掛かる。3 月 16 日：元総社歴史会への現場説明会。3 月 19 日：縄文時代前期後半（諸磲 b 式期）の住居跡（J-1 号住居跡）を確認し、検出作業に取り掛かる。3 月 25 日：遺構検出の終了を受け、空撮を行う。3 月 26 日：遺構全体測量。3 月 27 日：埋め戻しを開始。3 月 28 日：土器洗浄・注記作業を完了する。3 月 29 日：プレハブ・簡易トイレ・発掘器材の撤収、埋め戻しを終了し、現地での発掘調査を終了する。

### 【報告書作成】

平成 25 年 11 月 13 日：出土遺物の接合を開始。11 月 15 日：図面修正・写真図版作成。12 月 12 日：遺構原稿執筆及び遺物実測開始。1 月 15 日：遺物・遺構トレース開始。2 月 25 日：版組み。3 月 3 日：入稿・校正。3 月 17 日：印刷・製本。3 月 20 日：報告書発行。

## III 標準堆積土層

本遺跡は染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地している。今回の調査区は、基本的に総社砂層（VI 層）により形成された台地の縁辺部にあたるが、調査区東側については南北方向に走行するものと想定される谷が存在している。標準堆積土層は台地上では総社砂層（VI 層）まで、谷地形部分では粘性を有する黒褐色土層（V' 層）までを確認している。総社砂層の厚さは近隣遺跡の調査から、2.5 m 以上にも及ぶ。今回の調査では確認できなかったものの、総社砂層の下には A s - S j （浅間 - 総社軽石：11,000 年前降下：y b p）、さらには A s - Y P（浅間 - 板鼻黄褐色軽石：13,000 ~ 14,000 年前降下：y b p）が堆積しているものと推測される。A s - S j は前橋泥炭層中に含まれており、A s - S j 降下時（縄文時代早期）の本遺跡周辺は、湿地であったことを示している言えよう。なお、本遺跡周辺が台地化するのは、洪水を起源とする総社砂層の度重なる堆積によるものと考えられ、台地形成後に集落が形成されるのは、縄文時代前期後半あたりと推測されている。

谷地形部分に関しては、十分な検討を行うまでは至っていないが、谷地形は総社砂層が生成後に形成されたもので、さらに A s - C 降下時には埋まり切っていたものと想定される。

VI 層より上位に堆積する土は、上から A s - A （浅間 A 軽石：1,783 年降下）の混入が見られる現表土（I 層）、旧耕作土（II 层）、A s - B （浅間 B 軽石：1,108 年降下）が混入する暗灰色土（III 层）、A s - C （浅間 C 軽石：3 世紀後半降下）が混入する黒褐色土（IV 层）、IV 层と VI 層の漸移層と考えられるにぶい黄褐色土（V 層）が認められる。なお、谷地形部分に関しても V' 層よりも上位に堆積する土は総社砂層を基盤とする台地上の堆積と同様となっている。

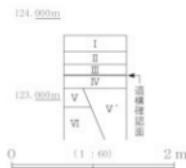


Fig. 4 標準堆積土層

## IV 遺構と遺物

本遺跡の調査では、堅穴住居跡 31 軒、土坑 14 基、集石 1 基、堅穴状遺構 3 基、性格不明遺構 3 基、溝 4 条、ピット多数を確認することができている。

堅穴住居跡は縄文時代前期後半が 1 軒で、その他は古墳時代前期～平安時代の範疇に帰属するものである。縄文時代前期後半の住居跡である J - 1 号住居跡は、諸磯 b 式期と想定され、多量の土器および石器の出土が認められている。本住居跡は円形状を呈し、壁面より約 1 m の範囲は床面が高く、その内側はやや段差を有する状態にある。さらに、段差部分には多数のピットが集中する状態が認められている。出土遺物は良好な状態で深鉢が数個体出土しているほか、黒曜石の出土が目立つ。黒曜石は石鏃・石錐などの製品以外に、微細な剥片および製品を作る際の素材となり得る剥片の出土が数多く確認されている。素材剥片から製品を作成できる人々が生活している集落と考えられよう。古墳時代前期～平安時代の住居跡は 30 軒を数える。このうち、特徴的な様相を示す住居跡が確認されており、H - 2・11・12・13・19・20 号住居跡が挙げられる。H - 2 号住居跡は古墳時代後期（6 世紀代）の住居跡で人為埋没を示すものである。本住居跡は柱穴配置が特徴的で、2 本柱穴となっている。また、良好な須恵器の出土も認められている。H - 11 号住居跡も古墳時代後期（6 世紀代）の住居跡でカマドおよび貯蔵穴の配置が、通常的に見られる該期の住居跡とは異なる。カマドは南壁の東端寄り、貯蔵穴はカマドの西隣に付設されている。貯蔵穴の埋没土中位からは完形の甕が出土しており、出土状況から貯蔵穴には有機物の蓋が存在していた可能性が考慮される。H - 12・20 号住居跡は平安時代に帰属するもので、H - 12 号住居跡が 10 世紀代、H - 20 号住居跡が 9 世紀代に比定されるものである。これらの住居跡には付設位置は異なるものの、出入口に関連するものと想定される階段ないしスロープの痕跡が認められている。H - 12 号住居跡は西壁中央に地山を掘り残すような状態で段差が形成されている。H - 20 号住居跡の南壁には、盛土でスロープが形成されており、表面は硬化した状態であった。なお、本住居跡の出土遺物を概観すると国分寺で使用されていたものと想定される瓦が見られる。9 世紀代では国分寺は機能しているものと考えられており、一般的な人々が生活する堅穴住居跡内から国分寺の瓦が出土する状態は解釈に苦しんだが、818 年の大地震によって崩落して壊れた国分寺瓦を使用していたのではないかとの指摘をいただいている。H - 13 号住居跡は古墳時代前期（4 世紀代）の住居跡で、南北の壁面にのみ直径 15 cm 程の柱穴列が確認されている。南北の壁面だけに柱穴列が認められる状況から、本柱穴は壁面に設置される壁材を固定するとともに屋根の支えとなっていた可能性が考えられよう。仮に本柱穴が屋根を支える機能を有していたのであれば、本住居跡の屋根は切妻状を呈していたのであろう。H - 19 号住居跡は平安時代（10 世紀代）の住居跡で、貼床の下からは多数の土坑が認められている。本住居跡の立地は埋まりきった谷の上に構築されており、ちょうど床下の土坑部分からは、粘質土を採取することが可能である。床下は粘土採掘のために掘られたのかもしれない。なお、このような類例は、渋川市の白井遺跡群で多数確認されている。

土坑は 14 基確認されているが、このうち 4 基が縄文時代、7 基が古墳時代～平安時代、3 基が A s - B 降下以降の所産である。縄文時代の土坑は J D - 1・2 号土坑が中期後半の加曾利 E III 式期、J D - 4 号土坑が堀之内 2 式～加曾利 B 式期と考えられるものである。特に J D - 4 号土坑は調査区西側の段丘壁面に近い位置に存在しており、低位段丘においても該期の遺構が存在する可能性を示唆し得るものと言えよう。D - 4・10 号土坑は A s - B 降下以降の土塼墓で D - 4 号土坑からは古銭、D - 10 号土坑からはカワラケの出土が見られる。

ピットは多数確認できているが、掘立柱建物跡や堅穴住居跡の柱穴と考えられるものは見当たらない。

溝は 4 条確認されており、W - 1 号溝は欠番、W - 2 号溝は A s - B が混入する土で埋没しており、現地形の西側と並走する状態で確認された。このような状況から、本溝が構築された時期には、現在の地形が形成されたいたものと推測できよう。

性格不明遺構は3基確認されており、SX-1は当初、粘土採掘坑と考えていたが、調査が進行するにつれ、本遺構は9世紀代の自然流路であることが判明している。SX-2からは、国分寺創建期のものと考えられる「當」の印が押された平瓦が出土している。SX-3は円形状の掘り込みとなっており、縄文時代晩期の土器が出土していることから、住居跡の可能性を含むが、炉跡や柱穴の確認ができなかつたため、性格不明遺構とした。

堅穴状遺構は3基確認されていいるが、いずれも堅穴住居跡の可能性を有するものである。炉跡・カマド・柱穴を確認できなかつたため、堅穴状遺構としている。

集石は1基確認されており、自然礫とともに打製石斧・石錐・加曾利EIV式土器等が出土している。

本遺跡の地形を概観すると、調査区の西側は主に総社砂層によって形成された台地で、東側は谷地形となる。この谷地形は北東-南西方向に走行しており、少なくとも古墳時代前期には埋没しきっていたものと考えられる。

以下、各遺構の詳細に関してはTab. 1~9に記すこととする。

Tab. 1 住居跡一覧表(1)

遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-1号住居跡	X023:Y153	N-68°E	(方形・長方形)	(3.82) × (1.63) × 0.22	(6.23)	不明	
出土遺物	参考						
				住居跡の形状から平安時代の可能性が高い			
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-2号住居跡	X024:Y154	N-75°E	長方形状	5.46 × 4.04 × 0.50	22.06	6世紀前半	
付随施設(長軸×短軸×深さ) m							
貯藏穴: 0.88 × 0.75 × 0.72 P1: 0.47 × 0.45 × 0.48 P2: 0.50 × 0.50 × 0.46	参考						
出土遺物	参考						
土師器(环)、須恵器(环・蓋・高环)							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-3号住居跡	X022:Y154	N-6°W	(方形・長方形)	5.79 × <2.46> × 0.22	<14.24	4世紀前半	
付随施設(長軸×短軸×深さ) m							
P1: 0.94 × 0.82 × 0.52	参考						
出土遺物	参考						
土師器(器台・台付甕)							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-4号住居跡	X026:Y154	N-29°W	長方形状	4.71 × 3.28 × 0.20	15.45	9世紀前半	
出土遺物	参考						
土師器(环)、須恵器(短須蓋)、瓦							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-5号住居跡	X025:Y154	N-83°W	長方形状	3.18 × 2.75 × 0.26	8.75	11世紀前半	
出土遺物	参考						
須恵器(环・楕・甕)、瓦							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-6号住居跡	X027:Y156	N-74°E	方形状	4.35 × 4.12 × 0.61	17.90	7世紀前半	
付隨施設(長軸×短軸×深さ) m							
P1: 0.27 × 0.26 × 0.25 P2: 0.30 × 0.26 × 0.38 P3: 0.66 × 0.59 × 0.55 P4: 0.32 × 0.30 × 0.51 P5: 0.34 × 0.27 × 0.27 P6: 0.52 × 0.35 × 0.18	参考						
出土遺物	参考						
土師器(环・高环・甕)、石製品(白玉・砥石)							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
H-7号住居跡	X027:Y154	N-75°E	長方形状	4.65 × 4.06 × 0.48	8.70	6世紀後半	
付隨施設(長軸×短軸×深さ) m							
貯藏穴: 0.60 × 0.58 × 0.20 P1: 0.31 × 0.31 × 0.10 P2: 0.46 × 0.30 × 0.36	参考						
出土遺物	参考						
土師器(环・甕)、須恵器(甕)							

Tab. 2 住居跡一覧表（2）

遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-8号住居跡	X024:Y155	N-80°-E	長方形状	3.03 × 2.24 × 0.10	6.79	9世紀前半
出土遺物						備考
須恵器（碗・甕）、瓦、鉄製品（刀子）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-9号住居跡	X024:Y155	N-80°-E	長方形状	4.63 × 3.27 × 0.33	15.14	9世紀前半
出土遺物						備考
土師器（甕）、須恵器（碗・高杯）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-10号住居跡	X025:Y155	N-79°-W	長方形状	3.96 × 3.06 × 0.27	12.18	10世紀前半
出土遺物						備考
土師器（甕）、須恵器（碗・高杯）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-11号住居跡	X023:Y157	N-31°-W	方形状	4.00 × 3.89 × 0.28	15.56	6世紀後半
付随施設（長軸×短軸×深さ）m						
貯藏穴: 0.42 × 0.40 × 0.47 P1: 0.40 × 0.27 × 0.41 P2: 0.24 × 0.23 × 0.53 P3: 0.28 × 0.20 × 0.57 P4: 0.28 × 0.24 × 0.51						
出土遺物						備考
土師器（甕・鉢・甕）、須恵器（甕・高杯）、石製品（砥石）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-12号住居跡	X02026:Y156	N-80°-W	長方形状	3.72 × 3.15 × 0.41	11.72	10世紀前半
出土遺物						備考
土師器（甕）、須恵器（甕・碗・甕）、灰陶器（皿・小瓶）、羽釜、瓦、鉄製品（雁股鑿）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-13号住居跡	X023:Y158	N-19°-W	方形状	6.15 × 5.48 × 0.49	33.70	4世紀前半
付随施設（長軸×短軸×深さ）m						
炉穴: 0.98 × 0.94 × 0.12 貯藏穴: 0.77 × 0.77 × 0.52 P1: 0.39 × 0.38 × 0.59 P2: 0.30 × 0.27 × 0.71 P3: 0.44 × 0.41 × 0.73 P4: 0.38 × 0.35 × 0.59 P5: 0.30 × 0.19 × 0.11 P6: 0.30 × 0.24 × 0.13 P7: 0.30 × 0.15 × 0.09 P8: 0.20 × 0.18 × 0.08 P9: 0.21 × 0.18 × 0.07 P10: 0.22 × 0.20 × 0.11 P11: 0.20 × 0.15 × 0.18 P12: 0.20 × 0.18 × 0.22 P13: 0.32 × 0.29 × 0.20 P14: 0.30 × 0.20 × 0.22 P15: 0.25 × 0.15 × 0.20						
出土遺物						備考
土師器（ミニチュア土器・台付甕）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-14号住居跡	X026:Y157	N-82°-E	方形状	3.89 × 3.81 × 0.54	14.82	8世紀前半
付随施設（長軸×短軸×深さ）m						
P1: 0.20 × 0.15 × 0.08 P2: 0.17 × 0.19 × 0.06						
出土遺物						備考
土師器（甕）、須恵器（平瓶・甕）、石製品（臼玉）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-15号住居跡	X024:Y158	N-81°-W	長方形状	4.14 × 3.25 × 0.26	13.46	10世紀後半
出土遺物						備考
羽釜、瓦、板状鐵製品						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-16号住居跡	X024:Y159	N-86°-E	長方形状	3.80 × 2.40 × 0.07	9.12	9世紀後半
出土遺物						備考
土師器（甕・甕）、須恵器（甕・盤・碗）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-17号住居跡	X024:Y160	N-61°-W	長方形状	3.60 × 2.49 × 0.29	8.96	8世紀後半
出土遺物						備考
土師器（甕・甕）、須恵器（甕・瓦）						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模（長軸×短軸×深さ）m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-18号住居跡	X024:Y158	N-70°-E	長方形状	2.45 × 3.87 × 0.21	16.83	8世紀後半

Tab. 3 住居跡一覧表(3)

出土遺物				備考		
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-19号住居跡	X028:Y157	N-3°-E	長方形状	5.03 × <3.00> × 0.45	(15.09)	10世紀前半
出土遺物				備考		
須恵器(壺)、灰釉陶器(皿)、羽釜、土釜、瓦、鉄製品(板状鉄製品・ 鋤輪・鎌先)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-20号住居跡	X026:Y160	N-89°-E	(長方形状)	3.90 × 2.94 × 0.50	11.47	9世紀後半
出土遺物				流入遺物		
土師器(壺・台付壺・甕)、須恵器(壺)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-21号住居跡	X026:Y154	N-87°-E	長方形状	4.74 × 3.86 × 0.55	18.30	8世紀後半
付随施設(長軸×短軸×深さ) m						
貯藏穴: 0.64 × 0.52 × 0.35						
出土遺物				流入遺物		
土師器(壺)、須恵器(蓋・台付鉢)、瓦						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-22号住居跡	X026:Y158	N-85°-E	長方形状	4.24 × 3.09 × 0.56	13.10	9世紀後半
出土遺物				流入遺物		
土師器(壺型甕・台付甕・甌)、須恵器(壺・楕・蓋)、瓦						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-23号住居跡	X024:Y160	N-87°-E	長方形状	3.72 × 3.32 × 0.24	12.35	8世紀後半
出土遺物				流入遺物		
須恵器(長頭壺)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-24号住居跡	X026:Y158	N-75°-E	方形状	6.05 × 5.94 × 0.51	35.94	6世紀後半
付随施設(長軸×短軸×深さ) m						
貯藏穴: 0.94 × 0.71 × - P1: 0.52 × 0.43 × - P2: 0.42 × 0.33 × 0.35 P3: 0.73 × 0.55 × 0.20 P4: 0.46 × 0.44 × 0.25 P5: 0.35 × 0.33 × 0.19						
出土遺物				流入遺物		
土師器(壺・甕)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-25号住居跡	X026:Y153	N-10°-W	(方形・長方形)	4.92 × (2.56) × 0.52	(12.6)	-
付随施設(長軸×短軸×深さ) m						
P1: 0.54 × 0.44 × 0.39 P2: 0.59 × 0.55 × 0.17	出土遺物		流入遺物			
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-26号住居跡	X027:Y153	N-65°-W	長方形状	(3.64) × (2.62) × 0.36	(9.54)	-
出土遺物				流入遺物		
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-27号住居跡	X027:Y160	N-21°-W	長方形状	4.41 × <3.16> × 0.69	13.94	9世紀後半
出土遺物				流入遺物		
土師器(壺)、須恵器(壺・楕)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-28号住居跡	X027:Y158	N-88°-W	長方形状	3.93 × 2.76 × 0.53	10.85	10世紀前半
出土遺物				流入遺物		
土師器(甕)、須恵器(壺)						

Tab. 4 住居跡一覧表 (4)

遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-29号住居跡	X026:Y157	N-83°W	長方形状	(4.73) × 4.14 × 0.35	(19.58)	4世紀後半
			出土遺物		備考	
土師器(ミニチュア・高环・甕)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-30号住居跡	X027:Y160	-	-	-	-	7世紀後半
			出土遺物		流入遺物	
土師器(环)、須恵器(蓋)				D-7号土坑周辺で当該期の出土遺物を確認したが、遺構を探るには至らなかった。		
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
H-31号住居跡	X027:Y160	-	(方形状・長方形状)	(1.74) × (1.26) × 0.30	<2.19>	4世紀後半
			出土遺物		流入遺物	
土師器(井)						
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模(長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
J-1号住居跡	X026:Y172	N-80°E	楕円形状	7.94 × (6.55) × 0.28	(52.01)	縄文時代前期
			付随施設(長軸×短軸×深さ) m			
P1:0.21 × 0.15 × 0.29 P2:0.58 × 0.53 × 0.17 P3:0.16 × 0.16 × 0.18 P4:0.29 × 0.25 × 0.35 P5:0.22 × <0.13> × 0.24 P6:0.30 × 0.28 × 0.43 P7:0.25 × 0.18 × 0.25 P8:0.24 × 0.20 × 0.29 P9:0.35 × 0.25 × 0.34 P10:0.30 × 0.22 × 0.34 P11:0.19 × 0.19 × 0.16 P12:0.30 × 0.29 × 0.50 P11:0.30 × 0.21 × 0.35 P14:0.31 × 0.22 × 0.36 P15:0.20 × 0.20 × 0.34 P16:0.21 × <0.10> × 0.36 P17:0.23 × 0.22 × 0.46 P18:0.34 × 0.29 × 0.70 P19:0.36 × <0.22> × 0.29 P20:0.33 × 0.29 × 0.58 P21:0.22 × <0.18> × 0.39 P22:0.22 × <0.19> × 0.30 P23:0.25 × 0.25 × 0.42 P24:0.35 × 0.26 × 0.42 P25:0.20 × 0.16 × 0.28 P26:(0.23) × (0.18) × 0.53 P27:0.30 × (0.21) × 0.27 P28:0.32 × 0.22 × 0.47 P29:0.23 × (0.21) × 0.26 P30:0.27 × (13) × 0.11 P31:0.18 × 0.15 × 0.10 P32:0.18 × <0.10> × 0.28 P33:0.25 × 0.21 × 0.48 P34:0.25 × <0.22> × 0.35 P35:0.30 × 0.25 × 0.30 P36:0.33 × (0.31) × 0.40 P37:0.50 × 0.54 × 0.22 P38:0.29 × 0.25 × 0.28 P39:0.56 × 0.35 × 0.24 P40:0.25 × 0.21 × 0.31 P41:0.30 × 0.21 × 0.20 P42:0.39 × 0.29 × 0.14 P43:0.31 × 0.15 × 0.54 P44:0.34 × 0.25 × 0.73 P45:0.18 × 0.14 × 0.18 P46:0.39 × 0.35 × 0.18 P47:0.46 × 0.41 × 0.12 P48:0.55 × <0.41> × 0.29 P49:0.47 × <0.24> × 0.38 P50:0.44 × 0.32 × 0.46 P51:0.36 × 0.33 × 0.10 P52:0.39 × 0.33 × 0.24 P53:0.23 × 0.15 × 0.09 P54:0.15 × 0.13 × 0.08 P55:<0.15> × <0.11> × 0.03 P56:0.46 × 0.33 × 0.17 P57:<0.20> × 0.15 × 0.15 P58:<0.17> × 0.27 × 0.12 P59:0.25 × 0.21 × 0.12 P60:0.15 × 0.15 × 0.07 P61:0.39 × 0.31 × 0.29 P62:0.29 × 0.24 × 0.19 P63:0.35 × 0.34 × 0.18 P64:0.33 × 0.32 × 0.16 P65:0.59 × 0.55 × 0.16 P66:0.23 × <0.11> × 0.36 P67:0.47 × 0.27 × 0.58 P68:0.32 × 0.25 × 0.59 P69:0.23 × 0.18 × 0.58 P70:0.34 × 0.30 × 0.67 P71:0.15 × 0.15 × 0.31 P72:<0.21> × 0.20 × 0.24 P73:0.35 × 0.27 × 0.58 P74:0.29 × 0.25 × 0.44 P75:0.21 × <0.16> × - P76:0.30 × 0.28 × 0.61 P77:0.19 × 0.16 × - P78:0.27 × 0.21 × 0.42 P79:0.17 × <0.11> × 0.15 P80:0.15 × 0.12 × 0.25 P81:0.14 × 0.12 × 0.22 P82:0.19 × 0.15 × 0.24 P83:0.40 × 0.30 × 0.51 P84:0.41 × 0.35 × 0.34 P85:0.22 × 0.18 × 0.39 P86:0.21 × 0.20 × 0.30 P87:0.25 × 0.20 × 0.69 P88:0.22 × 0.20 × 0.34 P89:0.18 × 0.18 × 0.26 P90:0.25 × 0.23 × 0.42 P91:0.27 × 0.27 × 0.49 P92:0.21 × <0.11> × 0.38 P93:0.37 × 0.32 × 0.59 P94:0.29 × 0.25 × 0.20						
			出土遺物		備考	
縄文土器(多孔土器・浅鉢・深鉢)、石器(石鏨・石匙・打製石斧・礫器・スクレイバー・凹石・砥石・棒状鍬・多孔石)						

Tab. 5 土坑一覧表

遺構名	位置	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	時期・備考
D-1号土坑	X025:Y153	0.90 × <0.89>	0.83	(楕円形)	-	A s-B降下以前
D-2号土坑	X027:Y157	0.95 × 0.94	0.83	円形	-	A s-B降下以降
D-3号土坑	X026:Y154	1.91 × 1.78	0.78	不整形	-	A s-B降下以前
D-4号土坑	X026:Y164	0.86 × 0.51	0.05	楕円形	古錢	中世
D-5号土坑	X026:Y173	1.13 × 0.69	0.38	(不整形)楕円形	-	A s-B降下以降
D-6号土坑	X027:Y161	<2.04> × 1.62	0.98	不明	土師器(环)	A s-B降下以前
D-7号土坑	X027:Y158	0.90 × 0.81	0.09	楕円形	-	-
D-8号土坑	X026:Y162	2.40 × 2.15	0.29	(長方形)	須恵器(环)	A s-B降下以前
D-9号土坑	X028:Y158	0.92 × 0.59	0.11	楕円形	-	A s-B降下以前
D-10a号土坑	X025:Y164	0.55 × 0.52	0.27	楕丸長方形	須恵器(环)	A s-B降下以降
D-10b号土坑	X025:Y164	0.94 × 0.90	0.38	不整形	-	A s-B降下以降
D-10c号土坑	X025:Y164	2.35 × 1.05	0.21	不整形	-	A s-B降下以降
JD-1号土坑	X022:Y159	0.97 × 0.81	0.58	楕円形	縄文土器(深鉢)	縄文時代中期後葉
JD-2号土坑	X022:Y159	1.07 × 0.86	0.39	楕円形	-	縄文時代
JD-3号土坑	X025:Y163	1.71 × 1.48	0.44	楕円形	縄文土器(深鉢)	縄文時代中期後葉
JD-4号土坑	X026:Y169	3.25 × (2.36)	0.22	(不整形)楕円形	縄文土器(鉢・深鉢)	縄文時代中期後葉～後期前葉

Tab. 6 集石遺構一覧表

遺構名	位置	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	遺物	時期・備考
1号集石	X27:Y158				縄文土器、石器（スカイバー・圓石・台石・石皿）	縄文時代中期後葉

Tab. 7 壊穴状遺構一覧表

遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
T-1号壊穴状遺構	X026:Y155	N-2°E	(方形・長方形)	(3.09) × (2.64) × 0.25	(8.16)	As-B降下以前
			出土遺物			備考
			-			
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
T-2号壊穴状遺構	X026:Y159	N-90°	方形状	4.75 × 4.44 × 0.28	21.09	縄文時代後期
			出土遺物			備考
			縄文土器（深鉢）			
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期
T-3号壊穴状遺構	X024:Y161	N-15°W	長方形状	3.75 × 3.61 × 0.30	15.7	As-B降下以前
			出土遺物			備考
			須恵器（环）			

Tab. 8 性格不明遺構一覧表

遺構名	位置	主軸方位	形状	規模			断面形状
				上端幅m	下端幅m	残存深度m	
SX-1号不明遺構	X25～27 Y161～170	N-8°W	6.34～4.76	3.68～0.78		0.71	不整形
遺構埋没状態				時期			
A s-C・A s-B・H r-F A・純社砂層砂岩・純社砂層ブロックを含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没。							9世紀代
出土遺物				備考			
土師器（环）、須恵器（环・碗・蓋・盤・壺）、瓦、石製品（石鉢・劫鐘車）							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
SX-2号不明遺構	X028:Y159	-	不整形	<1.94> × <2.15> × 0.11	<4.17>	平安時代	
付随施設 (長軸×短軸×深さ) m							
P1:0.25 × 0.24 × 0.30 P2:1.17 × 0.31 × 0.16 P3:0.89 × 0.37 × 0.13							
出土遺物				備考			
須恵器（碗・甕・壺）、瓦							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	
SX-3号不明遺構	X022:Y160	N-15°W	圓丸長方形	3.79 × 4.76 × 0.20	18.04	縄文時代後期	
付随施設 (長軸×短軸×深さ) m							
P1:0.34 × 0.31 × 0.09 P2:0.50 × 0.43 × 0.15 P3:0.45 × 0.32 × 0.21 P4:0.45 × 0.33 × 0.19 P5:0.52 × 0.38 × 0.19							
P6:0.45 × 0.35 × 0.48 P7:0.73 × 0.45 × 0.11							
出土遺物				備考			
須恵器（碗・甕・壺）、瓦							
遺構名	位置	主軸方位	形状	規模 (長軸×短軸×深さ) m	面積m <sup>2</sup>	時期	

Tab. 9 溝一覧表

遺構名	位置	主軸方位	規模	断面形状			
				上端幅m	下端幅m	残存深度m	
W-2号溝	X24～26:Y161～176	N-7°W	0.42～0.29	0.13～0.06		0.35	
遺構埋没状態				時期			
A s-C・A s-B・純社砂層粒を含む暗灰色を主体とした土による自然埋没							A s-B降下以降
出土遺物				備考			
土師器（环）、須恵器（碗）							
遺構名	位置	主軸方位	規模				
				上端幅m	下端幅m	残存深度m	
W-3号溝	X27～28:Y165	N-68°E	0.65～0.18	0.35～0.07		0.45	箱状
遺構埋没状態				時期			
A s-C・純社砂層ブロックを含む暗褐色・黒褐色を主体とした土による自然埋没							A s-B降下以前
出土遺物				備考			

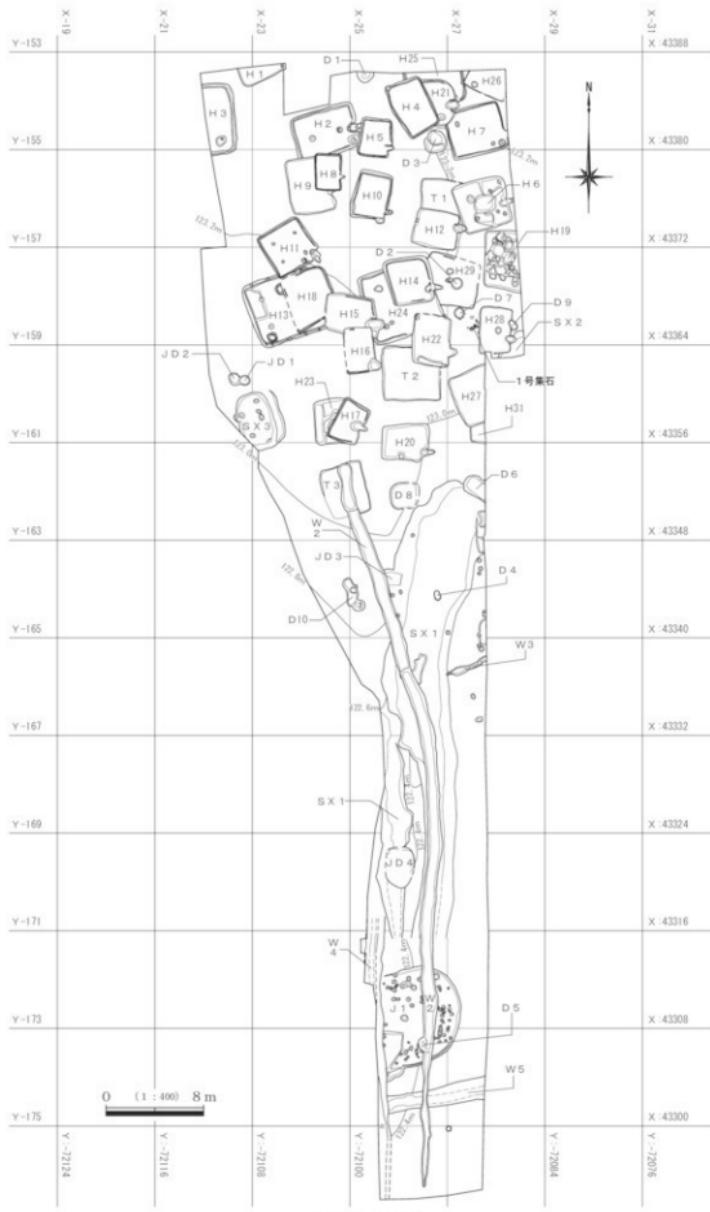
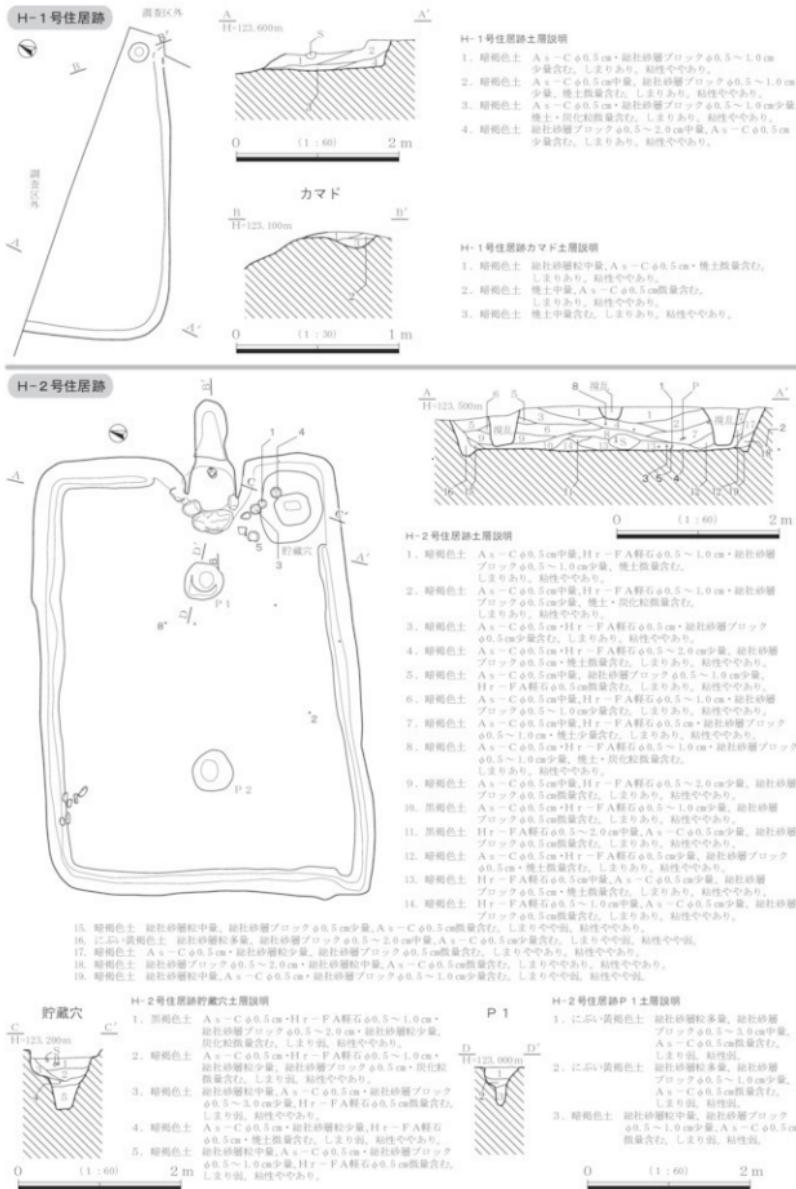
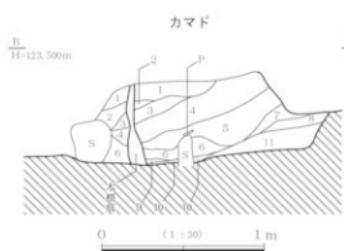


Fig. 5 全体图



H-2号住居跡



H-3号住居跡

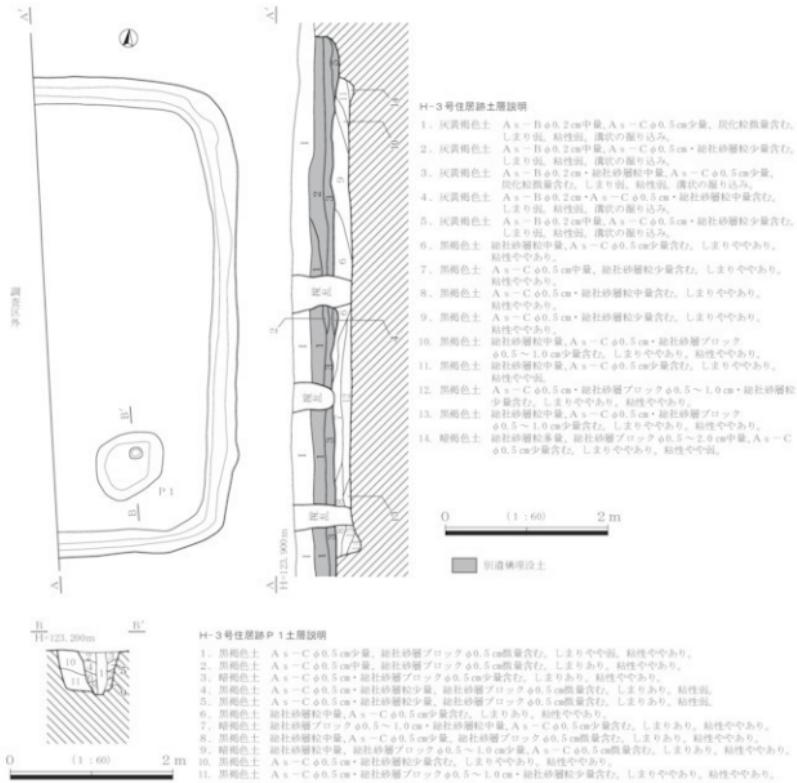
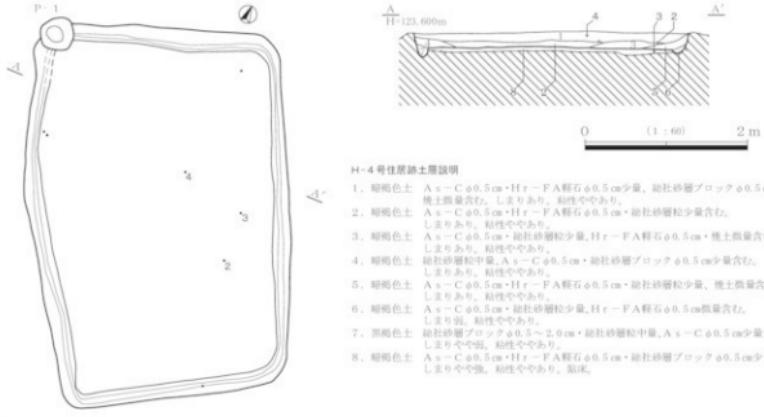
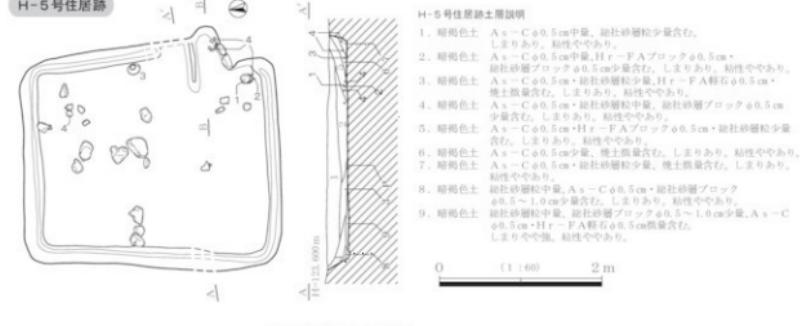


Fig. 7 遺構実測図 (2)

#### H-4号住居跡



#### H-5号住居跡



#### カマド

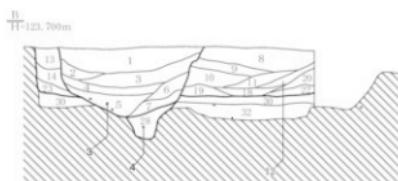
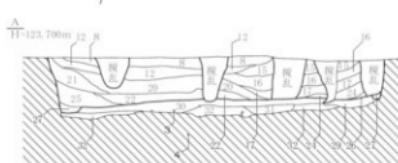
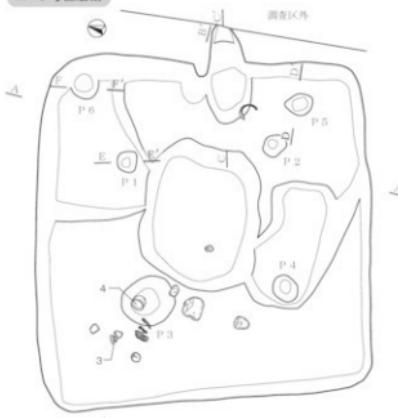


#### H-6号住居跡



Fig. 8 遺構実測図 (3)

#### H-6号住居跡



P 5  
H-123.700m

P 1  
H-122.800m

P 6  
H-122.900m

#### H-6号住居跡P 5土層説明

1. 黒褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 ~ 3.0 cm・汎化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黑褐色土 白色粘土より、A s - C φ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性あり。

#### H-6号住居跡P 1土層説明

1. 黑褐色土 砂粒少量、A s - C φ 0.5 cm・汎化粘膜含む。しまりややあり。
2. 黑褐色土 砂粒少量、A s - C φ 0.5 cm・汎化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黑褐色土 砂粒少量、A s - C φ 0.5 cm・汎化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。

Fig. 9 構造実測図(4)

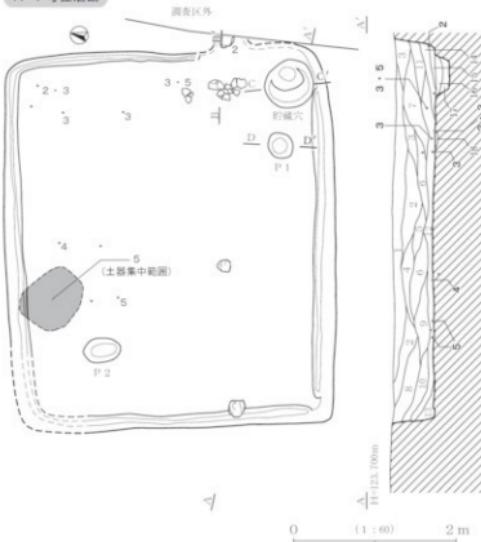
#### H-6号住居跡P 5土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量、白色粘土・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量、H - F A軽石φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
6. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
7. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量、白色粘土中量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
8. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土・灰化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
9. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
10. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
11. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
12. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm少量、H - F A軽石φ 0.5 cm ~ 2.0 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土・灰化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
13. 喧褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
14. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
15. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量、焼土・灰化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
16. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
17. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
18. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
19. 喧褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
20. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
21. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
22. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm・灰化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
23. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
24. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm中量、灰化粘膜含む。しまりあり。粘性あり。
25. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・H - F A軽石φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
26. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
27. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
28. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
29. 黑褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm中量、焼土微量含む。しまりあり。粘性あり。
30. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性あり。粘膜。
31. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
32. 喧褐色土 白色粘土多量、A s - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

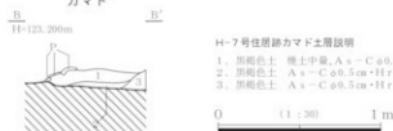
#### H-6号住居跡P 2土層説明

1. 喧褐色土 白色粘土少量、A s - C φ 0.5 cm・焼土微量含む。しまりあり。
2. 喧褐色土 白色粘土中量、白色粘土やや含む。しまりあり。

H-7号住居跡



カマド



#### H=7是佳能单反相机上最慢的

- 7号可溶性高分子乳液脱脂  
貯藏六

  - 暗褐色土 A - C  $\phi 0.5\text{cm} \times Hr$  - F A 鮎石  $\phi 0.5\text{cm}$   
粗粒砂砾 プロフタ  $\phi 0.5\text{cm}$  量、混化鰐鱗量  
含む。よりあり、細粒性。
  - 暗褐色土  
Hr  $\phi 0.5\text{cm}$  量、F A  $\phi 0.5\text{cm}$  量、粗粒砂砾 プロフタ  
よりあり、細粒性。
  - 暗褐色土  
A-C  $\phi 0.5\text{cm} \times Hr$  - F A 鮎石  $\phi 0.5\text{cm}$ 、混化鰐鱗量  
含む。よりあり、細粒性。

H-7号住居跡土層説明

1. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、黒毛・灰化毛混在含む。しまりあり。粘性あり。
  2. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%～3.0%中量、絶縁砂層ブロッケ 0.5%少量、地土無し。
  3. 姪褐色毛 H × F A群石 0.5%中量、A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、黒毛・灰化毛混在含む。しまりあり。粘性あり。
  4. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、絶縁砂層ブロッケ 0.5%少量含む。しまりあり。粘性あり。
  5. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、地土少量含む。しまりあり。粘性あり。
  6. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%～2.0%中量、黒毛・灰化毛混在含む。しまりあり。粘性あり。
  7. 姪褐色毛 A × C = 0.5%中量、H × F A群石 0.5%中量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  8. 姪褐色毛 A × C = 0.5%中量、H × F A群石 0.5%・絶縁砂層ブロッケ 0.5%少量含む。しまりあり。粘性あり。
  9. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%～3.0%中量、絶縁砂層ブロッケ 0.5%中量含む。しまりあり。粘性あり。
  10. 姪褐色毛 A × C = 0.5%中量、H × F A群石 0.5%少量、絶縁砂層ブロッケ 0.5%・地土 灰化飛石。しまりあり。粘性あり。
  11. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%少量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  12. 黑褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  13. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  14. 黑褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  15. 黑褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、地土無し。しまりあり。粘性あり。
  16. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%中量、絶縁砂層ブロッケ 0.5%少量、地土無し。灰化飛石含む。しまりあり。粘性あり。
  17. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・H × F A群石 0.5%・灰化飛石混在含む。しまりあり。粘性あり。
  18. 姪褐色毛 A × C = 0.5%・絶縁砂層ブロッケ 0.5%少量、地土無し含む。しまりあり。粘性あり。

H-7 普佳麗號 R-1 太陽望遠鏡

- P 1 4-7号在来路P-1工場明  
1. 墓褐色土 A s - C p 0.5 cm・純砂層ブロック  
Φ0.5 cm 少量。燒土類量含む。  
しまりあり。黏性あり。

H-8号住居跡

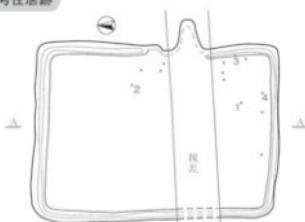
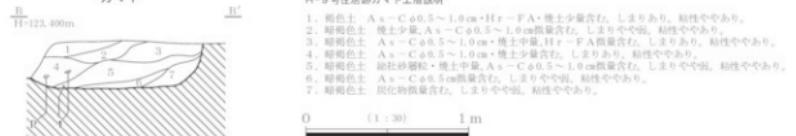


Fig. 10 遺構実測図 (5)

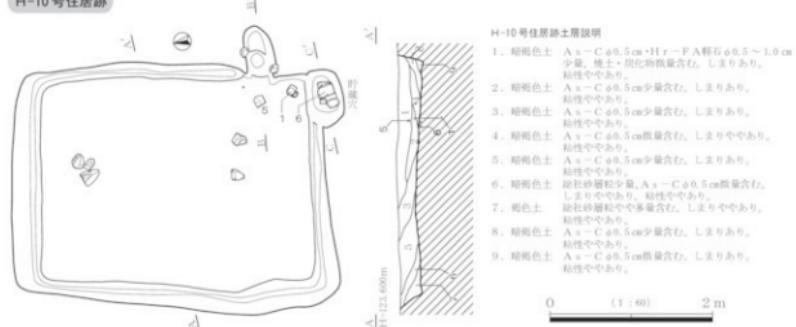
#### H-9号住居跡



#### カマド



#### H-10号住居跡



#### カマド

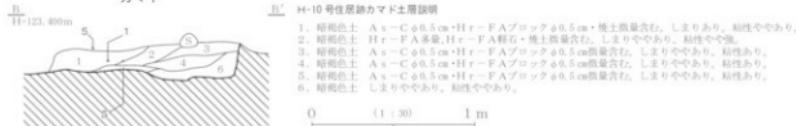
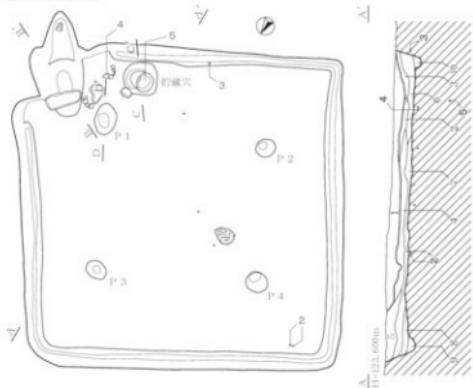


Fig. 11 遺構実測図 (6)

## H-10号住居跡



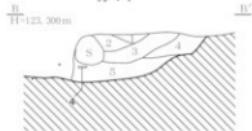
## H-11号住居跡



## H-11号住居跡土層説明

1. 黄褐色土 A s - C φ 0.2 cm中量, H r - F A 粘石 φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm, 線社砂層中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層中量, 線社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量, H r - F A ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量, 線社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
7. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 1.0 cm少量, H r - F A ブロック φ 0.1, 0.4 ~ 2.0 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。
9. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 1.0 cm少量, 線社砂層微量含む。しまりややあり。粘性。
10. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 ~ 1.0 cm中量, 線社砂層少量含む。しまりややあり。

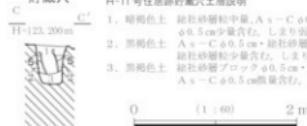
## カマド



## H-11号住居跡カマド土層説明

1. 黄褐色土 A s - H φ 0.2 cm中量, A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層少量含む。しまり弱。粘性弱。
2. 黄褐色土 H r - F A 中量, A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。地土微量含む。
3. 黄褐色土 H r - F A 中量, 地土少量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性。
4. 黄褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層少量含む。地土微量含む。しまりややあり。粘性。
5. 黑褐色土 H r - F A \* 地土少量, A s - C φ 0.5 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

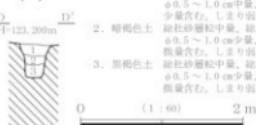
## 貯蔵穴



## H-11号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 黄褐色土 線社砂層中量, A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性。
2. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層ブロック φ 0.5 cm, 線社砂層少量含む。しまり弱。粘性。
3. 黑褐色土 線社砂層少量含む。しまり弱。粘性。

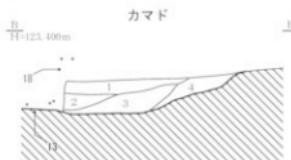
## P 1



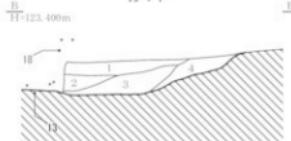
## H-11号住居跡P 1 土層説明

1. 黄褐色土 線社砂層多量, 線社砂層ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量, A s - C φ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性弱。
2. 黄褐色土 線社砂層中量, 線社砂層ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。地土微量含む。しまり弱。粘性弱。
3. 黑褐色土 線社砂層中量, 線社砂層ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量, A s - C φ 0.5 cm微量含む。しまり弱。粘性弱。

## H-12号住居跡



## カマド



## H-12号住居跡カマド土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 線社砂層少量, 地土・炭化灰微量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黑褐色土 線社砂層少量, 地土少量, A s - C φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性強。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm, 地土・炭化灰微量含む。しまりあり。粘性強。
4. 黑褐色土 A s - C φ 0.5 cm少量, 地土微量含む。しまりあり。粘性。

0 (1 : 60) 1 m

Fig. 12 遺構実測図 (7)

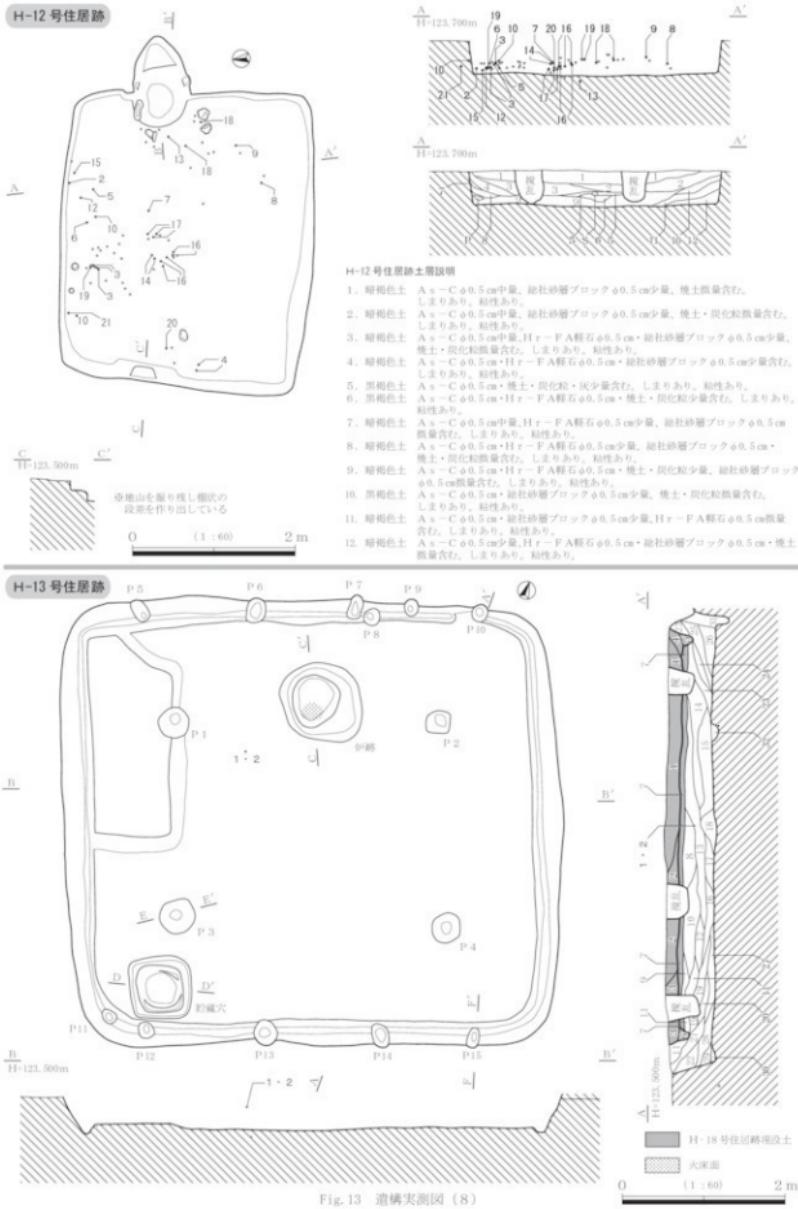


Fig. 13 遺構実測図 (8)

H-13号住居跡

H-13号住居跡土層説明

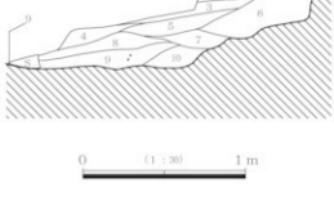


九

H=122,800m



H=122.900 mm



1. 黑褐色土  $A_3 = C \neq 0$

- |         | (1 : 60)   | 2 m  |
|---------|--|--|
| 1. 黒褐色土 | $A_s - C = 0.5 - 0.6$ cm<br>柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚。底面は斜面。<br>上部は水平面である。   | 0.5 cm柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚を含む。                    |
| 2. 黒褐色土 | $A_s - C = 0.5 - 0.6$ cm<br>柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚。底面は斜面。<br>上部は水平面である。   | 0.5 cm柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚を含む。                    |
| 3. 黑褐色土 | $A_s - C = 0.5 - 0.6$ cm<br>柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚を含む。しまりやや弱い。<br>弱性ややあり。 | 0.5 cm柱状結構ブロック<br>0.5 cm厚を含む。<br>しまりやや弱い。弱性ややあり。 |

1

#### 1. 黑褐色土：被社會稱爲

2. 黒褐色土  
 ♂ 0.5 cm・粒状砂層ブロック  
 ♂ 0.5 cm少量含む。  
 しまりやや固。粘性ややあり。  
 粒状砂層中量、A - C  
 ♂ 0.5 cm・粒状砂層ブロック  
 ♂ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。  
 しまりやや固。粘性ややあり。

THE SILENT SPOTS

H=123.400m



#### 1. 紫褐色土 $A_3 = C \oplus 0.5$

2. 緑褐色土 粘性や少なり。  
 $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$  少量。総社砂層粘重含む。  
 粘性や少なり。  
 緩和含む。

3. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5 \sim 1.0\text{ cm}$  少量含む。しまりあり。  
 粘性や少なり。

4. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。総社砂層ブロッカ  $\phi 0.5\text{ cm}$   
 少量。強度微含む。しまりあり。粘性や少なり。

5. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。総社砂層ブロッカ  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。  
 総社砂層少量含む。しまりあり。粘性や少なり。

6. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。総社砂層ブロッカ  
 $\phi 0.5\text{ cm}$ 。強度微含む。しまりあり。粘性や少なり。

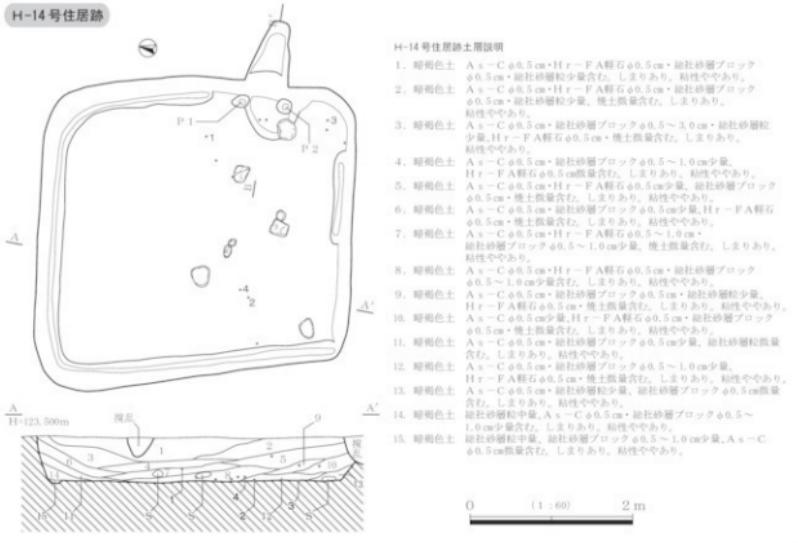
7. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm}$ 。強度微含む。緩和や少なり。

8. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。総社砂層ブロッカ  
 $\phi 0.5 \sim 3.0\text{ cm}$ 。變化岩強度少含む。しまりあり。粘性や少なり。

9. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。総社砂層ブロッカ  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。  
 総社砂層少量含む。しまりあり。粘性や少なり。

10. 緑褐色土  $A + C = 0.5\text{ cm} + H - F$  A解石  $\phi 0.5 \sim 5.0\text{ cm}$  少量。総社砂層ブロッカ  
 $\phi 0.5 \sim 5.0\text{ cm}$  少量含む。しまりあり。粘性や少なり。

H-14号住居跡



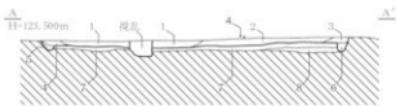
H-15号住居跡



### 1. 骨架角土 $\gamma = F A$ 骨石

1. 布穂色土  $Hr - F$   $F$  粗粒石  $0.5 \sim 1.0$  cm。A  $- C < 0.5$  cm。壤土、化成鉱微量含む。  
しまりあり、堅性。
  2. 布穂色土  $Hr - F$   $F$  粗粒石  $0.5 \sim 1.0$  cm。A  $- C < 0.5$  cm 少量含む。  
しまりあり、堅性。
  3. 布穂色土  $Hr - F$   $F$  粗粒石  $0.5 \sim 1.0$  cm。A  $- C < 0.5$  cm。壤土、化成鉱少  
量含む。  
しまりあり、堅性や中堅性。
  4. 布穂色土  $Hr - F$   $F$  粗粒石  $0.5 \sim 1.0$  cm。A  $- C < 0.5$  cm。壤土、化成鉱少  
量含む。  
しまりあり、堅性や中堅性。
  5. 黒褐色土  $Hr - F$   $F$  粗粒石  $0.5 \sim 2.0$  cm。少量。  
壤土、化成鉱微量含む。L

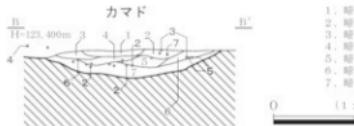
H-16号住居跡



H-16号住居跡土層説明

1. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量、堆土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 緩衝色土 総社砂利極少量、A = C  $\phi$  0.5 cm少々含む。しまりあり。粘性やややあります。
4. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量含む。しまりあり。粘性やややあります。
5. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量含む。しまりやや強。粘性ややや弱。
6. 緩衝色土 総社砂利多量、総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 cm少量、A = C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりやや強。粘性ややや弱。
7. 黒褐色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・H r - F A 粘石  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利少量含む。しまりあり。粘性やややあります。
8. 緩衝色土 総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利極少量、A = C  $\phi$  0.5 cm少々含む。しまりあり。粘性ややあります。

H-16号住居跡カマド土層説明



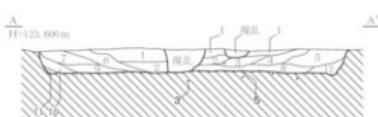
H-17号住居跡



H-17号住居跡土層説明

1. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・H r - F A 粘石  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量、堆土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあります。
2. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量、堆土微量含む。しまりやや強。粘性やややあります。
3. 黑褐色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・H r - F A 粘石  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量含む。しまりあり。粘性やややあります。
4. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利少量、堆土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性やややあります。
5. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm中量、総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利少量、H r - F A 粘石  $\phi$  0.5 cm・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性やややあります。
6. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・H r - F A 粘石  $\phi$  0.5 cm・堆土少々含む。しまりあり。粘性やややあります。
7. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利極少量含む。しまりあり。粘性やややあります。
8. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂利微量含む。しまりあり。粘性やややあります。
9. 黑褐色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利微量含む。しまりやや強。粘性やややあります。
10. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利微量含む。しまりあり。粘性やややあります。
11. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利中量、A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm少々含む。しまりあり。粘性やややあります。
12. 黑褐色土 A = C  $\phi$  0.5 cm・総社砂利微量含む。しまりあり。粘性やややあります。

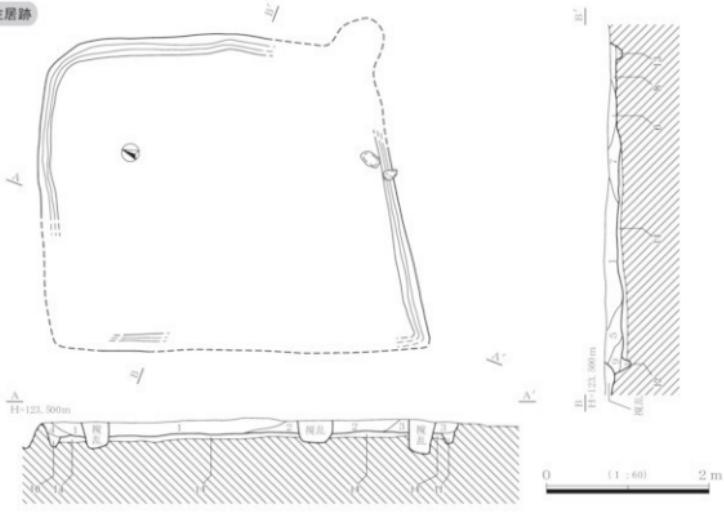
H-17号住居跡カマド土層説明



1. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・H r - F A 微量含む。しまりあり。粘性あります。
2. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あります。
3. 黑褐色土 A = C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあります。
4. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりやや強。粘性ややあります。
5. 緩衝色土 A = C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあります。粘性ややあります。

Fig. 16 遺構実測図 (11)

H-18号住居跡



### 1. 粘性土 $A_3 = 5$

2. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層 ブロック  $\phi = 0.5$  cm、紺社砂綿層少含む。しまりあり。粘性やあります。

3. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  多量。紺社砂綿層微含む。しまりあり。粘性やあります。

4. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりあり。粘性やあります。

5. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりあり。粘性やあります。

6. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。Hr - F 磁石  $\phi = 0.5$  cm、紺社砂綿層少含む。しまりややあります。

7. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりややあります。

8. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりややあります。

9. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層 ブロック  $\phi = 0.5 \sim 1.0$  cm 褐。しまりややあります。

10. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりややあります。

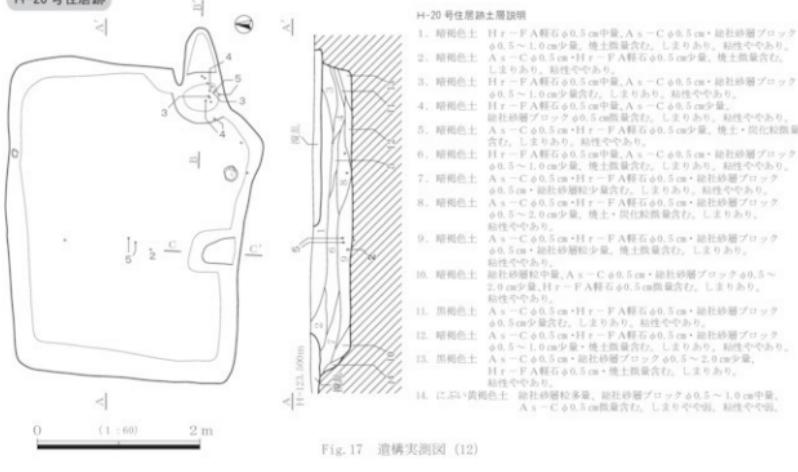
11. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層少含む。しまりややあります。

12. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  中量。紺社砂綿層中量。紺社砂綿層ブロック  $\phi = 0.5$  cm 少含む。しまりややあります。

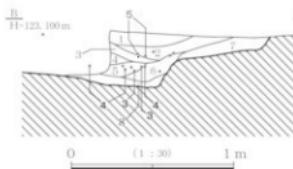
13. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  多量。紺社砂綿層多量。A -  $\text{C} = 0.5$  cm。紺社砂綿層 ブロック  $\phi = 0.5 \sim 1.0$  cm 少含む。しまりややあります。

14. 滑面土色 A -  $\text{C} = 0.5$  cm。Hr - F 磁石  $\phi = 1.5 \sim 3.0$  cm。紺社砂綿層 ブロック  $\phi = 0.5 \sim 1.0$  cm。紺社砂綿層少含む。しまりあります。粘性やあります。細胞。

11-20 うは筋筋



#### H-20号住居跡



#### H-20号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$ ,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  間隔含む。粘性ややあり。
2. 黒褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  間隔含む。粘性ややあり。
3. 喜潤色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 喜潤色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  少量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  少量, 総社砂層含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。

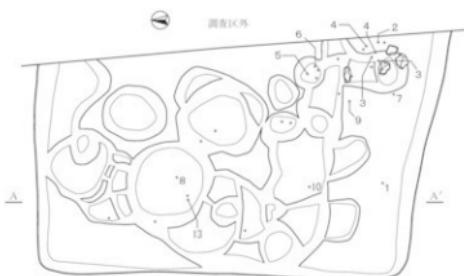
#### H-20号住居跡出入口土層説明



#### H-20号住居跡出入口土層説明

1. 喜潤色土 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 黑褐色土 総社砂層中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黑褐色土 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。

#### H-19号住居跡



#### H-19号住居跡土層説明

1. 黒褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黒褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黑褐色土  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黑褐色土  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黑褐色土  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黑褐色土  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 黑褐色土  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 喜潤色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 喜潤色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黑褐色土  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
16. 喜潤色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 黑褐色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
18. 喜潤色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
19. 喜潤色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
20. 黑褐色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量, 総社砂層ブロック  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
21. 喜潤色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
22. 喜潤色土 粘土少量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
23. 喜潤色土 粘土中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量,  $Hr - F$  A軽石  $\phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
24. 喜潤色土 粘土中量,  $A_s - C \phi 0.5\text{cm}$  中量含む。しまりあり。粘性ややあり。

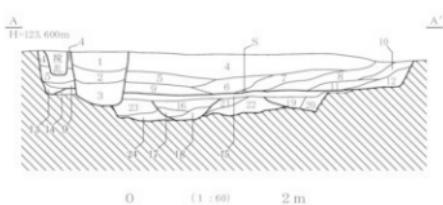
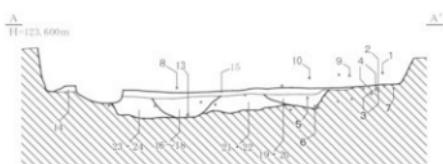
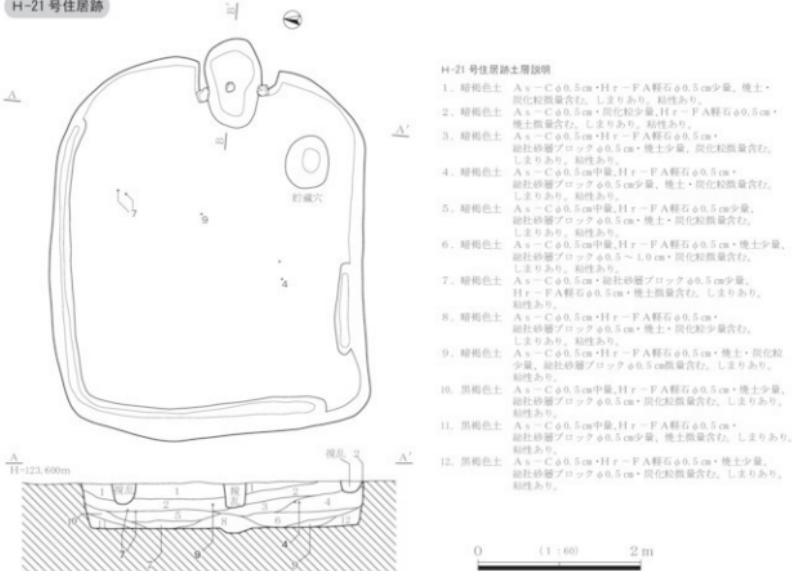


Fig. 18 遺構実測図 (13)

### H-21号住居跡



### カマド



### H-22号住居跡

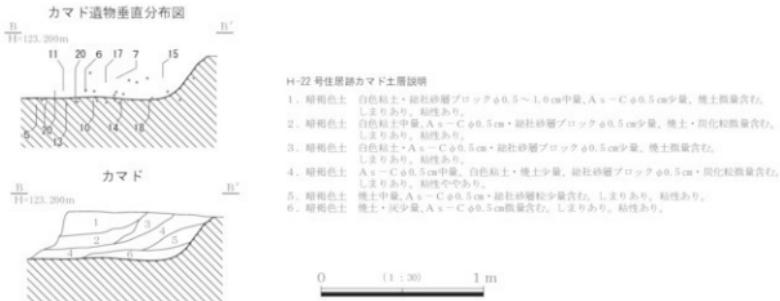
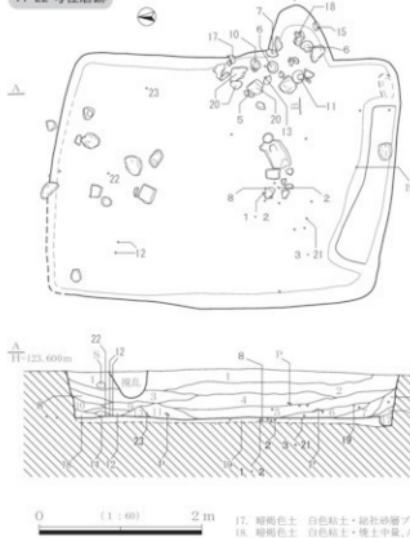


Fig. 19 遺構実測図 (14)

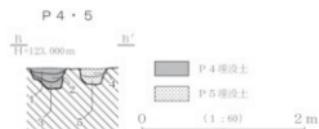
H-22 号住居跡



H-23号住居跡



H-24号住居跡



H-22 号住居跡土層説明

1. 常緑色 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。白色粘土・堆土少量、総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

2. 鮮緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。堆土微量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

3. 暗緑色 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。白色粘土・堆土・堆成粒少量、  
総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

4. 暗緑色 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。白色粘土少量、  
堆土・総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

5. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。堆土微量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

6. 暗緑色 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。白色粘土・堆土少量、  
総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

7. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。堆土・化成鉱少量、  
総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。微量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

8. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。堆土含む。  
粘性や中粒。

9. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。堆土微量含む。  
堆土・化成鉱少量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

10. 黄色土 黄土多量、白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱  
微量含む。しまりあり。粘性や中粒。

11. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  少量、総社砂層プロック  
 $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱含む。しまりあり。粘性や中粒。

12. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。総社砂層  
プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。  
粘性や中粒。

13. にじいろ黄褐色 土壌砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  多量。白色粘土、  
A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。  
しまりあり。粘性や中粒。

14. にじいろ黄褐色 土壌砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  少量。A -  $\text{C}$   
 $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。粘性や中粒。

15. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。総社砂層プロック  
 $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。粘性や中粒。

16. 暗緑色 白色粘土 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。総社砂層プロック  
 $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。粘性や中粒。

17. 暗緑色 A -  $\text{C} \times 0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。粘性や中粒。  
堆土・総社砂層プロック  $0.5 \text{ cm}$  領域。化成鉱微量含む。しまりあり。粘性や中粒。

H-23 是佳麗博士隱形眼

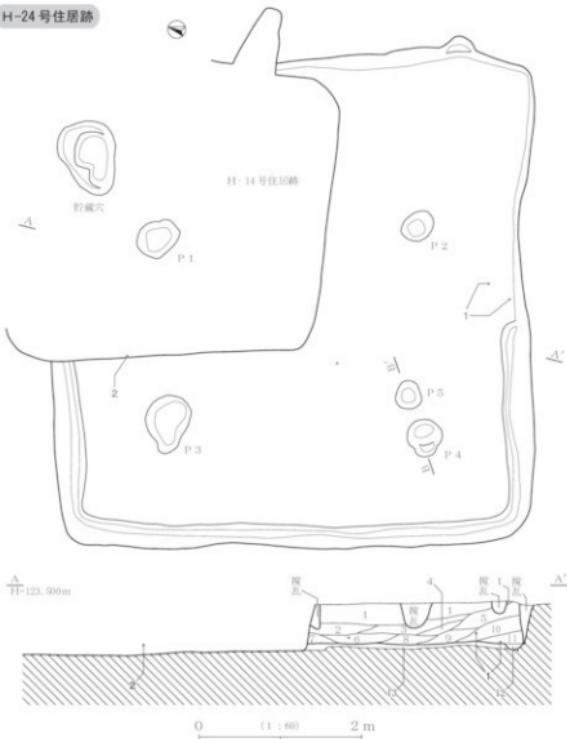
3. 鮎褐色土 A - C 0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm既食含む。しまりややあり。  
鮎色でやかんである。
  2. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm少量。鮎粒砂礫層・鮎土既食含む。  
しまりややあり。鮎色でやかんである。
  3. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm。鮎粒砂礫層・鮎土既食含む。  
しまりややあり。鮎色でやかんである。
  4. 鮎褐色土 H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5 ~ 1.0cm少量。鮎粒砂礫層中, A - C  $\phi$  0.5cm既食含む。  
しまりややあり。鮎色でやかんである。
  5. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm。  
鮎土・鮎化既食含む量多く。しまりややあり。鮎色でやかんである。
  6. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm, 基岩既食含む。  
しまりややあり。鮎色でやかんである。
  7. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5 ~ 1.0cm少量。鮎土・  
鮎化既食含む量多く。しまりややあり。鮎色でやかんである。
  8. 鮎褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm既食含む。  
しまりややあり。鮎色でやかんである。
  9. 褐色土 A - C  $\phi$  0.5cm少量, H - T - F A 軽石  $\phi$  0.5cm既食含む。  
鮎粒砂礫層, A - C  $\phi$  1.0 ~ 2.0cm H - T - F A 中量含む。しまりややあり。  
鮎色でやかんである。

H-24号住居跡P4・P5土層説明

1. 明褐色上 細粒砂質土中量,  $A_s = C - 0.5\text{ cm}$  少量含む。しまりやや弱い。粘性やや弱い。P 4 深度。
  2. 明褐色上 粗粒砂質土中量。粗粒砂質ブロック  $\phi 0.5\text{ cm}$  少量含む。しまりやや弱い。粘性やや弱い。P 4 深度。
  3. 黒褐色上 細粒砂質土中量  $\phi 0.5\text{ - }1.0\text{ cm}$ 。細粒砂質土少量中量,  $A_s = C - 0.5\text{ cm}$  開量含む。しまりやや弱い。粘性やや弱い。P 4 深度。
  4. 明褐色上 粗粒砂質土中量  $\phi 0.5\text{ cm}$  少量含む。粗粒砂質ブロック  $\phi 0.5\text{ cm}$  少量含む。しまりやや弱い。粘性やや弱い。P 5 深度。
  5. 明褐色上  $A_s < C - 0.5\text{ cm}$ 。地盤砂層ブロック  $\phi 0.5\text{ cm}$ 。細粒砂質土少量含む。しまりやや弱い。粘性やや弱い。P 5 深度。

Fig. 20 遺構案測図 (15)

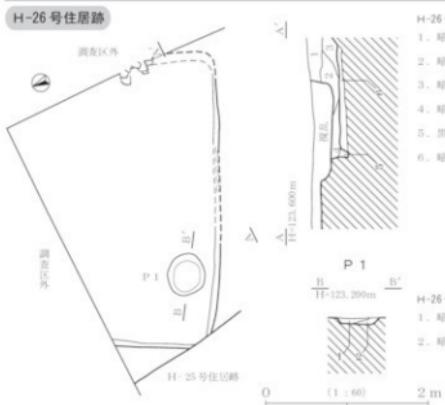
#### H-24号住居跡



#### H-24号住居跡土層説明

- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm・緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5~1.0cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm・緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm・緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm中量, H r - F A軽石  $\phi$  0.5cm少含む。緑社砂層ブロック  $\phi$  0.5cm少含む。しまりあり。粘性ややあり。

#### H-26号住居跡



#### H-26号住居跡土層説明

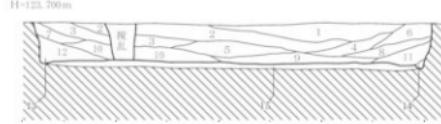
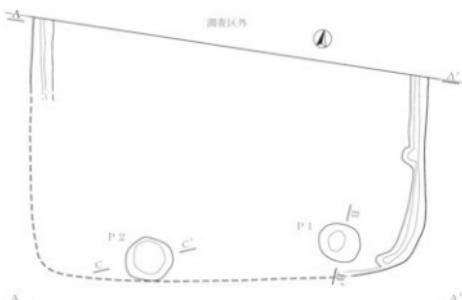
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm・白色粘土・炭化物少量・堆土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm・白色粘土・炭化物微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm・白色粘土・堆土・炭化物微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
白色粘土・A s - C  $\phi$  0.5cm少量・堆土・炭化物微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 黑褐色土  
A s - C  $\phi$  0.5cm少量・白色粘土・堆土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
白色粘土少量・A s - C  $\phi$  0.5cm微量含む。しまり強。粘性あり。粘土。

#### H-26号住居跡P1土層説明

- 暗褐色土  
白色粘土  $\phi$  0.5~1.0cm・A s - C  $\phi$  0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 暗褐色土  
白色粘土  $\phi$  0.5~1.0cm中量・A s - C  $\phi$  0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 21 遺構実測図 (16)

### H-25号住居跡



### H-25号住居跡P1土層説明

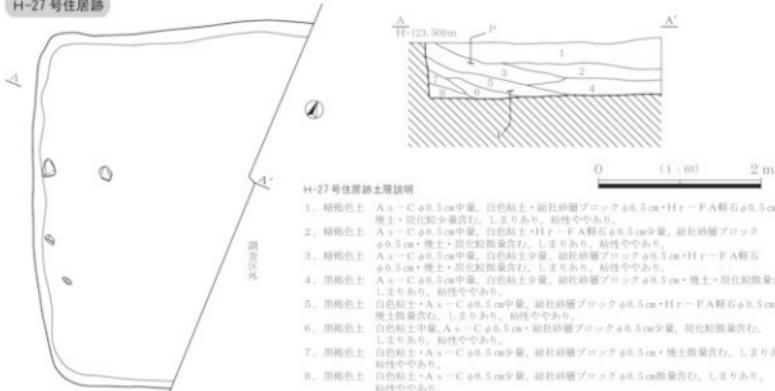
1. 基礎地盤 地下0.5cm中量、白色粘土・A s - C φ 0.5cm・総社砂層ブロックφ 0.5~1.0cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黒褐色土 白色粘土φ 0.5cm中量、A s - C φ 0.5cm・総社砂層ブロックφ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 基礎地盤 地下0.5cm中量、白色粘土・A s - C φ 0.5cm・総社砂層ブロックφ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
4. にべり 黑褐色土 総社砂層多量、総社砂層ブロックφ 0.5cm少量、白色粘土φ 0.5cm少量、A s - C φ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 基礎地盤 地下0.5cm中量、白色粘土・A s - C φ 0.5cm・総社砂層ブロックφ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。



### H-25号住居跡P1土層説明

1. 黑褐色土 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土中量、総社砂層ブロックφ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5cm中量、総社砂層ブロックφ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黑褐色土 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 黑褐色土 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土・総社砂層ブロックφ 0.5cm少量、同化鉄微量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 黑褐色土 総社砂層ブロックφ 0.5cm中量、白色粘土・A s - C φ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
6. 基礎地盤 地下0.5~1.0cm中量、白色粘土・A s - C φ 0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

### H-27号住居跡

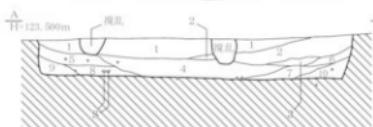
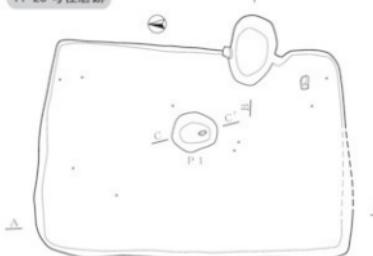


### H-27号住居跡土層説明

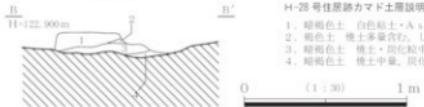
1. 基礎地盤 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土・総社砂層ブロックφ 0.5cm・H r - F A 離石φ 0.5cm・発土・同化鉄少量含む。しまりあり。粘性少くあり。
2. 基礎地盤 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土・H r - F A 離石φ 0.5cm少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
3. 基礎地盤 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・H r - F A 離石φ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
4. 基礎地盤 A s - C φ 0.5cm中量、白色粘土少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
5. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5cm中量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・H r - F A 離石φ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
6. 黑褐色土 白色粘土中量、A s - C φ 0.5cm・総社砂層ブロックφ 0.5cm少量、同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
7. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5cm少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。
8. 黑褐色土 白色粘土・A s - C φ 0.5cm少量、総社砂層ブロックφ 0.5cm・発土・同化鉄微量含む。しまりあり。粘性少くあり。

Fig. 22 遺構実測図 (17)

### H-28号住居跡



### カマド



### H-28号住居跡カマド土層説明

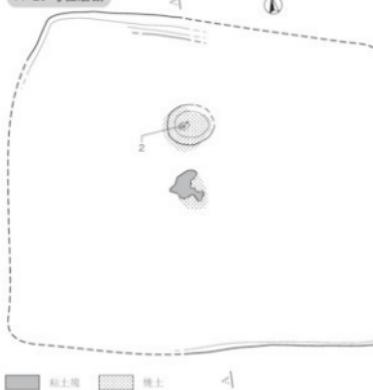
1. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm中量。白色粘土・紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土・炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm中量。紺社砂層ブロック φ0.5cm少量。塊土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。塊土・炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 嫌褐色土 塊土・炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。塊土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。紺社砂層ブロック φ0.5cm・炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm・炭化粘土少量。塊土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量。炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

### H-28号住居跡1土層説明

1. 黒褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黑褐色土 白色粘土少量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黑褐色土 白色粘土中量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

0 (1:60) 2 m

### H-29号住居跡



### H-29号住居跡説明

1. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm・塊土・少量。炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 嫌褐色土 塊土多量含む。しまりやや弱い。粘性ややあり。
3. 嫌褐色土 塊土・少量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
4. 嫌褐色土 塊土中量。炭化粘土微量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 嫌褐色土 A s-C φ0.5cm多量。白色粘土・紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
6. 嫌褐色土 A s-C φ0.5cm多量。白色粘土・紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
7. 嫌褐色土 白色粘土少量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
8. 嫌褐色土 白色粘土少量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
9. 嫌褐色土 白色粘土中量。A s-C φ0.5cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
10. 嫌褐色土 紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土・少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
11. 黄褐色土 塊土多量。白色粘土・A s-C φ0.5cm・紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
12. 嫌褐色土 白色粘土・A s-C φ0.5cm・紺社砂層ブロック φ0.5cm・塊土微量含む。しまり強。粘性ややあり。

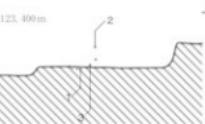
0 (1:60) 2 m

### H-31号住居跡



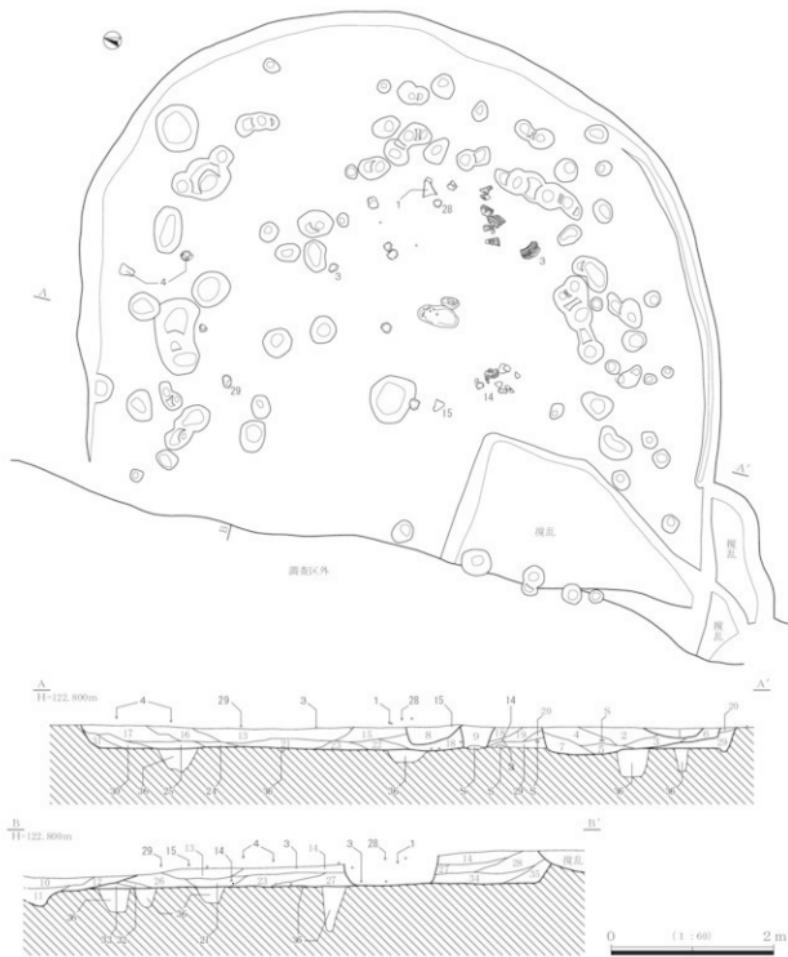
### H-31号住居跡説明

A 11F-123.400m



0 (1:60) 2 m

Fig. 23 遺構実測図 (18)



## J-1号住居跡土層説明 (1)

1. 砂褐色土 A s - C  $\phi$  0.5 cm中量、白色粘土・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm少量、  
桃土鉱量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
2. 緑褐色土 紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm中量、白色粘土・A s - C  $\phi$  0.5 cm少量、  
桃土鉱量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
3. 緑褐色土 紺社砂層中量、紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm少量、A s - C  
 $\phi$  0.5 cm鉱量含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
4. 緑褐色土 A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層少量、  
鉱量含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
5. 緑褐色土 A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm少量、  
桃土鉱量含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
6. 緑褐色土 白色粘土・A s - B  $\phi$  0.2 cm・A s - C  $\phi$  0.5 cm鉱量  
含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
7. 姫褐色土 A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層少量、  
桃土鉱量含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
8. 黒褐色土 紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層少量、A s - C  $\phi$  0.5 cm鉱量  
含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
9. 黒褐色土 紺社砂層中量、A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm少量  
含む。しまりややややあり。粘性ややややあり。
10. 姫褐色土 A s - B  $\phi$  0.2 cm中量、A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  
 $\phi$  0.5 cm鉱量含む。しまりややややややあり。粘性ややややややあり。
11. 姫褐色土 A s - B  $\phi$  0.2 cm・A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm鉱量  
含む。しまりややややややあり。粘性ややややややあり。
12. 姫褐色土 白色粘土・A s - B  $\phi$  0.2 cm・A s - C  $\phi$  0.5 cm・紺社砂層ブロック  
 $\phi$  0.5 cm鉱量含む。しまりややややややあり。粘性ややややややあり。

Fig. 24 遺構実測図 (19)

## J-1号住居跡土層断面図

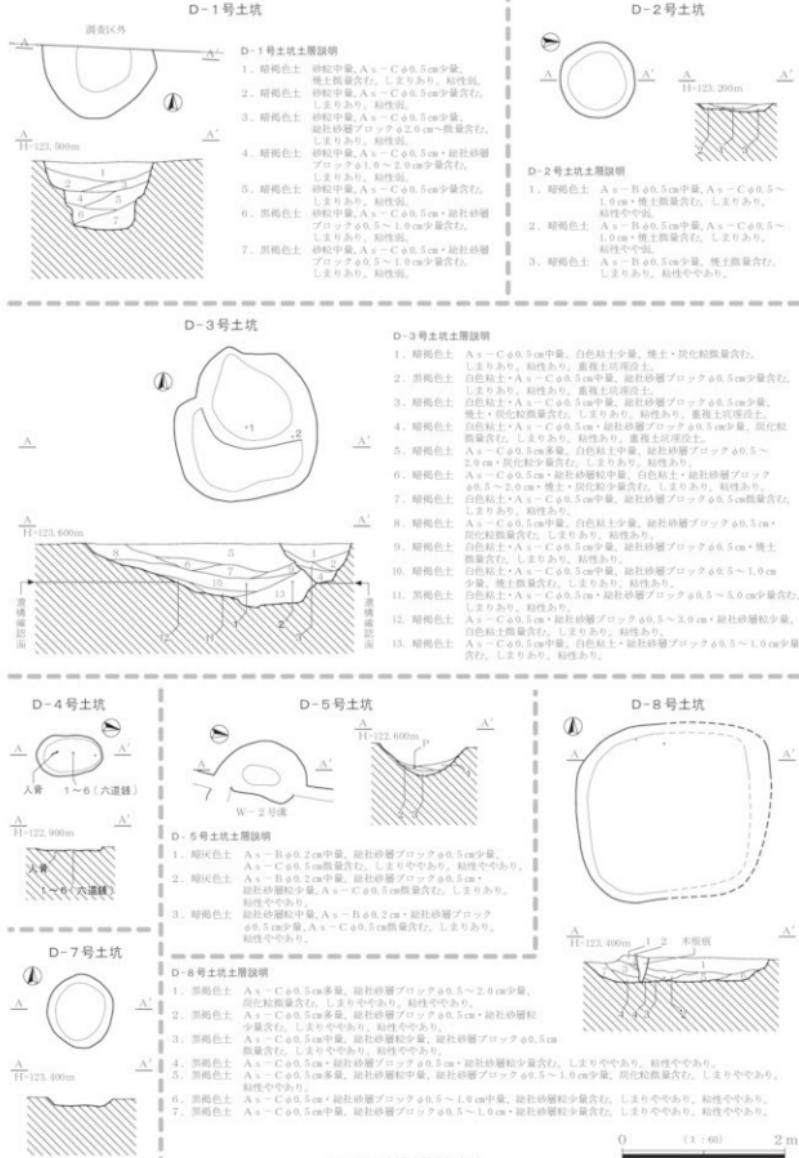
### J-1号住居跡土層断面図 (20)

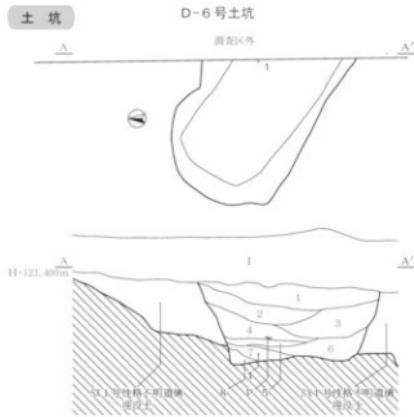
13. 黒褐色土 A s - B  $\phi$  0.2 cm・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・総社砂層粒少量。  
白色粘土 A s - C  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
14. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・総社砂層粒少量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
15. 黑褐色土 総社砂層粒少量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
16. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・総社砂層粒少量含む。しまりややあり。
17. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層粒少量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
18. 黑褐色土 総社砂層粒中量、総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 ~ 2.0 cm少量、焼土微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
19. 黑褐色土 総社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
20. 黑褐色土 総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・総社砂層粒少量含む。しまりややあり。  
粘性ややあり。
21. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層粒少量、総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・焼土微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
22. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層粒中量、総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層粒中量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
23. 暗褐色土 白色粘土多量、焼土微量含む、総社砂層粒中量、総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm少量含む。  
白色粘土・総社砂層粒中量、焼土微量含む、焼土微量含む。
24. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層粒中量、焼土微量含む、焼土微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
25. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・焼土微量含む。  
白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
26. 黑褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・焼土微量含む。  
しまりややあり。粘性ややあり。
27. 黑褐色土 白色粘土中量、総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・焼土微量含む。  
白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
28. 黑褐色土 白色粘土中量、焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
29. 暗褐色土 白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・白色粘土少量含む。  
白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
30. 黑褐色土 細社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。  
白色粘土・総社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
31. 暗褐色土 細社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 ~ 3.0 cm少量含む。  
白色粘土・総社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
32. 黑褐色土 細社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。  
白色粘土・総社砂層粒中量、白色粘土・総社砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
33. 暗褐色土 細社砂層粒中量、白色粘土少量、焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
34. 黑褐色土 細社砂層粒中量、白色粘土少量、焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
35. 暗褐色土 細社砂層粒中量、焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。
36. 暗褐色土 細社砂層粒中量、焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。



Fig. 25 遺構実測図 (20)

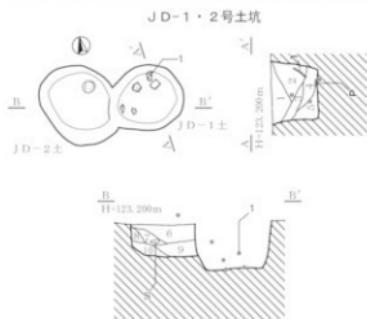
## 土 坑





#### D-6 号土壤剖面说明

1. 黒褐色土 A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5cm、炭化少量、植土質量含む。しまりあり、粘性あり。
  2. 黒褐色土 A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5cm、幾々、炭化少量含む。しまりあり、粘性あり。
  3. 黒褐色土 A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5~3.0cm少量、Hr-F-A軽度含む。しまりあり、粘性あり。
  4. 黑褐色土 A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5cm少量、Hr-F-A軽度含む。しまりあり、粘性あり。
  5. 黑褐色土 白色粘土中量。A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5cm、炭化少量含む。しまりあり、粘性あり。
  6. 黑褐色土 A - C  $\phi 0.5$ cm中量。白色粘土、結社硝基プロック約0.5cm少量、幾々。土壤含む。しまりあり、粘性あり。
  7. 黑褐色土 細粒砂質粘土約0.5cm中量。白色粘土、A - C  $\phi 0.5$ cm少量、土壤、炭化少量含む。しまりあり、粘性あり。
  8. 黑褐色土 白色粘土中量。A - C  $\phi 0.5$ cm中量。結社硝基プロック約0.5cm、炭化粒混在。しまりあり、粘性あり。



JD-1・2号土坑土质

1. 離乳食 地鶏挽肉パウチ 0.5～1.5cm・粒状地鶏胸肉・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。柔軟性あり。

2. 離乳食 地鶏挽肉中挽き 地鶏挽肉パウチ 0.5～1.5cm・粒状地鶏胸肉・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。柔軟性あり。

3. 離乳食 地鶏挽肉粗挽き 地鶏挽肉パウチ 0.5～1.5cm・粒状地鶏胸肉・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。柔軟性あり。

4. 離乳食 地鶏挽肉ミックス 地鶏挽肉パウチ 0.5～1.5cm・粒状地鶏胸肉・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。柔軟性あり。

5. 離乳食 地鶏挽肉ロッカ 0.5～1.5cm・粒状地鶏胸肉・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。柔軟性あり。

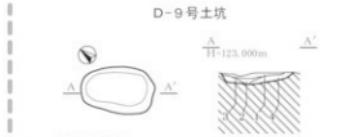
6. 離乳食 地鶏挽肉細挽き 多量・小箱 0.5～1.0kg・少量・しまりややあり。粘性弱。

7. 離乳食 地鶏挽肉粗挽き 多量・小箱 0.5～1.0kg・少量・しまりややあり。粘性弱。

8. 離乳食 地鶏挽肉ミックス 多量・地鶏挽肉パウチ 0.5～1.0kg・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。粘性弱。

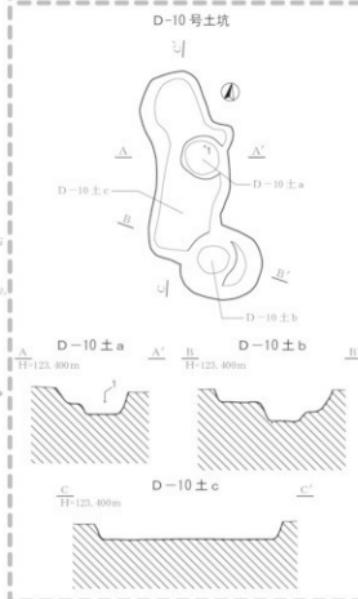
9. 離乳食 土雞挽肉細挽き 地鶏挽肉細挽き・小箱 0.5～1.0kg・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。粘性弱。

10. 離乳食 土雞挽肉粗挽き 地鶏挽肉粗挽き・小箱 0.5～1.0kg・小箱 0.5cm量含む。しまりややあり。粘性弱。



D-9号土坑土層說明

1. 黒褐色土 白色粘土・A<sub>s</sub> - C<sub>s</sub> 0.5 cm・総社妙層少量含む。しまりあり。粘性あり。
  2. 黒褐色土 白色粘土中量・A<sub>s</sub> - C<sub>s</sub> 0.5 cm・総社妙層ブロック 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
  3. 黒褐色土 白色粘土多量・A<sub>s</sub> - C<sub>s</sub> 0.5 cm少量・総社妙層ブロック 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。
  4. 黒褐色土 白色粘土多量・A<sub>s</sub> - C<sub>s</sub> 0.5 cm・総社妙層ブロック 0.5 cm・炭化鉄微量含む。しまりあり。粘性あり。



JD-3号土坑

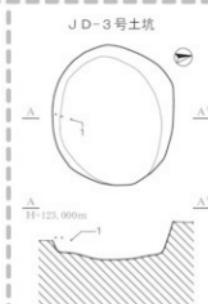


Fig. 27 誤標定測図 (22)

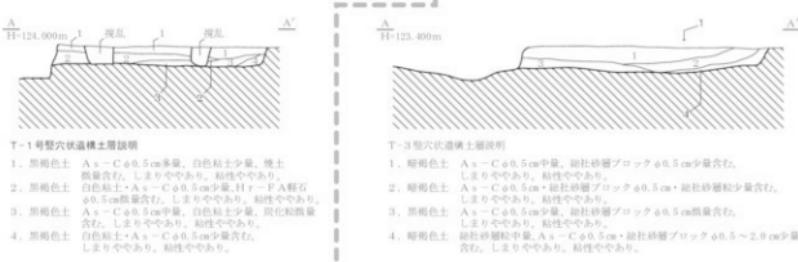
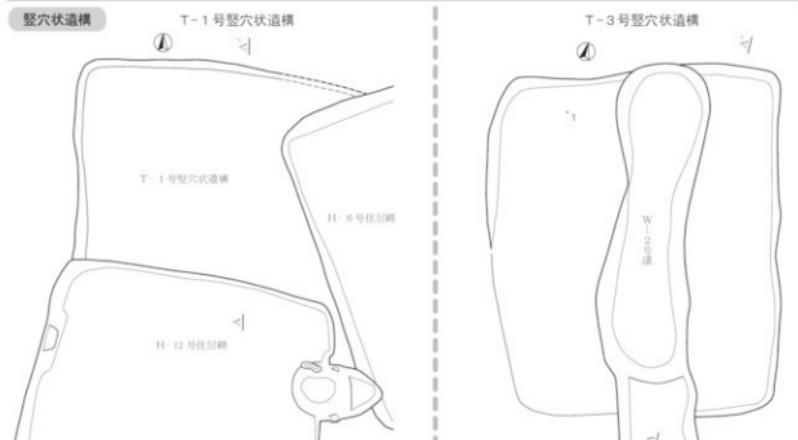
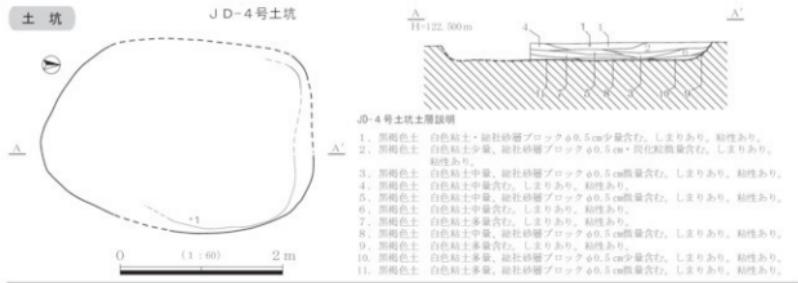


Fig. 28 遺構実測図 (23)

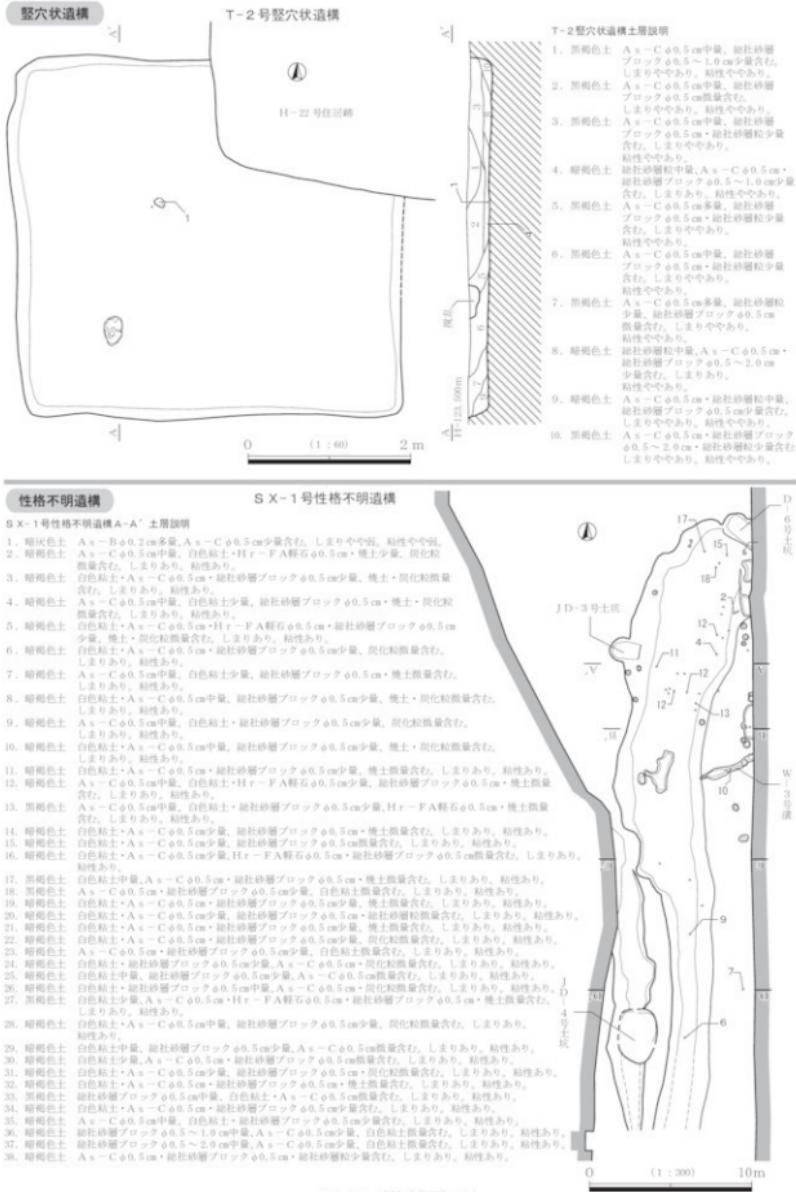
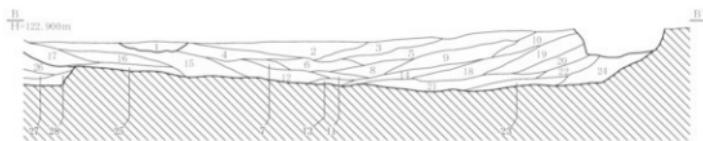
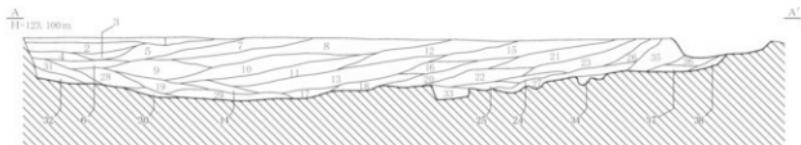


Fig. 29 道構実測図 (24)

#### 性格不明遺構

### S X-1 号性格不明遗模



### SX-1号性格不明显模式“白-白”土壤说明

1. 嫩褐色土 A = C - B = 0.2 ~ 0.3 cm、A - C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック  
0.5 cm中含む。しまりあり。粘性や少粘。

2. 嫩褐色土 白色粘土 A - C = 0.3 ~ 0.5 cm中量、Hr - F A 粘土 0.5 cm、細砂層  
ブロック 0.5 cm少量。現状乾燥風化含む。しまりあり。粘性あり。

3. 嫩褐色土 A - C = 0.3 ~ 0.5 cm中量、白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量。  
Hr - F A 粘土 0.5 cm。堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

4. 嫩褐色土 A - C = 0.5 cm中量、Hr - F A 粘土 0.5 cm、総砂礫層  
ブロック 0.5 cm少量。白色粘土、堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

5. 嫩褐色土 A - C = 0.5 cm中量、白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量  
含む。しまりあり。粘性あり。

6. 黑褐色土 A = C - B = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、堆土、堆化粘  
性風化含む。しまりあり。粘性あり。

7. 黑褐色土 A = C - 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm、堆土・堆粘土量含む。  
しまりあり。粘性あり。

8. 嫩褐色土 白色粘土 A - C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、  
Hr - F A 粘土 0.5 cm、堆土、堆化粘性風化含む。  
しまりあり。粘性あり。

9. 嫩褐色土 A - C = 0.5 cm、堆土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、堆化粘  
性風化含む。しまりあり。粘性あり。

10. 黑褐色土 A = C - 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量含む。  
しまりあり。粘性あり。

11. 黑褐色土 A = C - 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm、堆土、堆化粘性風化  
含む。しまりあり。粘性あり。

12. 黑褐色土 細砂層ブロック 0.5 cm中量、A - C = 0.5 cm、堆土、堆化粘  
性風化含む。しまりあり。粘性あり。

13. 黑褐色土 細砂層ブロック 0.5 cm中量、A - C = 0.5 cm粘性  
含む。しまりあり。粘性あり。

14. 黑褐色土 A = C - 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量含む。  
しまりあり。粘性あり。

15. 嫩褐色土 Hr - F A 粘土 0.5 cm中量、白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、  
Hr - F A 粘土 0.5 cm、堆土、開挖風化含む。しまりあり。

16. 嫩褐色土 A = C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm中量。白色粘土少量、  
Hr - F A 粘土 0.5 cm、堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

17. 嫩褐色土 A = C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm中量。白色粘土少量、  
堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

18. 嫩褐色土 A = C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、Hr - F A 粘土  
0.5 cm中量、白色粘土少量、堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

19. 黑褐色土 A = C = 0.5 cm中量、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、Hr - F A  
粘土 0.5 cm風化含む。しまりあり。粘性あり。

20. 黑褐色土 A = C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm中量含む。  
しまりあり。粘性あり。

21. 嫩褐色土 白色粘土少量、総砂礫層ブロック 0.5 cm、堆化粘少量、A - C  
0.5 cm粘性風化含む。しまりあり。粘性あり。

22. 黑褐色土 細砂層ブロック 0.5 cm中量、A - C = 0.5 cm少粘含む。  
しまりあり。粘性あり。

23. 黑褐色土 白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、A - C = 0.5 cm粘性  
含む。しまりあり。粘性あり。

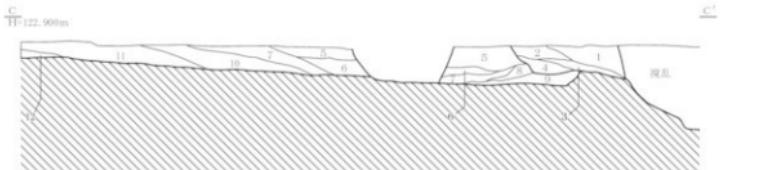
24. 嫩褐色土 白色粘土 A - C = 0.5 cm、総砂礫層ブロック 0.5 cm、  
総砂礫層少量、堆化粘風化含む。しまりあり。粘性あり。

25. 嫩褐色土 白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm、総砂礫層少量、A - C  
0.5 cm、堆化粘風化含む。しまりあり。粘性あり。

26. 嫩褐色土 A = C = 0.5 cm、堆土、総砂礫層ブロック 0.5 cm中量。白色粘土少  
量、堆土風化含む。しまりあり。粘性あり。

27. 黑褐色土 白色粘土、総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、A - C = 0.5 cm粘性  
含む。しまりあり。粘性あり。

28. 嫩褐色土 総砂礫層ブロック 0.5 cm少量、白色粘土、A - C = 0.5 cm粘性  
含む。しまりあり。粘性あり。



◎第十一章 民生篇：不眠不休的「五個一工程」

5. X-1型モード切替器 G-C 土壌改良用

  1. 鮑炭土 A - B < 0.2 cm 土量, A - C < 0.5 cm, 総社糞層ブロック 0.5 cm, 総社糞層少量含む。しまりややあり。  
0 (1 : 60) 2  
種子やや含む。
  2. 鮑炭土 A - B < 0.2 cm 土量, A - C < 0.5 cm, 総社糞層少量, 総社糞層ブロック 0.5 cm, 炭化鉄微量含む。  
しまりやや含む。
  3. 鮑炭土 A - B < 0.2 cm 土量, 総社糞層ブロック 0.5 cm, 総社糞層少量, 白色土 A - S < 0.5 cm, 炭化鉄微量含む。しまりややあり。粘性やや含む。
  4. 鮑炭土 A - B < 0.2 cm 土量, A - C < 0.5 cm, 総社糞層ブロック 0.5 cm, 総社糞層少量, 炭化鉄微量含む。しまりやや含む。粘性やや含む。
  5. 黒鶴土 白色粘土 A - S < 0.5 cm 土量, 総社糞層ブロック 0.5 cm, 番紅色微量含む。しまりやや含む。

Fig. 30 遺構実測図 (25)

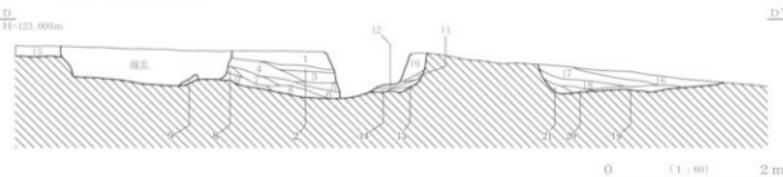
性格不明遺傳

#### S X-1号性格不明遺構

S X: 1号性格不明這樣C-C' 主要說明2

6. 黒褐色土　白色粘土・絆砂層ブロック  $\phi 0.5$ cm少量、A-s-C  $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。活性あり。
  7. 黒褐色土　白色粘土・A-s-C  $\phi 0.5$ cm少量、絆砂層ブロック  $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。活性あり。
  8. 黑褐色土　白色粘土・A-s-C  $\phi 0.5$ cm・絆砂層ブロック  $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。活性あり。
  9. 黑褐色土　白色粘土・A-s-C  $\phi 0.5$ cm少量、絆砂層ブロック  $\phi 0.5$ cm微量含む。しまりあり。活性あり。

- 暗褐色土 緑砂層粒中量、白色粘土 A-s-C  $\phi$  0.5 cm・緑砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm 少量。炭化鉱物含む。しまりあり。粘性あり。
  - 暗褐色土 A-S-C  $\phi$  0.5 cm・緑砂層粒中量、白色粘土、緑砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性あり。
  - 暗褐色土 白色粘土 A-s-C  $\phi$  0.5 cm、緑砂層ブロック  $\phi$  0.5 cm・緑砂層少層含む。しまりあり。粘性あり。



SX-1号性格不明這樣D-D' 土層說明

1. 带褐毛色 白色粘土 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 少量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  2. 带褐毛色 白色粘土 級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 少量、A - S - C  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  3. 带褐毛色 白色粘土中量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 少量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  4. 带褐毛色 白色粘土中量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量、級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  5. 黑褐色土 白色粘土多量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量、級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  6. 黑褐色土 白色粘土中量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  7. 黑褐色土 白色粘土中量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量含む、級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  8. 带褐毛色 白色粘土多量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  9. 带褐毛色 白色粘土中量 A - S  $\times$  C  $\phi$  0.5 cm 少量含む、級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  10. 黑褐色土 白色粘土少々 級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。粘性あり。
  11. 黑褐色土 白色粘土少々、級社番籠ブロック  $\phi$  0.5 cm 略量含む。  
しまりあり。

12. 黒褐色土 白細粒少量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  13. 墓褐色土 白細粒少量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  14. 黑褐色土 白細粒中量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  15. 褐褐色土 A + B 0.5cm中量。白細粒。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。  
しまりあり。粒度あり。
  16. 黑褐色土 白細粒中量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  17. 黑褐色土 白細粒。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  18. 黑褐色土 白細粒少量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  19. 黑褐色土 白細粒中量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  20. 黑褐色土 白細粒少量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  21. 黑褐色土 白細粒中量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。
  22. 黑褐色土 白細粒中量。総社砂礫ブロックφ 0.5cm量含む。しまりあり。  
粒度あり。

S X-3是性格不明造裡

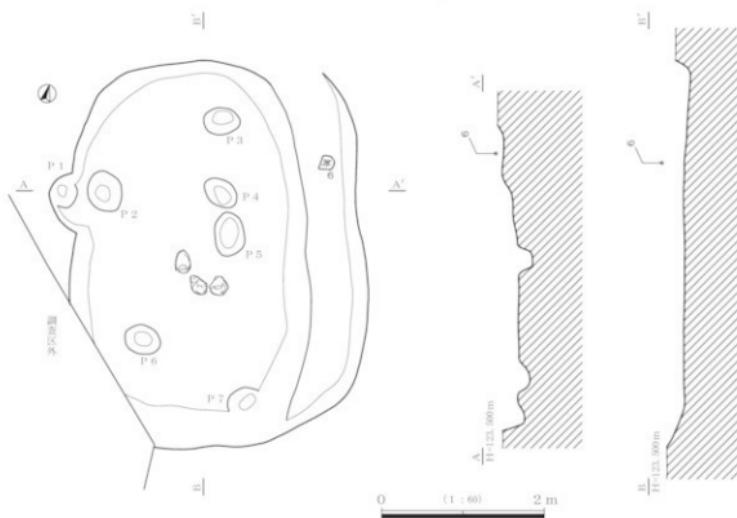
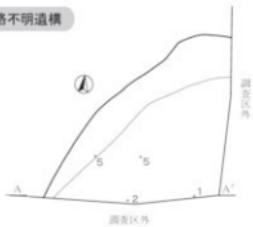
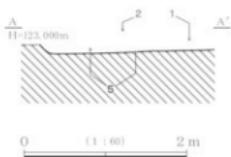


Fig. 31 遺構実測図 (26)

性格不明遺構

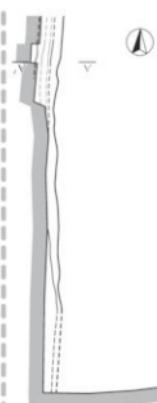


S X-2号性格不明遺構

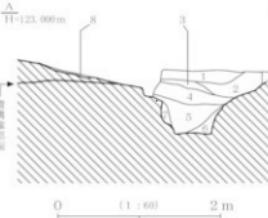


溝

W-3号溝



W-4号溝

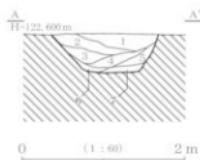


W-4号溝土層説明

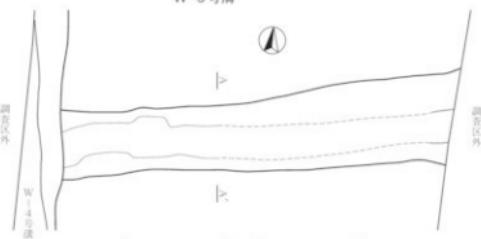
1. 増灰色土 A x - B φ 0.2 cm・A x - C φ 0.5 cm・総社砂層少量含む。しまりやあり。
2. 増灰色土 A x - B φ 0.2 cm中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層少量含む。しまりややあり。
3. 増灰色土 A x - B φ 0.2 cm中量, A x - C φ 0.5 cm少量・総社砂層少量含む。しまりややあり。
4. 増灰色土 A x - B φ 0.2 cm多量 A x - C φ 0.5 cm少量・総社砂層少量含む。しまりややあり。
5. 増灰色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層少量含む。しまりややあり。
6. 増梅色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層少量含む。しまりややあり。
7. 増梅色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりややあり。
8. 増灰色土 A x - B φ 0.2 cm・A x - C φ 0.5 cm少量・総社砂層微量含む。しまりややあり。

W-3号溝土層説明

1. 増褐色土 白色粘土・A x - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量・炭化鉄微量含む。しまりあり。
2. 増褐色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量・白色粘土・炭化鉄微量含む。しまりあり。
3. 黒褐色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 0.5 cm～5.0 cm少量・白色粘土・炭化鉄微量含む。しまりあり。粘性あり。



W-5号溝



W-5号溝土層説明

1. 増褐色土 A x - C φ 0.5 cm・総社砂層ブロック φ 1.0 cm少量含む。しまりややあり。
2. 増褐色土 細粒砂層・総社砂層・総社砂層ブロック φ 0.5～5.0 cm中量, A x - C φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。
3. 増褐色土 総社砂層中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層・総社砂層ブロック φ 1.0 cm少量含む。しまりややあり。
4. 増褐色土 細粒砂層中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層・総社砂層ブロック φ 1.0～2.0 cm少量含む。しまりややあり。
5. 増褐色土 細粒砂層中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。
6. 増褐色土 細粒砂層中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層・総社砂層ブロック φ 0.5～1.0 cm少量含む。しまりややあり。
7. 増褐色土 細粒砂層中量, A x - C φ 0.5 cm・総社砂層・総社砂層ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりややあり。

Fig. 32 遺構実測図 (27)

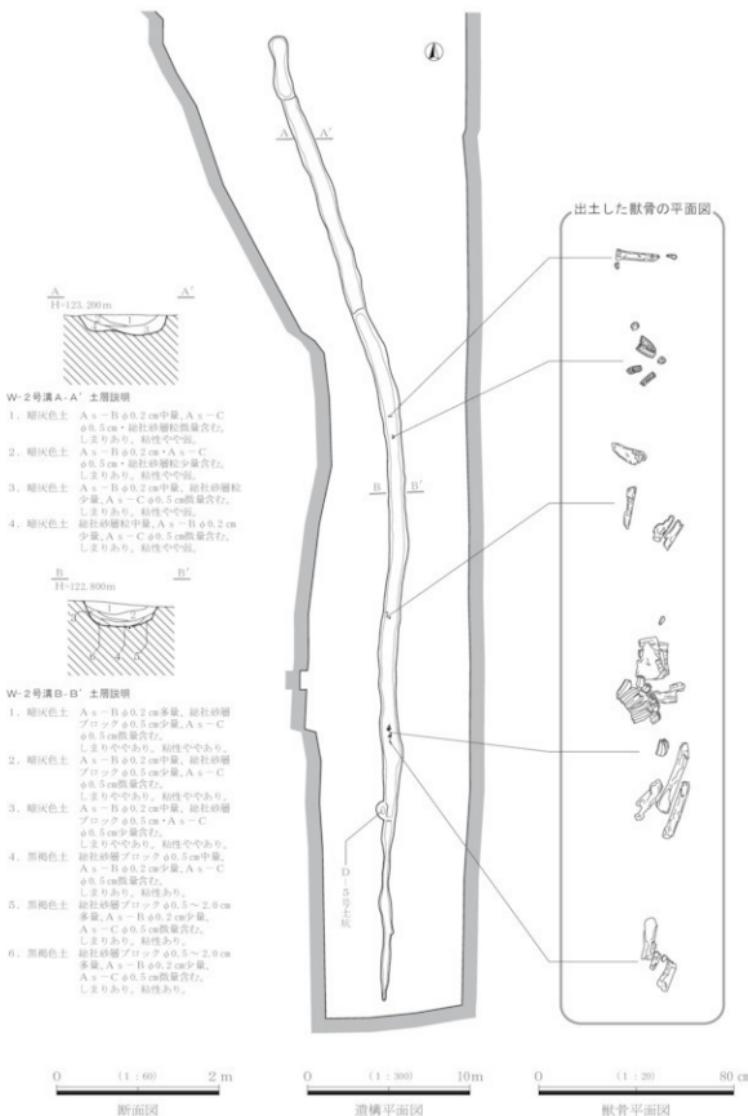
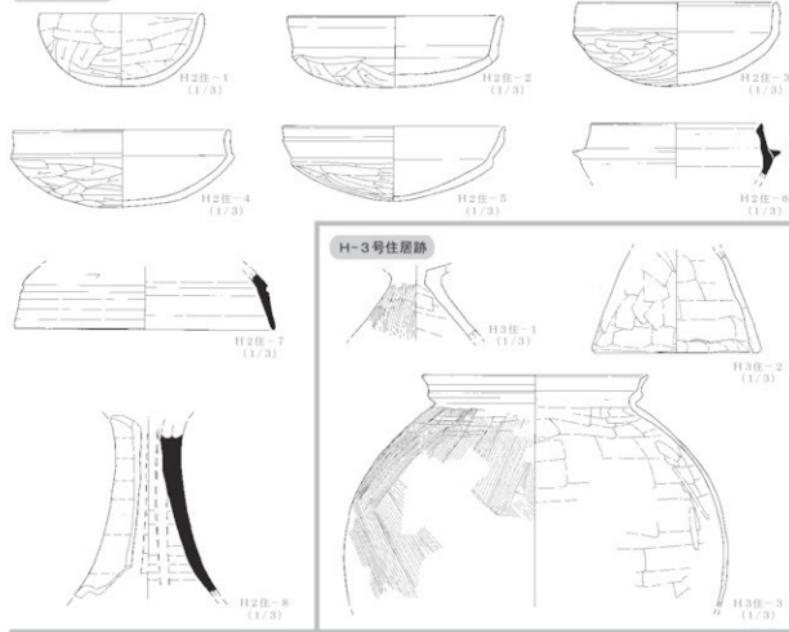
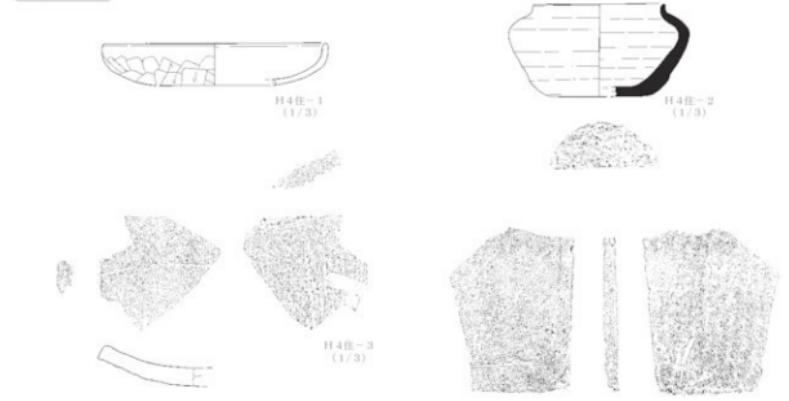


Fig. 33 遺構実測図 (28)

H-2号住居跡



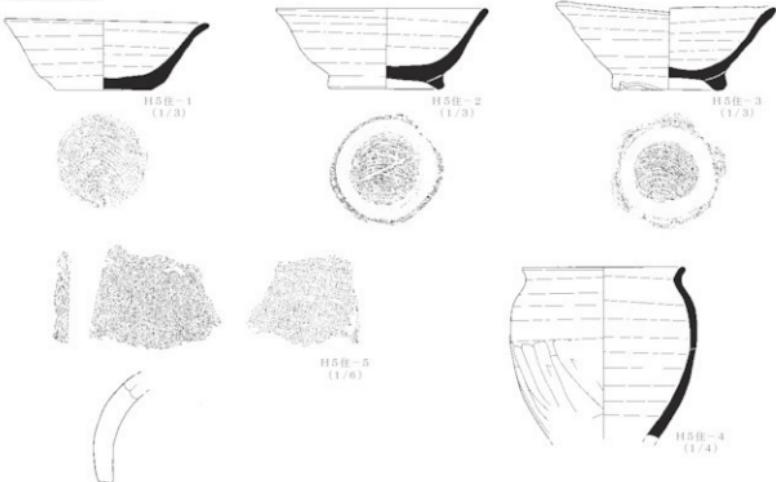
H-4号住居跡



0 (1 : 3) 10 cm  
0 (1 : 4) 10 cm

Fig. 34 遺物実測図 (1)

H-5号住居跡



H-6号住居跡

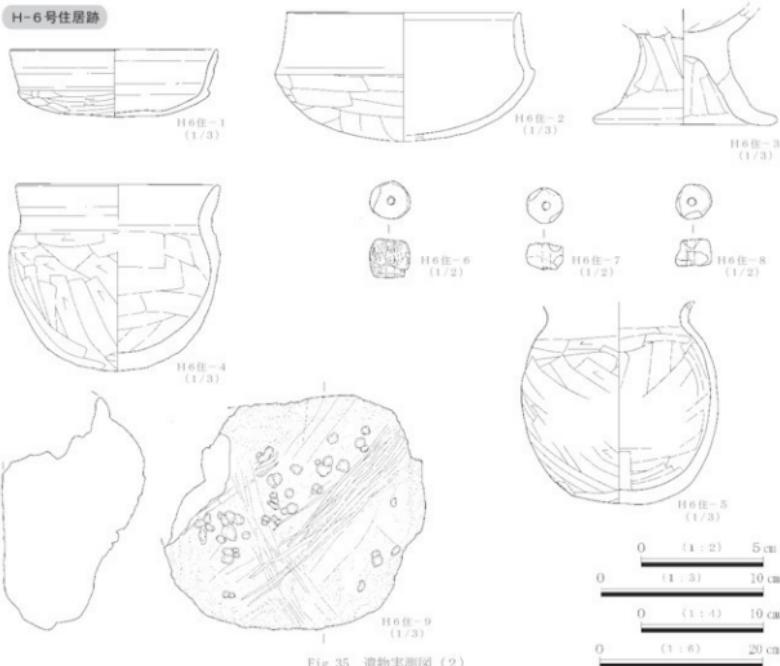
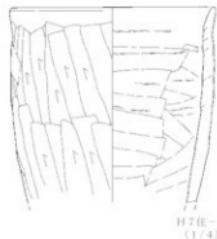


Fig. 35 遺物実測図(2)

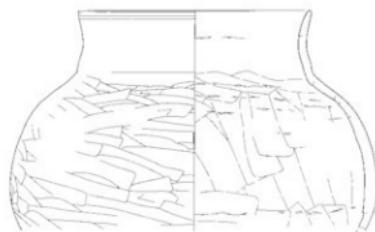
H-7号住居跡



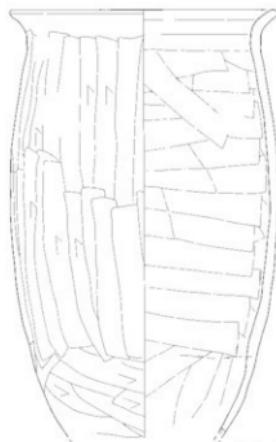
H7住-1  
(1/3)



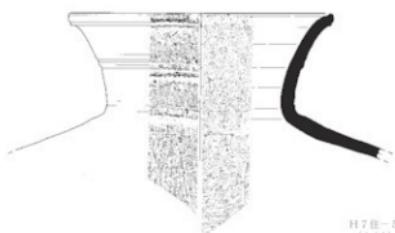
H7住-2  
(1/4)



H7住-4  
(1/4)

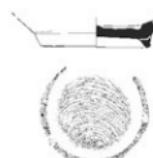


H7住-3  
(1/4)



H7住-5  
(1/4)

H-8号住居跡



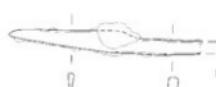
H8住-3  
(1/3)



H8住-2  
(1/4)



H8住-3  
(1/4)



H8住-4  
(1/2)

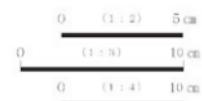


Fig. 36 遺物実測図 (3)

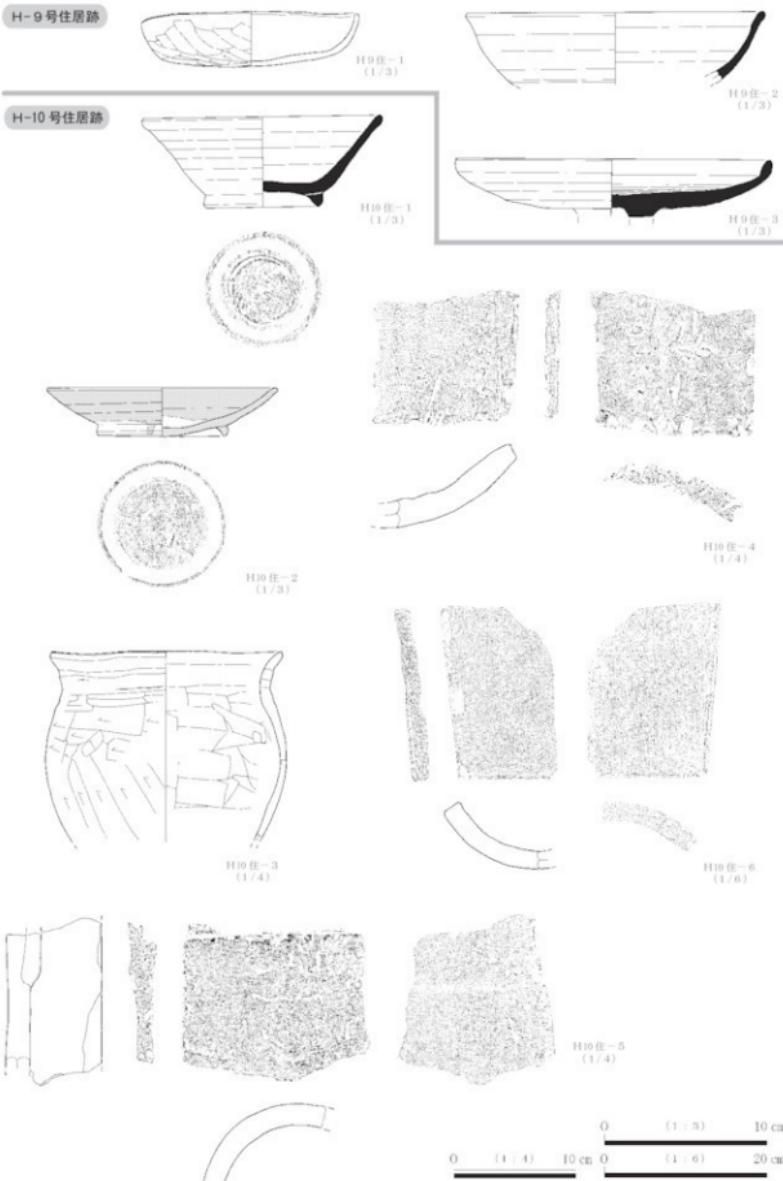


Fig. 37 遺物実測図 (4)

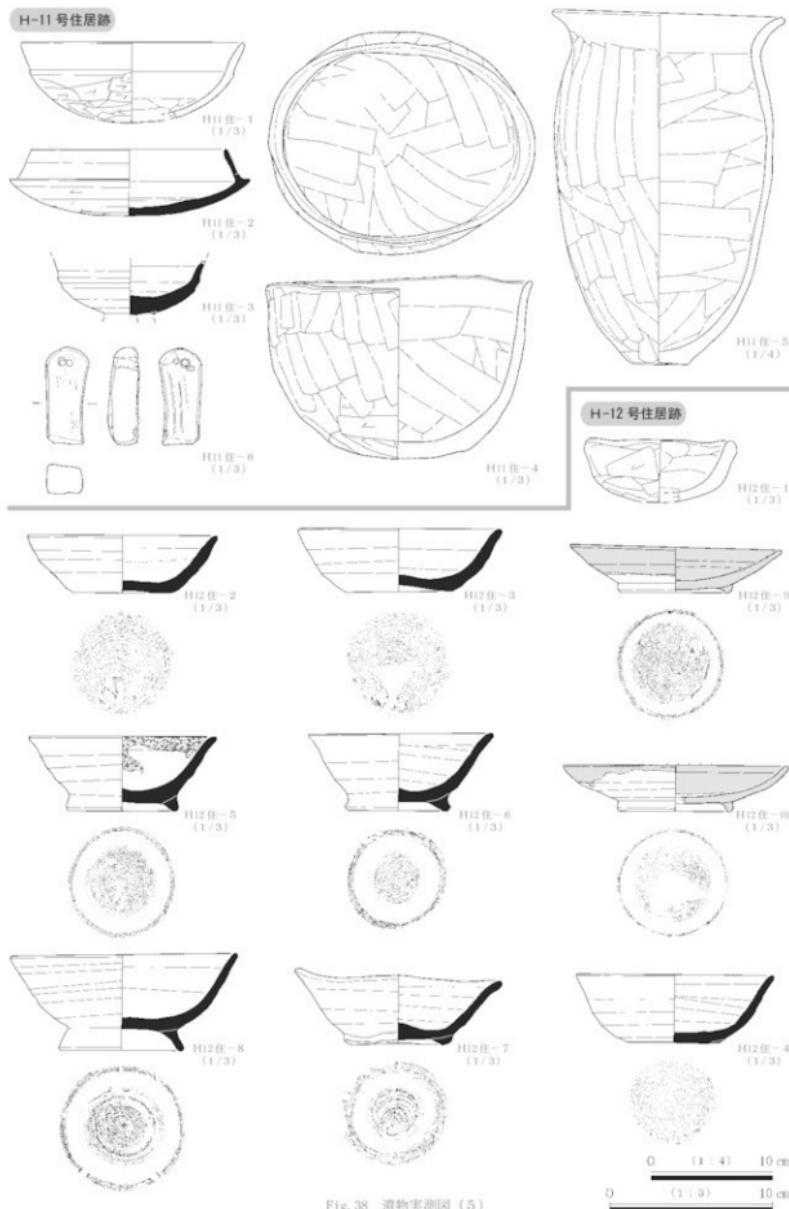


Fig. 38 遺物実測図 (5)

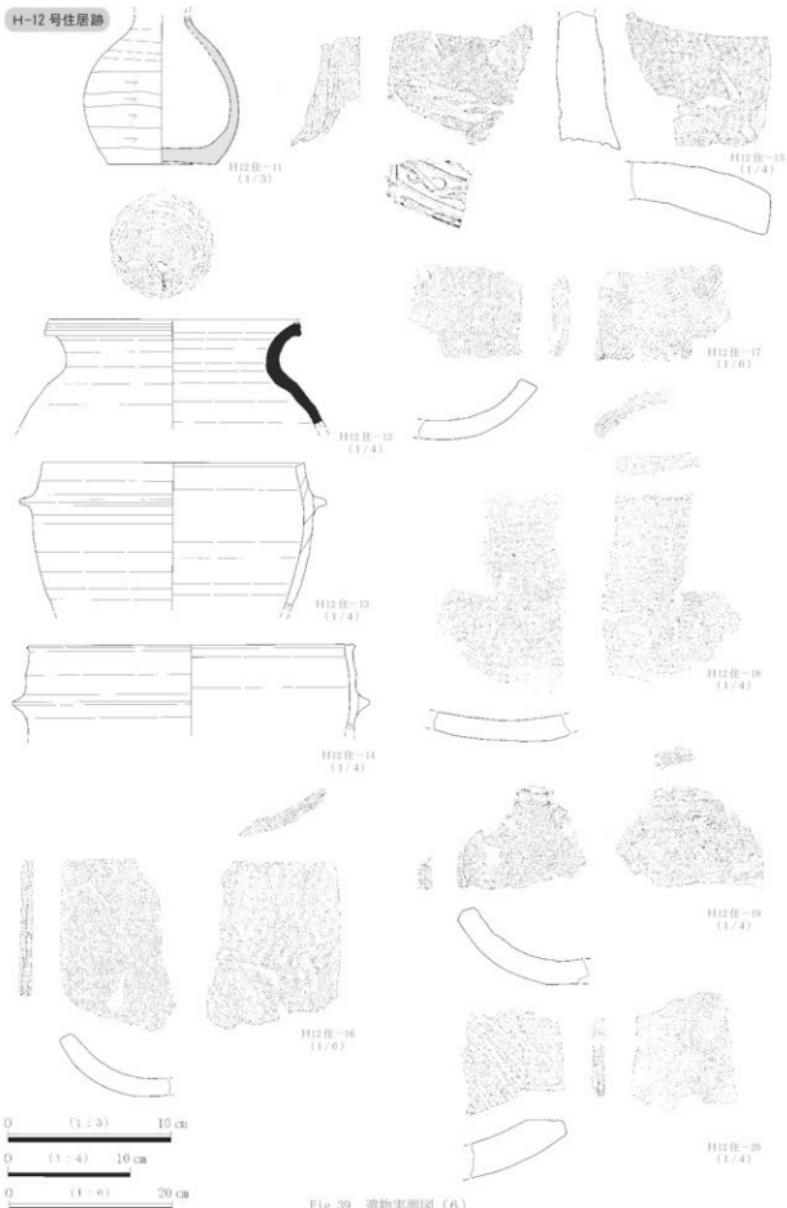


Fig. 39 遺物実測図 (6)

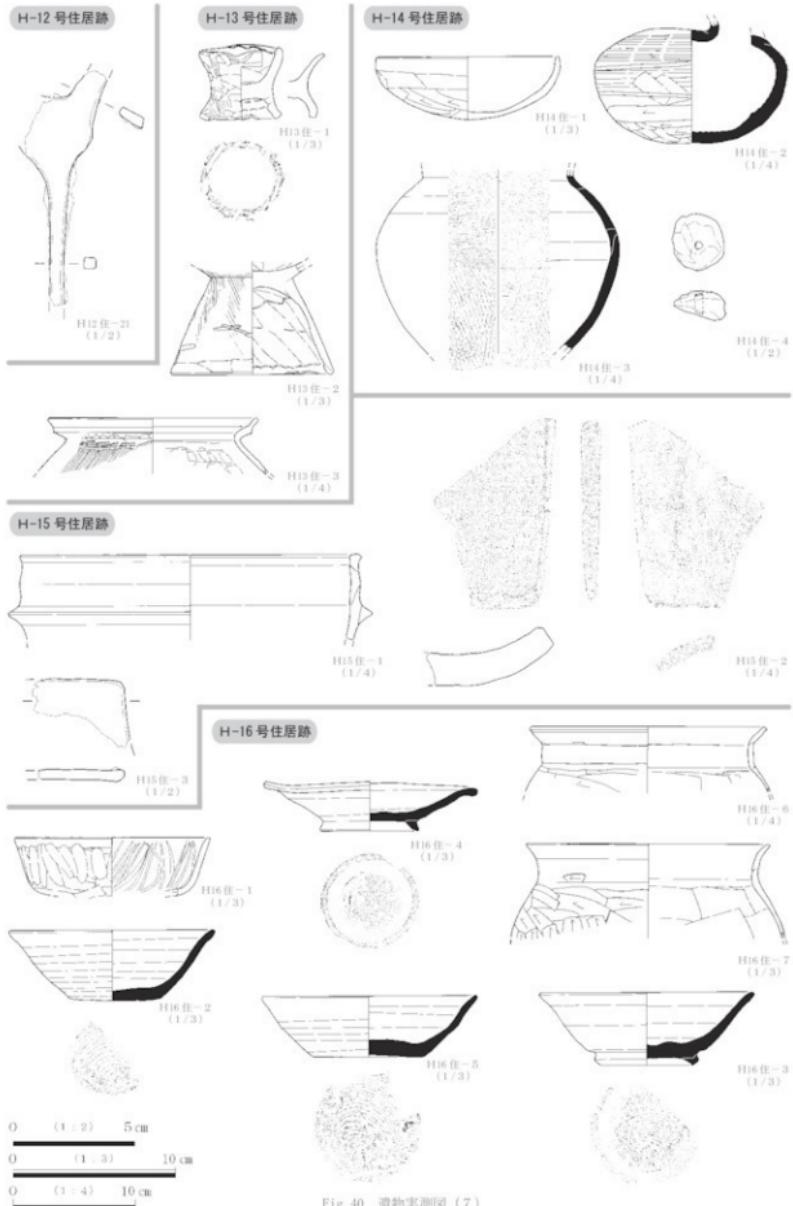
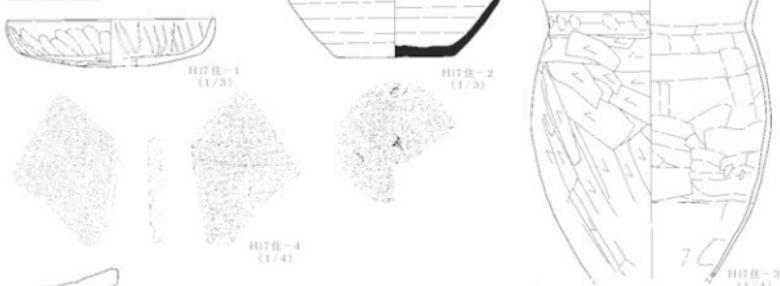


Fig. 40 遺物実測図 (7)

H-17号住居跡



H-18号住居跡



H-19号住居跡

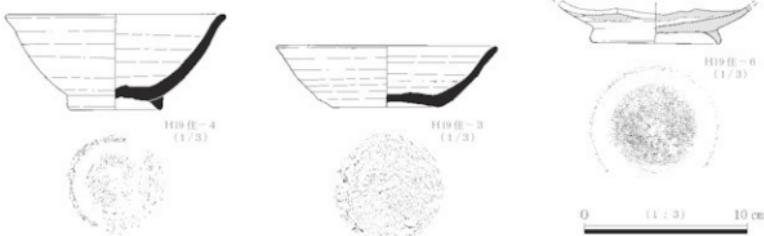
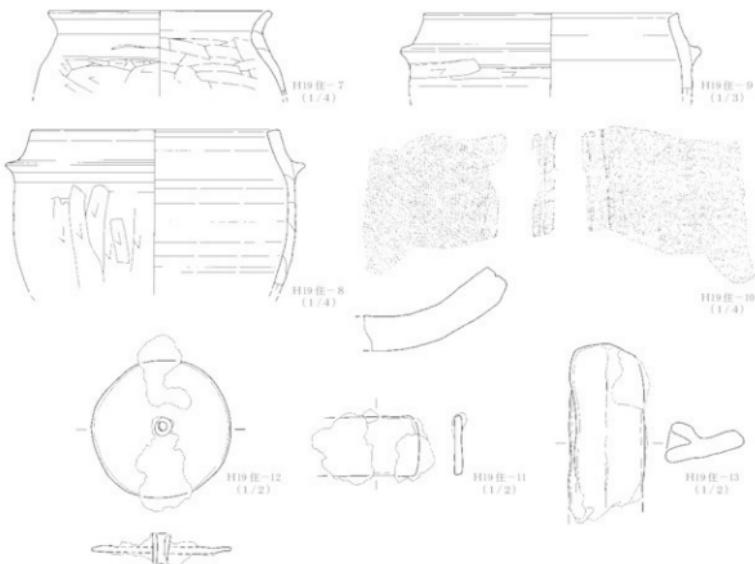


Fig. 41 遺物実測図 (8)

0 (1 : 3) 10 cm  
0 (1 : 4) 10 cm

H-19号住居跡



H-20号住居跡

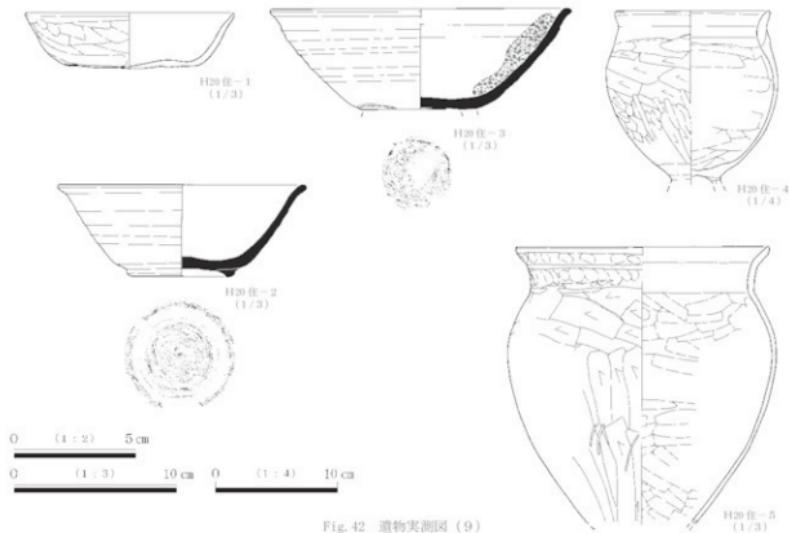


Fig. 42 遺物実測図 (9)

H-21号住居跡

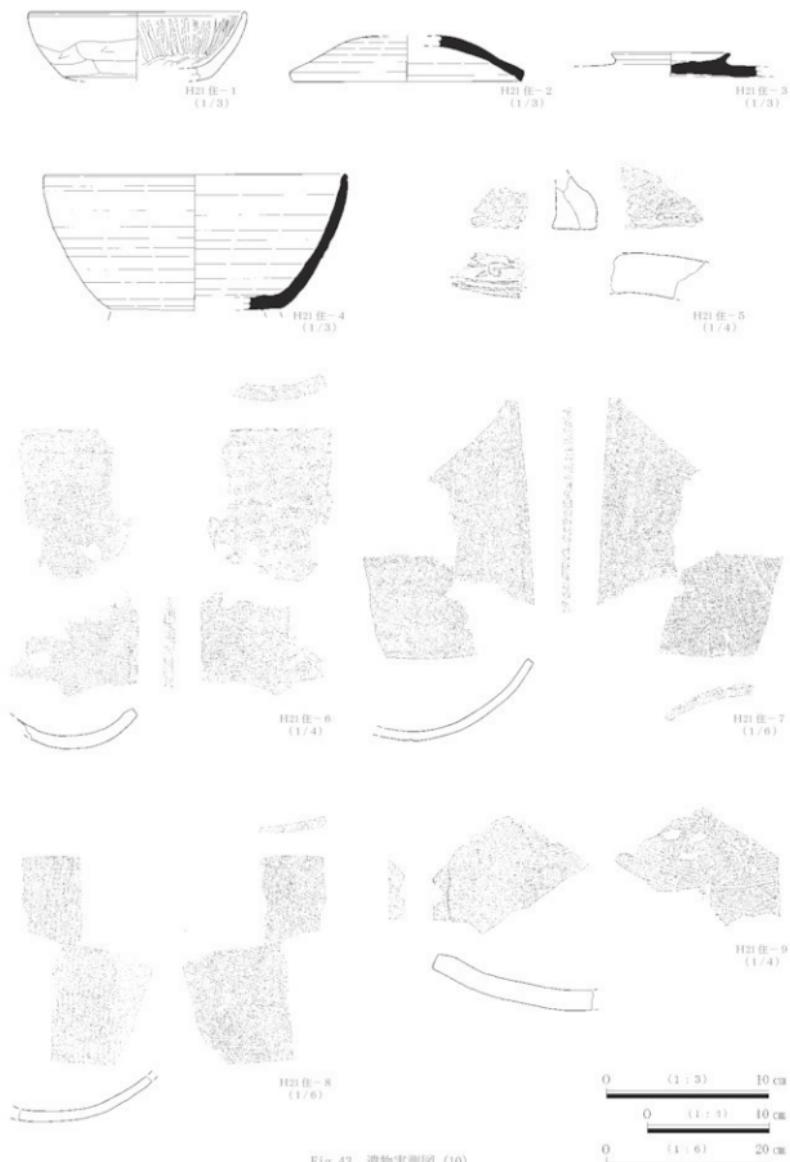


Fig. 43 遺物実測図 (10)

H-22号住居跡

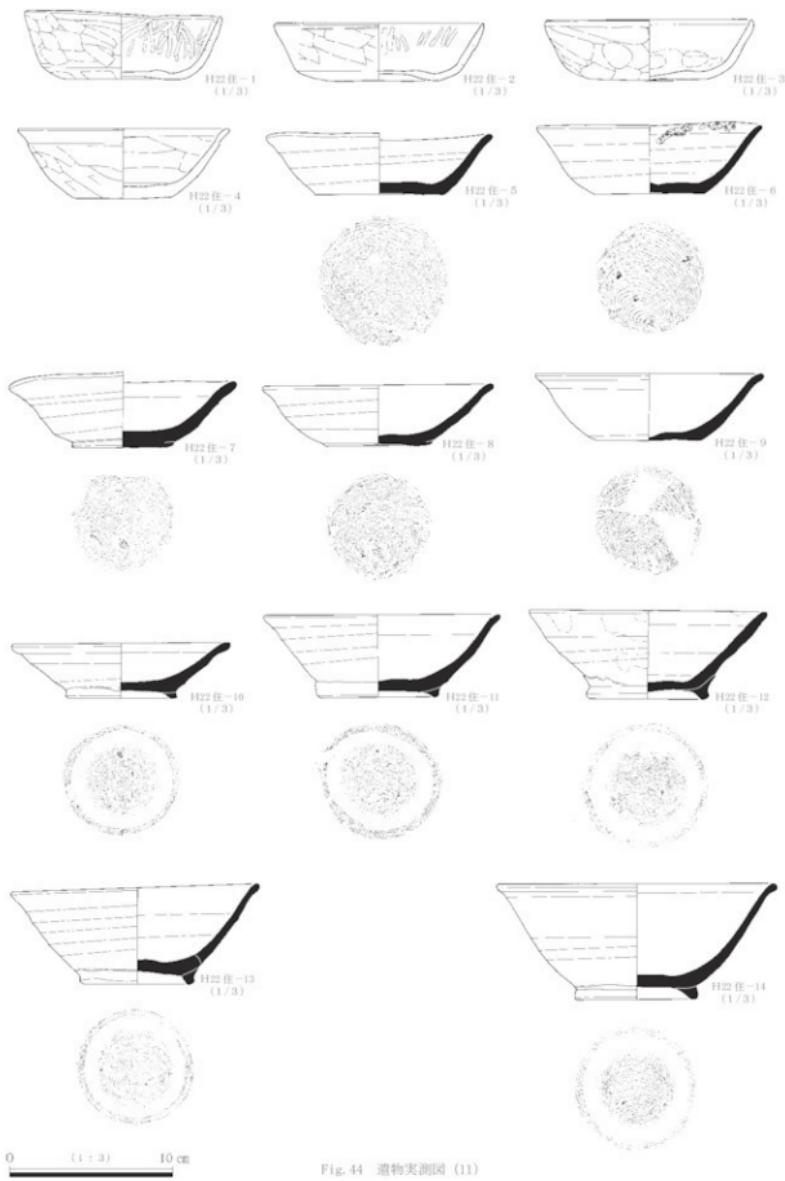


Fig. 44 遺物実測図 (11)

H-22号住居跡

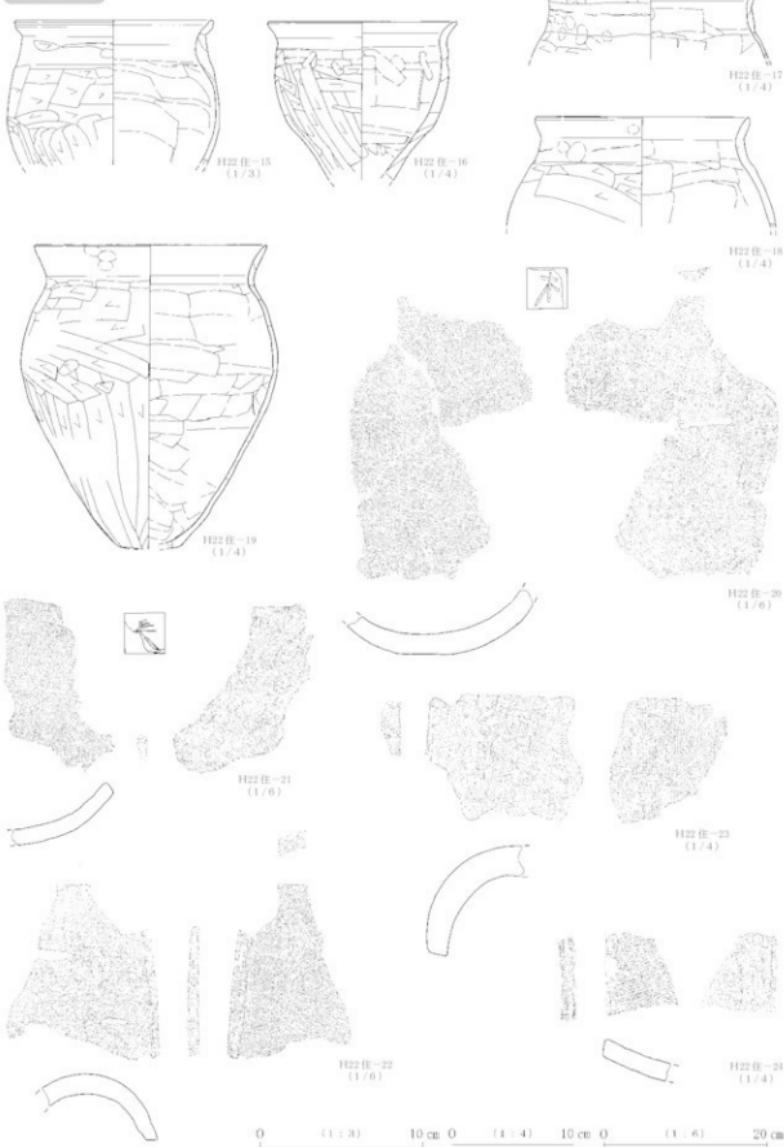


Fig. 45 遺物実測図 (12)

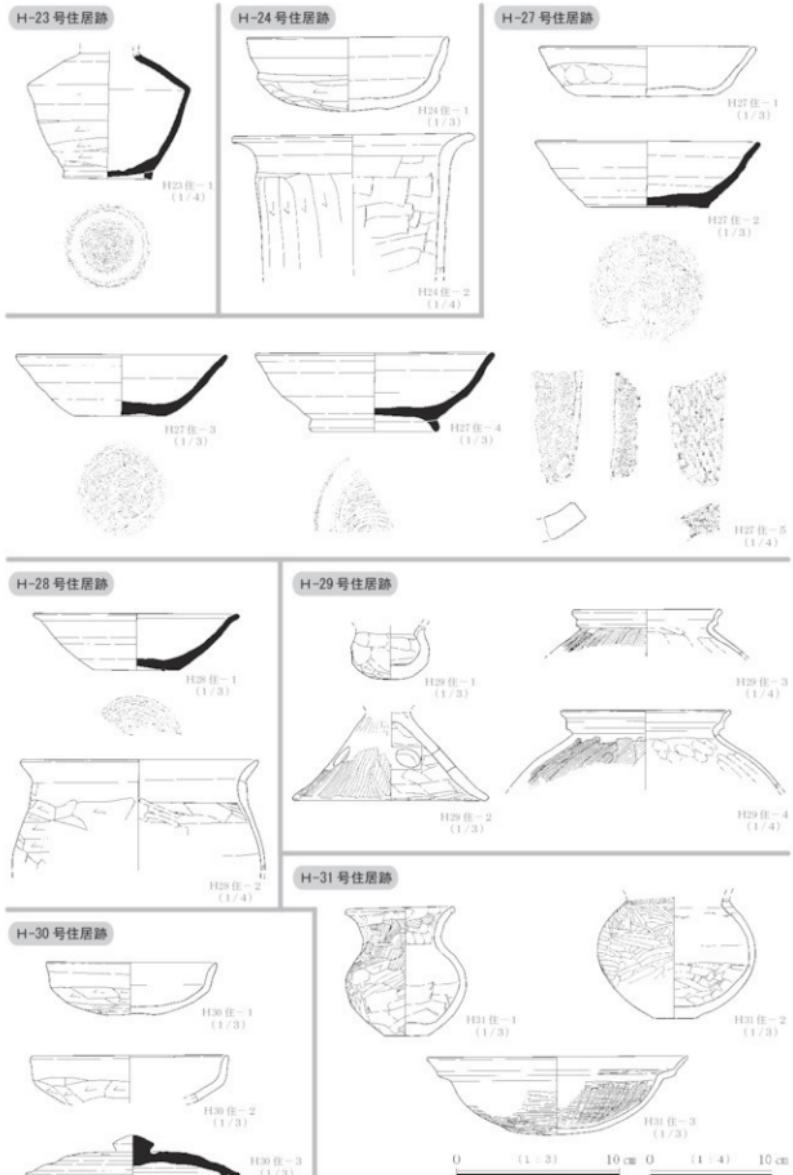


Fig. 46 遺物実測図 (13)

J-1号住居跡

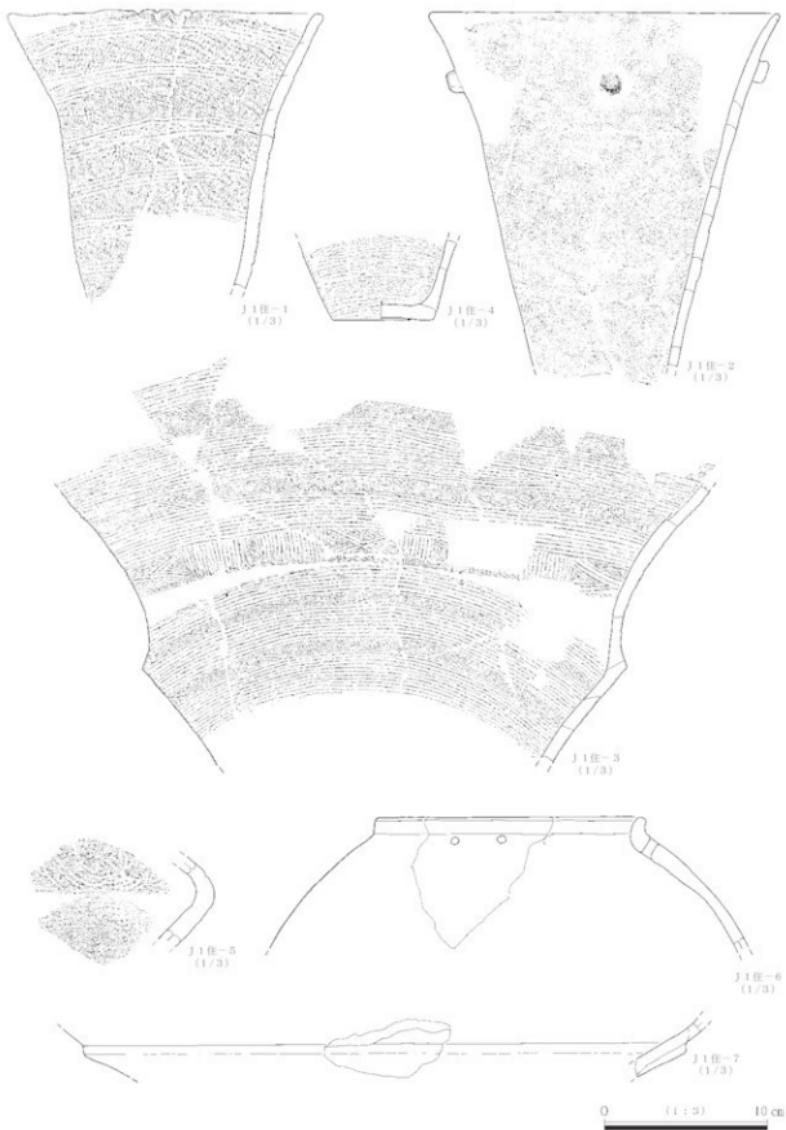


Fig. 47 遺物実測図 (14)

J-1号住居跡

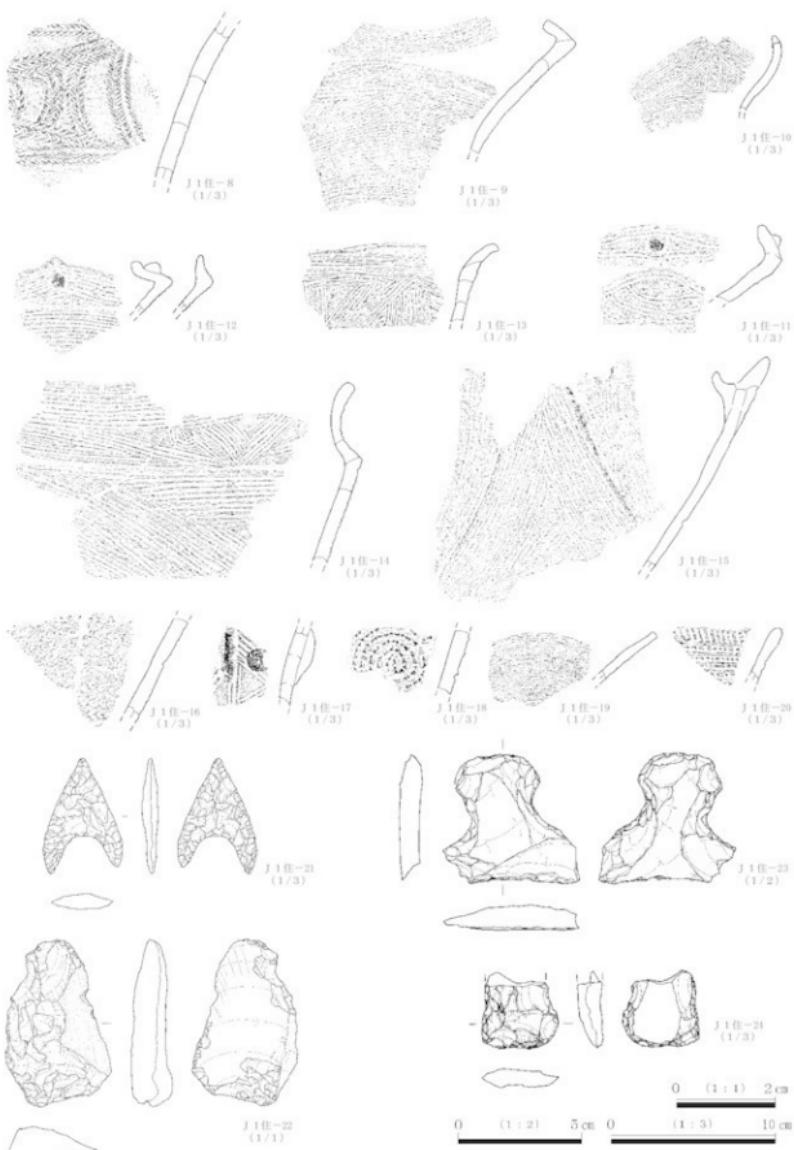
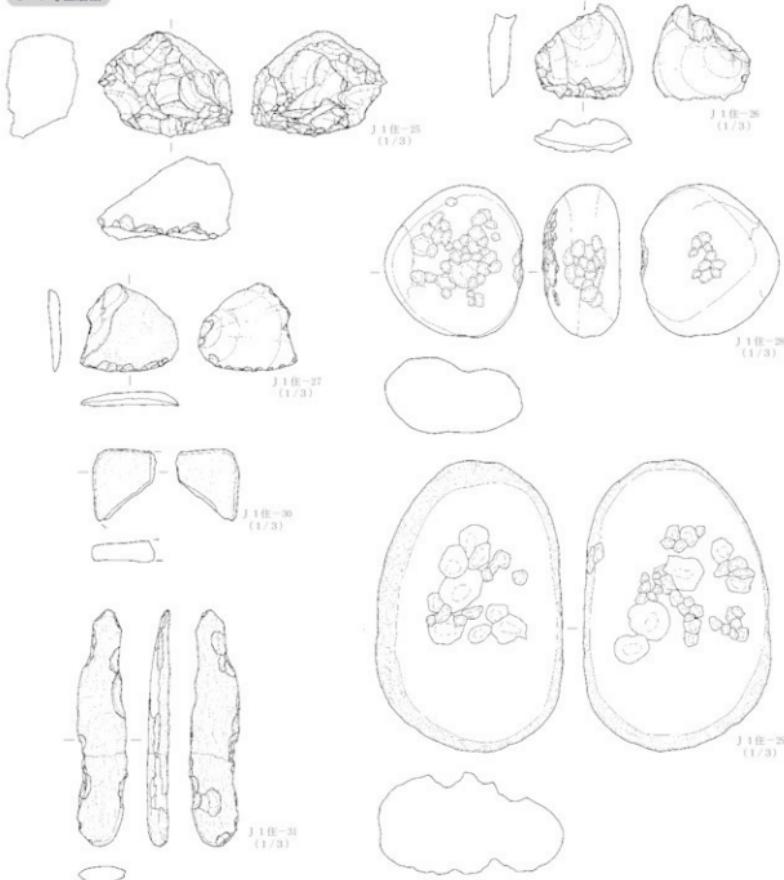
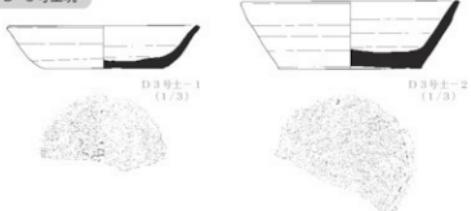


Fig. 48 遺物実測図 (15)

J-1号住居跡



D-3号土坑



D-6号土坑

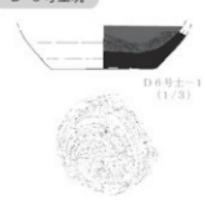


Fig. 49 遺物実測図 (16)

0 (1 : 3) 10 cm

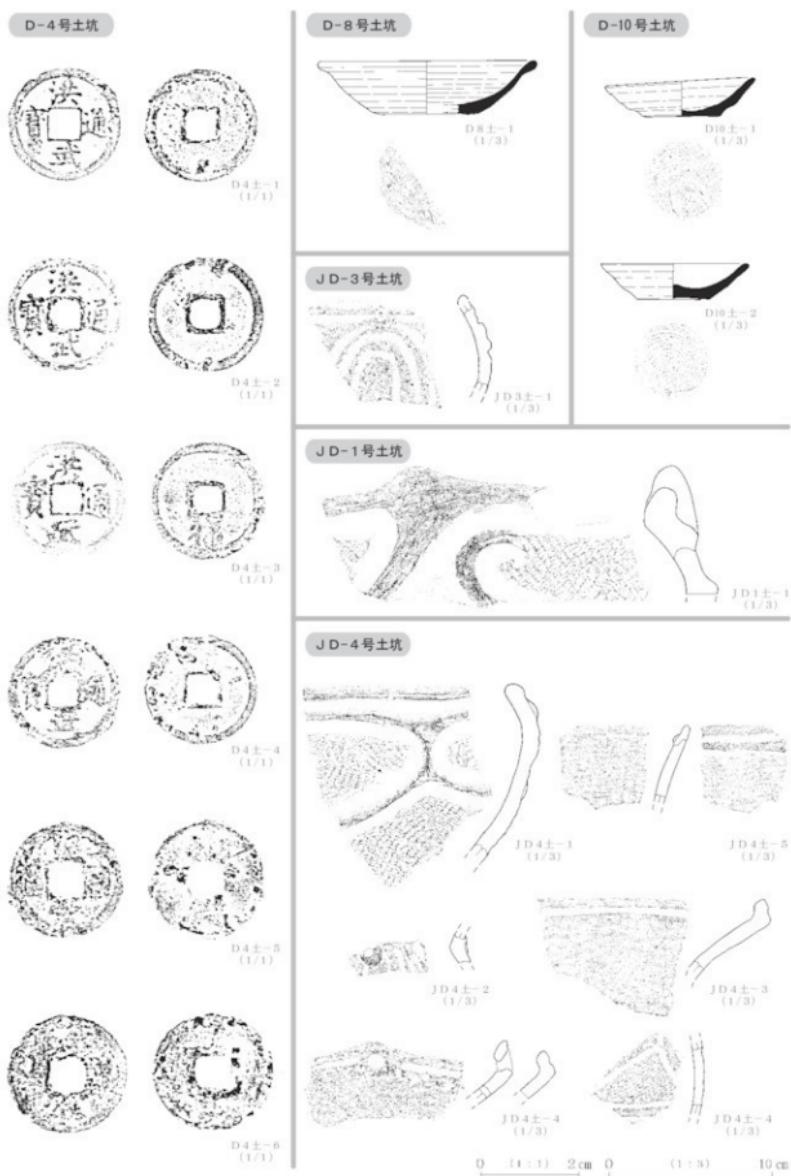


Fig. 50 遺物実測図 (17)

J-1号集石

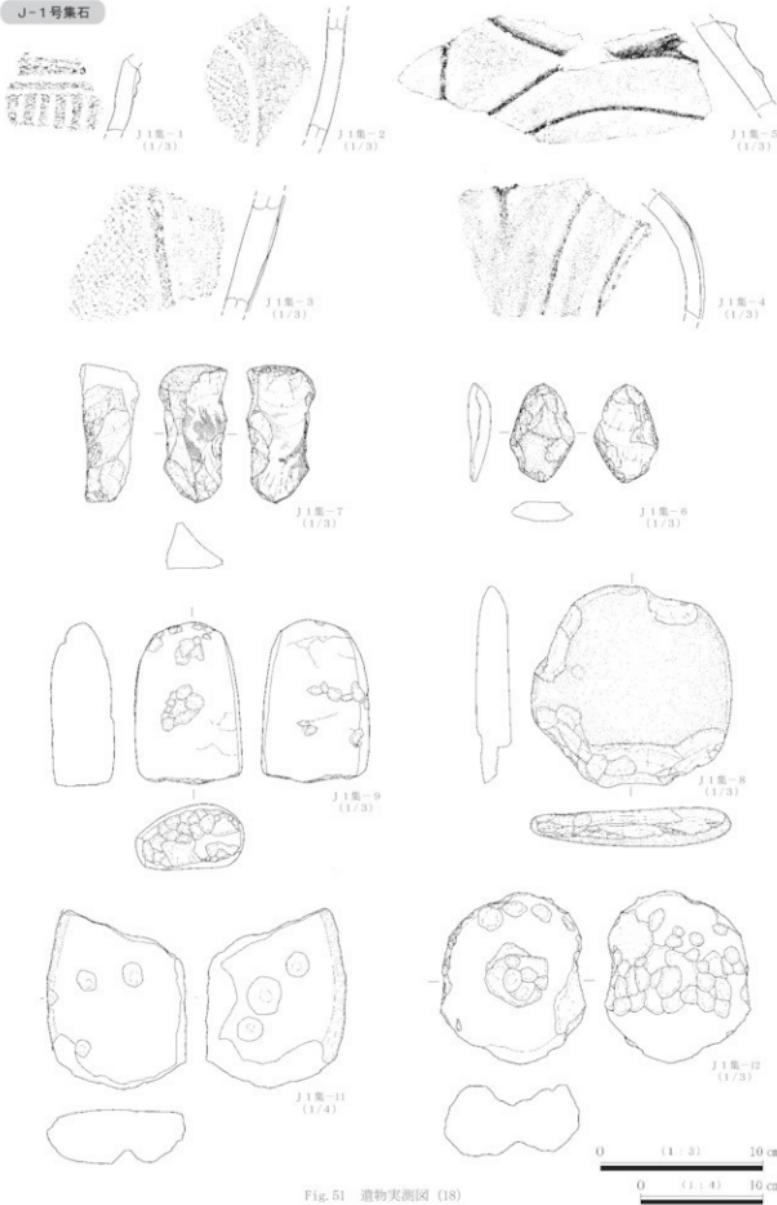


Fig. 51 遗物実測図 (18)

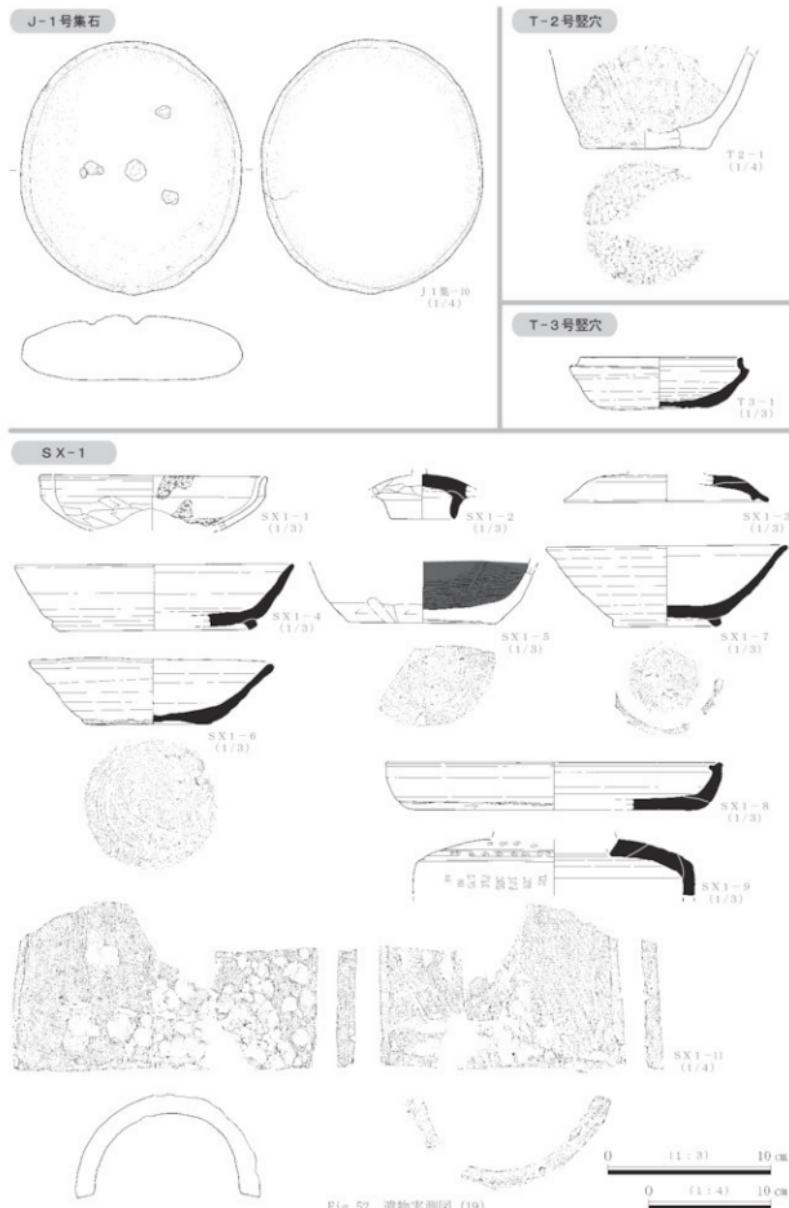


Fig. 52 遗物実測図 (19)

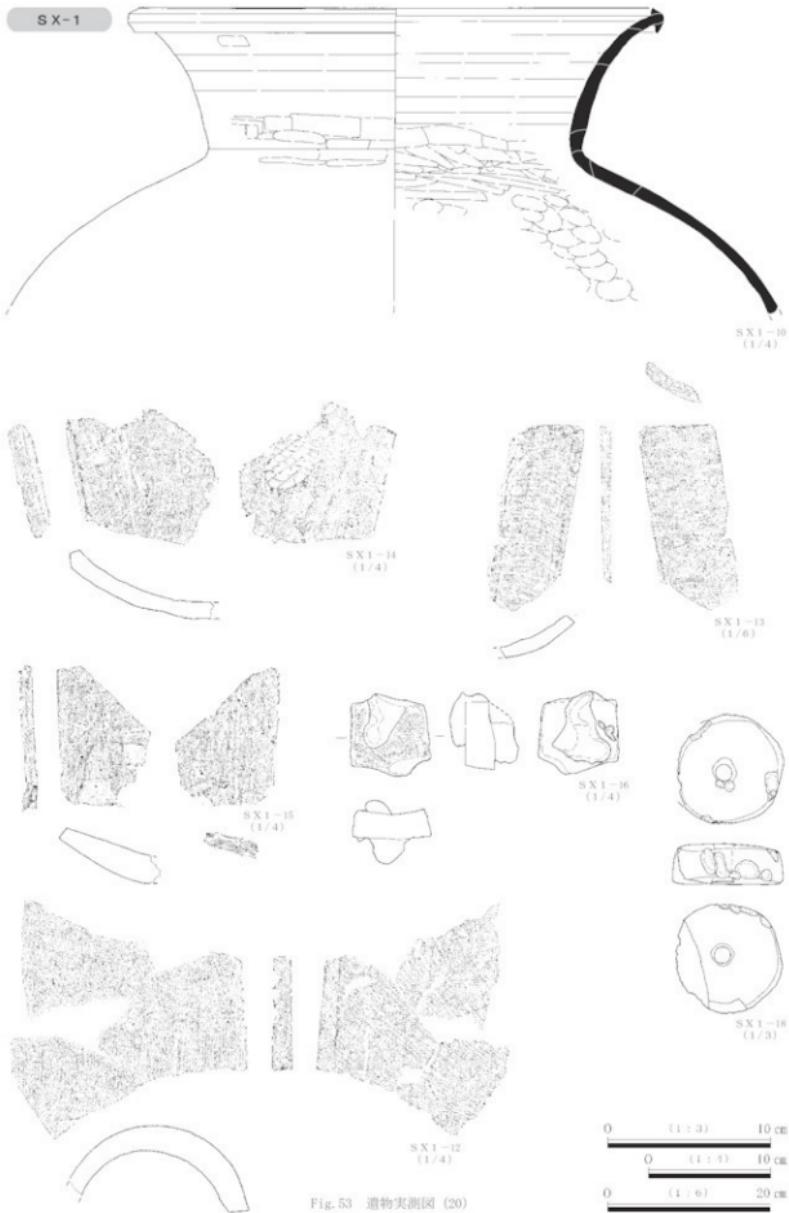


Fig. 53 遺物実測図 (20)

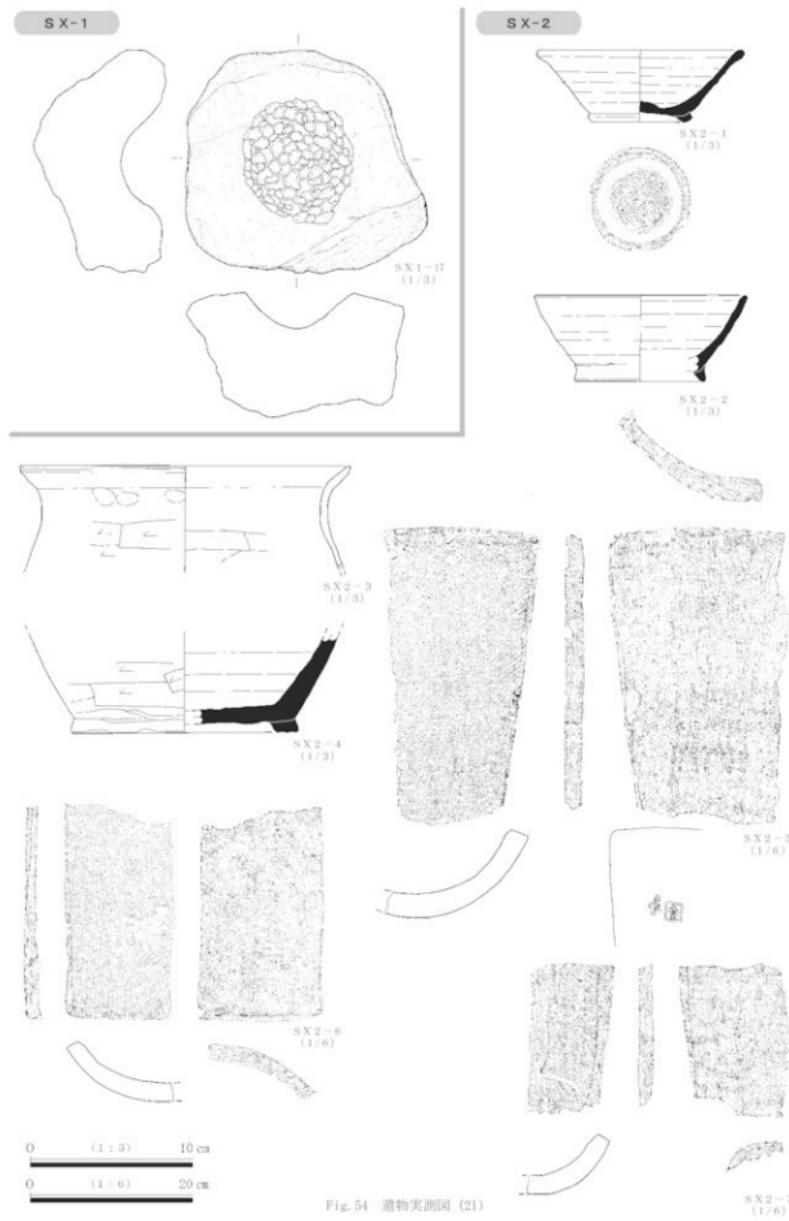


Fig. 54 遺物実測図 (21)

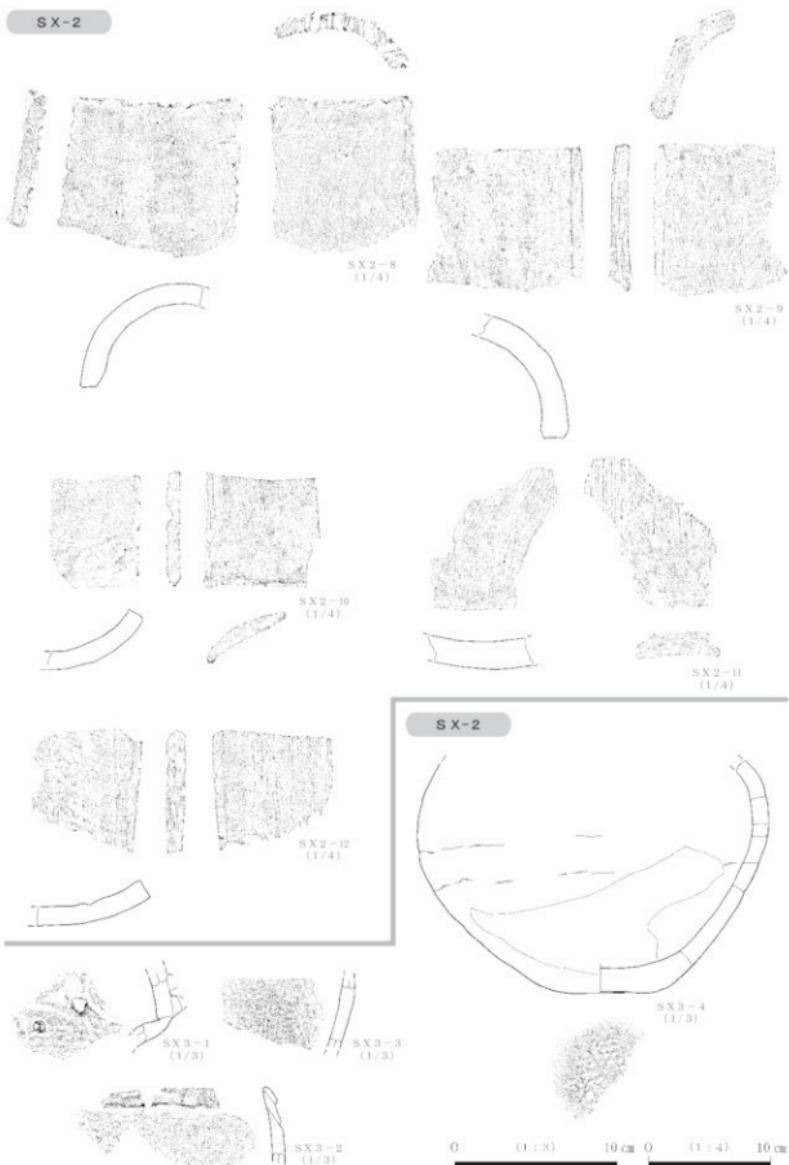


Fig. 55 遺物実測図 (22)

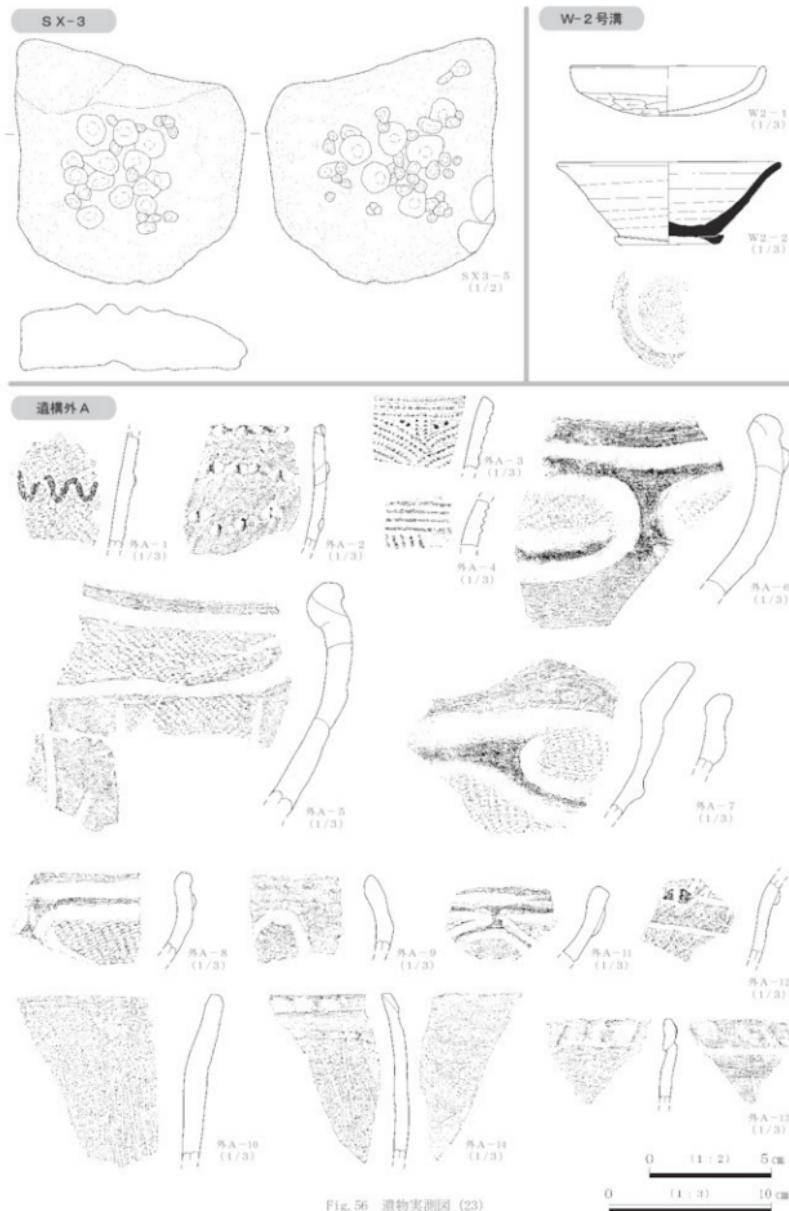


Fig. 56 遺物実測図 (23)

遺物外A

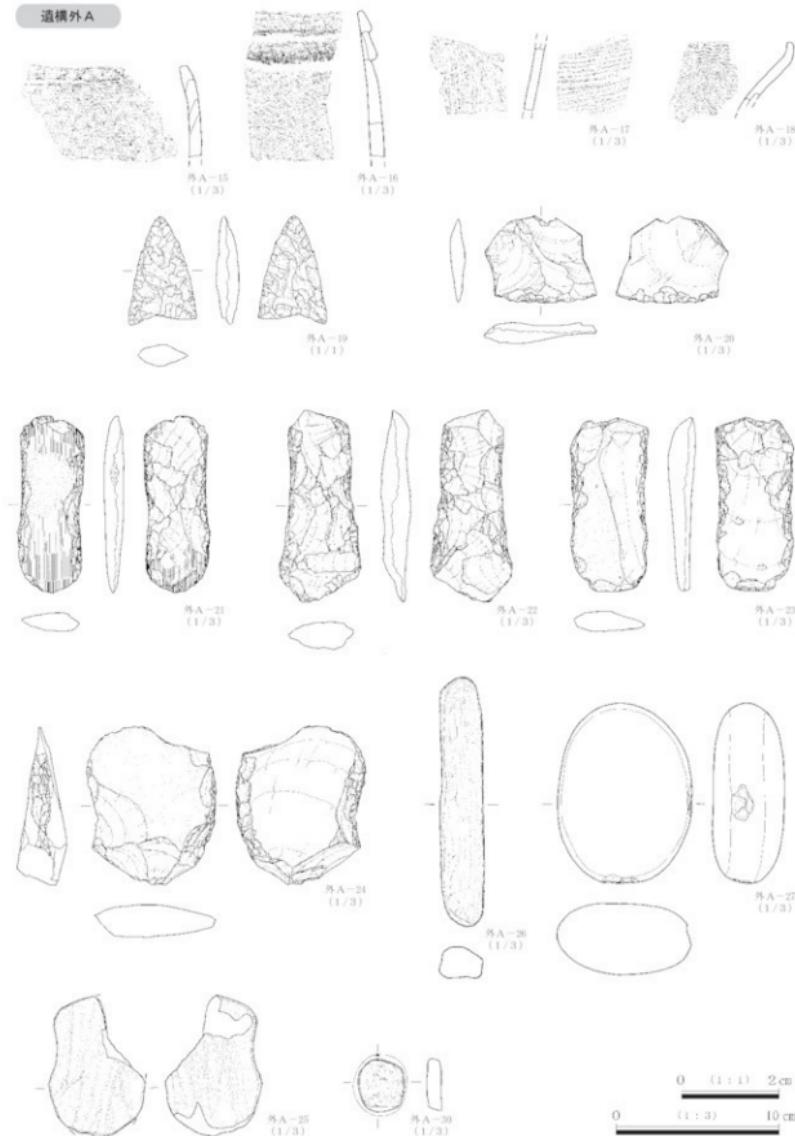


Fig. 57 遺物実測図 (24)

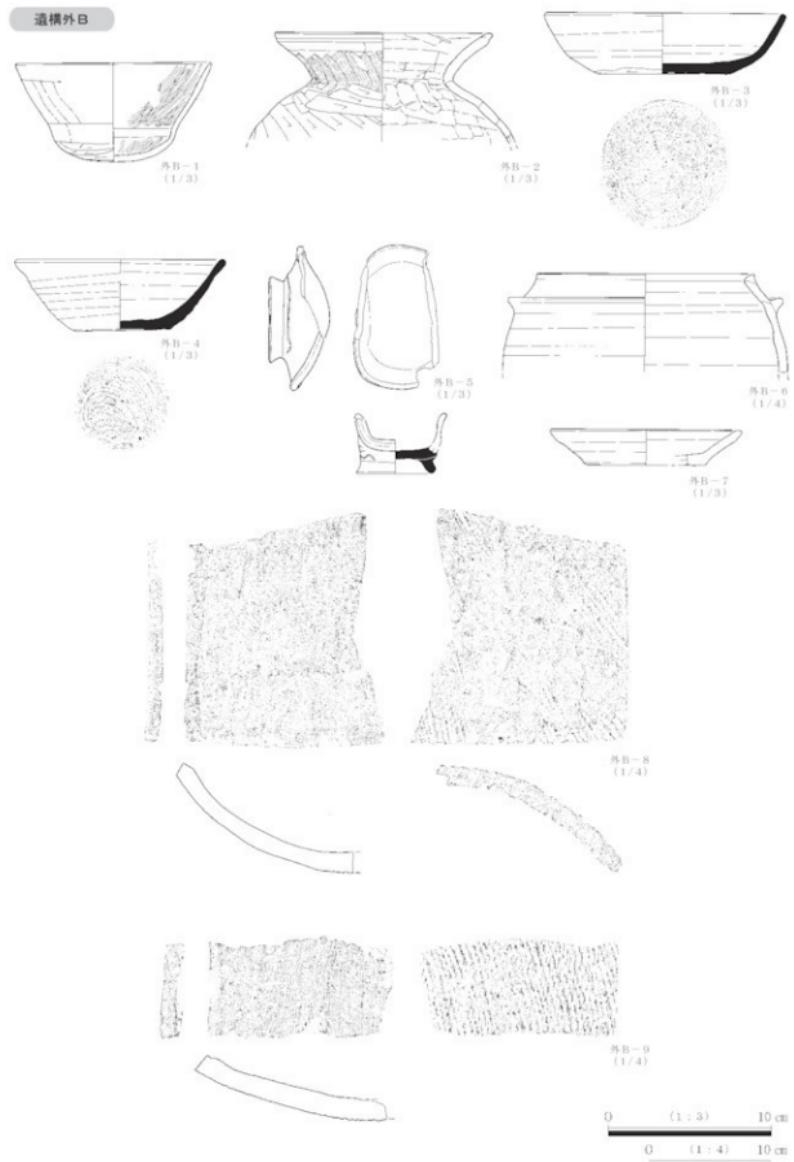


Fig. 58 遺物実測図 (25)

遺構外B

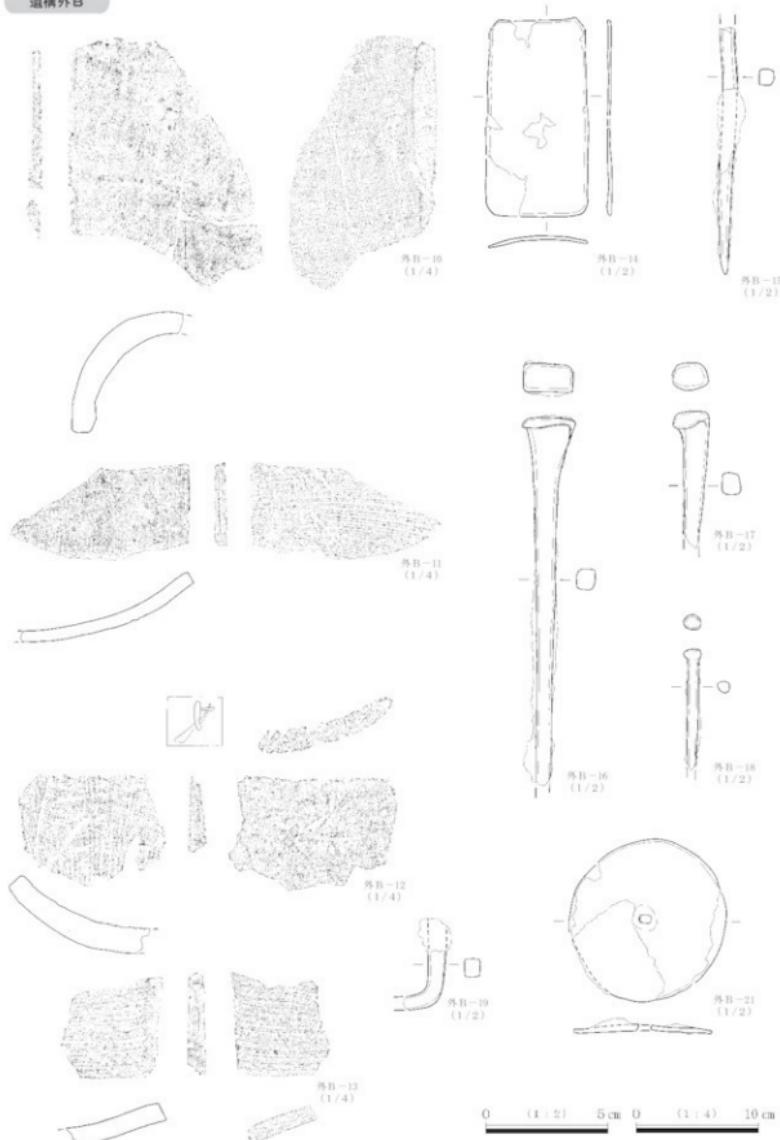


Fig. 59 遺物実測図 (26)

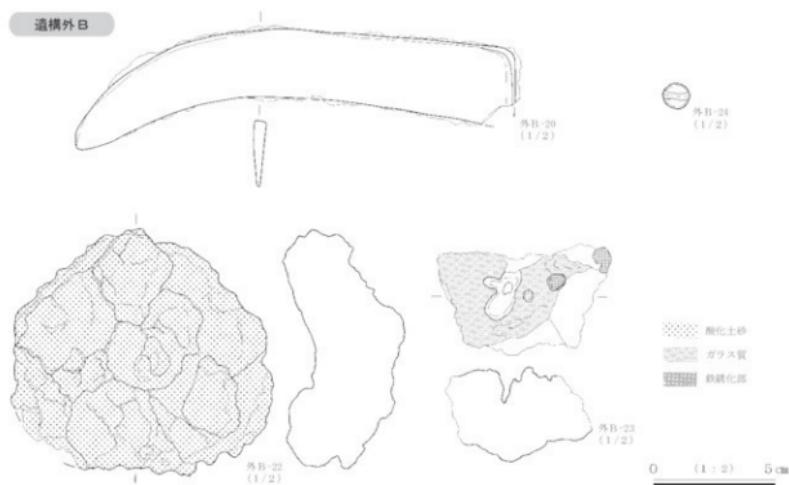


Fig. 60 遺物実測図 (27)

Tab. 10 出土遺物観察表 (1)

H-2号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 9.8 器高 4.4	①焼成 ②にい、黄褐 ③白色粘 ④付窓形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部踏ケズリ。 内面：踏ナデ。	
2	土師器 环	口径 13.0 器高 4.3	①焼成場 ②褐色 ③石英・角閃石・チャート ④付窓形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部踏ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部踏ナデ。	
3	土師器 环	口径 12.0 器高 5.1	①焼成場 ②にい、褐色 ③白色粘・石英・角閃石 ④付窓形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部踏ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部踏ナデ。	
4	土師器 环	口径 4.6 器高 13.1	①焼成場 ②灰黃褐 ③白色粘 ④付窓形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部横位踏ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部踏ナデ。	
5	土師器 环	口径 13.4 器高 4.5	①焼成場 ②にい、黄 ③白色粘・石英・角閃石 ④付窓形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部踏ケズリ。 内面：横ナデ。	
6	須恵器 环身	口径 (15.8) 器高 (3.8)	①素元場 ②灰黄 ③白色粘・石英 ④破片	外面：輪轍整形。頂部回転踏ケズリ。 内面：輪轍整形。	
7	須恵器 蓋	口径 (10.4) 器高 (3.3)	①素元場 ②暗灰黄 ③白色粘 ④口縁部破片	外面：輪轍整形。 内面：輪轍整形。	
8	須恵器 高环		①素元場 ②灰褐色 ③白色粘・石英 ④要部破片	外面：輪轍整形。 内面：輪轍整形。	透孔3。

H-3号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 台		①焼成場 ②赤褐 ③白色粘・石英・角閃石 ④腹部破片	外面：ナデ後縦位ミガキ。 内面：横位踏ナデ。	
2	土師器 台付甕	口径 (9.8) 器高 (6.2)	①焼成場 ②にい、黄褐 ③白色粘・黑色粘 ④縦部踏破片	外面：横位・縦位踏ナデ。 内面：横位踏ナデ。縦部折り返し後横位指ナデ。	
3	土師器 台付甕	口径 (13.7) 器高 (14.0)	①焼成場 ②にい、黄褐 ③白色粘・黑色粘・チャート・片岩 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ。体部踏ケズリ後縦位・斜位刷毛。 内面：口縁部横ナデ。体部横位踏ナデ。	

Tab. 11 出土遺物觀察表（2）

## H-4号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 (13.6) 器高 (2.5)	①酸化焰 ②にごり黄 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部 1/8	外面：口縁部横ナデ。体部～底部縦位置ケズリ。 内面：横ナデ。	
2	頸壺器 短頸壺	口径 (8.0) 底径 (6.6) 器高 (5.6)	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色氷物 ④口縁～底部 1/3	外面：輪轆整形。底部回転捺切り。 内面：輪轆整形。	体部下位～底 部に自然輪付 着。
3	瓦 平瓦	厚さ 1.5	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色氷物・石英 ④広端部左側	背面：布目圧痕後、露ナデ。端部面取り。 凸面：露ナデ後、縫合跡明き。 広端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	
4	瓦 平瓦	厚さ 1.3	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色粒・石英・粗砂 粒 ④狭端部右側	背面：布目圧痕後、露ナデ。端部面取り。 凸面：露ナデ。 狭端部：露ナデ後、棒状正直。 側面：露ナデ。	

## H-5号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	頸壺器 环	口径 12.4 底径 5.7 器高 4.2	①還元焰・氣球味 ②灰黃 ③白色粒・赤色粒・黒色氷物・ 石英 ④口縁～底部 4/5	外面：輪轆整形。底部回転捺切り。 内面：輪轆整形。	井戸の土壤か ら炭化米1点 出土。
2	頸壺器 壺	口径 12.8 底径 7.0 器高 4.9	①還元焰 ②灰黃 ③青白粒・黒色氷物・石 英 ④口縁～底部 4/5	外面：輪轆整形。底部回転捺切り後、高台貼付。 内面：輪轆整形。	
3	頸壺器 壺	口径 13.4 底径 7.0 器高 5.2	①還元焰 ②黄灰 ③粗砂粒・白色粒・石英 ④完形	外面：輪轆整形。底部回転捺切り後、高台貼付。 内面：輪轆整形。	
4	頸壺器 壺	口径 (13.4) 器高 (14.0)	①酸化焰 ②にごり灰 ③白色粒・黒色粒・赤色粒・石 英 ④口縁～体部 1/3	外面：輪轆整形後、体部下半捺ケズリ。 内面：輪轆整形。	体部外面に保 付着。
5	瓦 丸瓦	厚さ 1.8	①還元焰 ②灰 ③粗砂粒・白色粒・石英 ④破片	背面：布目圧痕。 凸面：露ナデ。 側面：露ナデ。	

## H-6号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 (12.6) 器高 4.1	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・黒 色氷物・角閃石 ④口縁～底部 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部～底部捺ケズリ。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部露ナデ。	
2	土師器 环	口径 14.2 器高 7.3	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・ 石英・黒色粒 ④1/5	外面：口縁部横ナデ。体部～底部捺ケズリ。 内面：横ナデ。	
3	土師器 高环	底径 10.6 器高 (6.5)	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・ 石英・黒色粒 ④脚部 内面：脚部露ナデ。脚部横ナデ後縦位置ケズリ。	外面：脚部露ナデ。脚部横ナデ後縦位置ケズリ。 内面：脚部露ナデ。	
4	土師器 壺	口径 12.5 器高 11.3	①酸化焰 ②明黄褐 ③粗砂 粒・石英・白色粒・黒色粒 ④完形	外面：口縁部横ナデ。体部上位横捺ケズリ、体部中位～底部斜 面捺ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部～底部捺ケズリ。	
5	土師器 壺	底径 6.7 器高 (16.6)	①酸化焰 ②赤 ③白色粒 ④頭～底部 2/3	外面：口縁部横ナデ。体部斜位捺ケズリ。底部露ナデ。 内面：口縁部横ナデ。体部～底部斜位捺ケズリ。	
番号	器種	法量(cm・g)	成・整形技法の特徴		備考
6	石製品 玉	長さ 1.6 幅 1.7 厚さ 1.6 重さ 6.8 滑石。			
7	石製品 玉	長さ 1.5 幅 1.5 厚さ 1.1 重さ 3.0 滑石。			
8	石製品 玉	長さ 1.5 幅 1.5 厚さ 1.1 重さ 3.0 滑石。			
9	石製品 碗	長さ < 14.4 > 幅 16.0 厚さ 8.8 重さ 1,496.1 砂鉄。自然縫の表面に縫制が多数認められる。被熱により 破碎しているが全体に磨滅が顕著。裏面は平滑で多量のスス付着。			

## H-7号住居跡①

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 (12.2) 器高 (3.3)	①酸化焰 ②にごり黄 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ。体部～底部捺ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。底部露ナデ。	
2	土師器 壺	口径 (16.8) 器高 (16.0)	①酸化焰 ②にごり黄 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁～体部 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部縦位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位置ケズリ。	
3	土師器 壺	口径 (22.0) 器高 (35.0)	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・石英・片岩 ④口縁～体部 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部縦位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。縫合跡露ナデ。	体部外面に保 付着。
4	土師器 壺	口径 (19.2) 器高 (17.9)	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～体部上半 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位捺ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部縦位・斜位捺ケズリ。	

Tab. 12 出土遺物観察表（3）

## H-7号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
5	須恵器 梶	口径 (21.8) 器高 (11.9)	①焼成 ②灰 ③白色・赤色粒・黒色鉱物 ④口縁～体部破片	外面：口縁部輪轉形。体部叩き目。頂部に櫛捺波状文。 内面：口縁部輪轉形。体部同心円状の当て具痕。	

## H-8号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	須恵器 梶	口径 (6.5) 器高 (1.8)	①焼成 ②浅黄 ③石英・片岩・角閃石 ④空形	外面：輪轉形。底部回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轉形。	底部に黒斑あり。	
2	須恵器 梶		①焼成 ②灰 ③白色針状物質・石英 ④底部破片	外面：平行叩き目後ナデ。 内面：ナデ。		
3	瓦 平瓦	厚さ 1.8	①焼成 ②灰 ③白色粒・石英 ④破片	背面：布目压痕。 凸面：窓ヶヅリ。		
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴			
4	鉄製品 刀子	長さ (8.0)、幅 0.9、厚さ 0.7、重さ 6.90	②片開			

## H-9号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 13.1 器高 3.3	①酸化焰 ②明赤褐色 ③角閃石・白色粒 ④空形	外面：口縁部横ナデ。体部～底部窓ヶヅリ後ナデ。 内面：横ナデ。	口唇部内外面に油塗付着。
2	須恵器 梶	口径 18.2 底径 4.3	①焼成 ②灰 ③黑色粒・白色針状物質 ④口縁～底部破片	外面：輪轉形。 内面：輪轉形。	
3	須恵器 高壺	口径 19.2 器高 3.8	①焼成 ②灰 ③石英・白色粒 ④空形 2/3	外面：輪轉形。 内面：輪轉形。	方形透孔 3。

## H-10号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 梶	口径 (14.9) 底径 7.2 器高 5.5	①酸化焰 ②灰 ③石英・白色粒子・白色粒 ④口縁～底部 2/3	外面：輪轉形。底部回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轉形。	内面に油塗付着。
2	灰釉陶器 盆	口径 (14.0) 底径 8.0 器高 3.0	①壓痕 ②灰 ③白色粒 ④口縁～底部 3/4	外面：輪轉形。底部回転ヘタ切り後、高台貼付。 内面：輪轉形。	輪済け跡。
3	土師器 壺	口径 (19.1) 器高 (15.6)	①酸化焰 ②明赤褐色 ③角閃石・白色粒 ④口縁～底部破片	外面：口縁部横ナデ。体部窓ヶヅリ。 内面：横ナデ。	
4	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①焼成 ②灰 ③石英・白色粒 ④右側	背面：布目压痕後、端部窓ヶヅリ。 凸面：ナデ。端部面取り。 側面：窓ヶヅリ。	
5	瓦 瓦丸	厚さ 1.9	①焼成 ②灰 ③白色粒・石英・角閃石 ④左側	凸面：ナデ。端部面取り。 凹面：布目压痕後端部窓ヶヅリ。 側面：窓ナデ。	
6	瓦 平瓦	厚さ 2.5	①焼成 ②灰 ③白色粒 ④左側	凹面：布目压痕後端部窓ヶヅリ。 凸面：平行タタキ目後丁寧なナデ。端部面取り。 側面：窓ナデ。	

## H-11号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	土師器 壺	口径 (13.5) 器高 (4.6)	①酸化焰 ②灰 ③白色粒・赤色粒 ④口縁～底部破片	外面：口縁部横ナデ。体部窓ヶヅリ。 内面：口縁部横ナデ。体部窓ヶヅリ。		
2	須恵器 壺身	口径 11.8 器高 4.0	①酸化焰 ②明赤褐色 ③白色粒 ④1/5	外面：口縁部輪轉形。体部回転窓ヶヅリ。 内面：輪轉形。		
3	須恵器 高壺		①焼成 ②灰 ③白色粒 ④底部のみ。口縁部欠損	外面：輪轉形。 内面：輪轉形。		
4	土師器 脼	口径 16.3 器高 11.2	①酸化焰 ②浅黄 ③白色粒・砂粒・黒色鉱物 ④空形	外面：口縁部横ナデ。体部横位窓ヶヅリ後、斜位窓ヶヅリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位窓ヶヅリ。		
5	土師器 壺	口径 19.1 底径 4.4 器高 29.0	①酸化焰 ②明黄褐色 ③白色粒・黑色粒・赤色粒・角 閃石・石英 ④空形	外面：口縁部横ナデ。体部窓位窓ヶヅリ。 内面：口縁部横ナデ。体部窓位・斜位窓ヶヅリ。		
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴			
6	石製品 砕石	長さ 5.9、幅 2.6、厚さ 1.9、重さ 40.4 うち 1箇所は未貫通。	法量 (cm・g)			備考

Tab. 13 出土遺物観察表（4）

## H-12号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯 (小鉢)	口径 (9.0) 底高 (3.7)	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色颗粒・石英 ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナデ。体部横位窓ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位窓ナデ。	
2	須恵器 杯	口径 11.6 底径 6.0 脚高 3.5	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色颗粒 ④ほぼ完形	外面：輪縁整形。底部右回転系切り。 内面：輪縁整形。	
3	須恵器 杯	口径 12.4 底径 6.2 脚高 3.9	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④完形	外面：輪縁整形。底部右回転系切り。 内面：輪縁整形。	内外面保付着。 2次被熱。
4	須恵器 杯	口径 (12.0) 底径 5.4 脚高 4.1	①酸化焰 ②浅黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部2/3	外面：輪縁整形。底部右回転系切り。 内面：輪縁整形。	
5	須恵器 碗	口径 (11.4) 底径 6.8 脚高 4.5	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～底部4/5	外面：輪縁整形。底部高台貼付後、回転ナデ。 内面：輪縁整形。広範囲に油焼付着。	
6	須恵器 碗	口径 11.2 底径 6.4 脚高 4.7	①酸化焰 ②黄橙 ③白色粒・片岩・石英・角閃石 ④完形	外面：輪縁整形。底部回転系切り後、高台貼付。 内面：輪縁整形。	
7	須恵器 碗	口径 12.6 底径 6.6 脚高 4.6	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色颗粒・片岩 ④口縁～底部3/5	外面：輪縁整形。底部右回転系切り後、高台貼付。 内面：輪縁整形。	
8	須恵器 碗	口径 13.8 底径 7.6 脚高 5.9	①酸化焰 ②根 ③白色粒 ④口縁～底部3/5	外面：輪縁整形。底部高台貼付後、回転ナデ。 内面：輪縁整形。	
9	灰釉陶器 皿	口径 12.8 底径 6.9 脚高 2.90	①埋藏 ②灰白 ③— ④口縁～底部4/5	外面：輪縁整形。底部右回転系切り後、高台貼付。 内面：輪縁整形。重ね焼成。	釉済け崩け。
10	灰釉陶器 皿	口径 13.6 底径 7.0 脚高 2.8	①埋藏 ②灰白 ③— ④ほぼ完形	外面：輪縁整形。底部高台貼付後、回転ナデ。 内面：輪縁整形。重ね焼成。	釉済け崩け。
11	灰釉陶器 小瓶	底径 6.6 肩高 (9.1)	①埋藏 ②灰白 ③白色粒・黒色粒・石英 ④口頭部欠損	外面：体部上位輪縁整形。体部下位回転窓ケズリ。底部左回転系切り。 内面：—。	釉不明。
12	須恵器 甕	口径 (20.6) 底高 (8.8)	①慶元窯気味 ②灰 ③白色粒・赤色粒・黒色颗粒 ④口縁～肩部破片	外面：輪縁整形。 内面：輪縁整形。	
13	羽釜	口径 (21.5) 底高 (12.1)	①慶元窯気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・角閃石・片岩 ④口縁～体部上位破片	外面：輪縁整形。跨貼付。 内面：輪縁整形。	
14	羽釜	口径 (26.5) 底高 (7.3)	①慶元窯気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部上位破片	外面：輪縁整形。跨貼付。 内面：輪縁整形。	
15	瓦 軒平瓦	厚さ 4.5	①慶元窯 ②灰 ③白色粒・石英 ④破片	凹面：布目压痕後、縦位・横位窓ナデ。端部面取り。 凸面：窓ナデ。 軒部：輪行唐草文。 側面：窓ナデ。	
16	瓦 平瓦	厚さ 2.4	①酸化焰 ②にぶい黄橙 ③粗大砂粒・石英 ④広端部左側	凹面：布目压痕後、縦位窓ナデ。端部面取り。 凸面：窓ナデ。端部面取り。 広端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。2次被熱により煤付着。	
17	瓦 平瓦	厚さ 2.4	①慶元窯 ②灰 ③白色粒・黒色颗粒 ④狭端部右側	凹面：布目压痕後、縦位窓ナデ。端部面取り。 凸面：窓ナデ。端部面取り。 狭端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
18	瓦 平瓦	厚さ 1.9	①慶元窯 ②灰 ③白色粒・黒色颗粒 ④広端部	凹面：布目压痕後、縦位窓ナデ。 凸面：窓ナデ。端部面取り。 広端部：窓ナデ。	
19	瓦 平瓦	厚さ 1.9	①酸化焰 ②明赤褐色 ③白色粒・赤色粒 ④広端部左側	凹面：布目压痕。端部面取り。 凸面：縦位窓ナデ。端部面取り。 広端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
20	瓦 平瓦	厚さ 2.8	①酸化焰 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色颗粒 ④破片	凹面：角切り削。端部面取り。 凸面：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
21	鉄製品 雁股鉤	長さ (9.6)、幅 3.4、厚さ 0.4、重さ 25.85			

## H-13号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 ミニチュア 片口	口径 5.0 底径 4.2 脚高 4.6	①酸化焰 ②根 ③白色粒 ④完形	外面：縦位刷毛日後、縦位・横位窓ナデ。台部底面に棒状压痕。 内面：口縁部折り返し後窓ナデ。体部窓ナデ。台部横位窓ナデ。	

Tab. 14 出土遺物観察表（5）

## H-13号住居跡2

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③船土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	土師器 台付壺	口径 (17.3) 器高 (6.9)	①酸化塗 ②浅黄 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～肩部破片	外面：口縁部横ナデ。頸部～体部斜位窓ケズリ後、縦刷毛目。 肩部に横皮ナデ。 内面：口縁部横ナデ。体部指頭痕後、横位置ナデ。	
3	土師器 台付壺	底径 (9.7) 器高 (6.9)	①酸化塗 ②白色粒・黒色粒 ③橙 ④脚部破片	外面：斜刷毛目後、ナデ。下端部横ナデ。 内面：斜位置ナデ。下端部折り返し後横ナデ。	外面に保付着。

## H-14号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③船土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	土師器 环	口径 11.3 器高 3.8	①酸化塗 ②根 ③白色粒 ④完形	外面：口縁部横ナデ。体部上位横位置ナデ、下位斜位ケズリ。 内面：横ナデ。		
2	須恵器 平瓶	底径 3.5 器高 (9.7)	①慶元塗 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～頸部欠損	外面：体部上位輪轍整形。下位回転ケズリ後、一部斜位ナデ。 内面：体部上位輪轍整形。		
3	須恵器 壺	口径 一 底径 (9.7) 器高 (6.9)	①慶元塗 ②灰 ③黒色鉛物 ④口縁～頸部欠損	外面：体部下位平行叩き、上位輪轍整形。 内面：体部下位同心円当て其瓶、上位輪轍整形。		
番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴			
4	石製品 白玉	長さ 2.4 幅 2.1 厚さ 1.3 重さ 6.6 滑石。				

## H-15号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③船土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	羽蓋	口径 (28.0) 器高 (7.0)	①慶元塗 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～部上位破片	外面：輪轍整形。跨貼付。 内面：輪轍整形。		
2	瓦 平瓦	厚さ 2.5	①慶元不良 ②にい粒～灰 ③白色粒・石英 ④扶端部右側	背面：布目压痕。端部面取り。 凸面：造ナデ。端部面取り。 扶端部：置ナデ。 側面：造ナデ。		
番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴			
3	鉢 板状鉢	長さ (3.2)、幅 (4.0)、厚さ 0.4、重さ 9.98				

## H-16号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③船土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 12.0	①酸化塗 ②根 ③黑色鉛物・白色粒 ④口縁～底部破片	外面：口縁部横ナデ。体部縱位指ナデ。 内面：横ナデ後、放射状くさぎ。	
2	須恵器 环	口径 12.7 底径 4.5 器高 4.3	①慶元塗 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～底部 4/5	外面：輪轍整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轍整形。	
3	須恵器 环	口径 13.2 底径 6.8 器高 3.6	①慶元塗 ②灰白 ③白色粒・赤色粒・黒色鉛物 ④口縁～底部 2/3	外面：輪轍整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轍整形。	
4	須恵器 皿	口径 13.1 底径 6.0 器高 3.0	①慶元塗 ②灰黄 ③白色粒・黒色鉛物 ④口縁～底部 2/3	外面：輪轍整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轍整形。見込みに重ね叩き底。	
5	須恵器 碗	口径 (5.1) 底径 4.4 器高 4.4	①慶元塗 ②灰黄 ③白色粒・石英・片岩・黒色鉛物 ④口縁～底部 1/3	外面：輪轍整形。底部右回転糸切り後高台貼付。 内面：輪轍整形。	
6	土師器 甕	口径 (19.4) 底径 (5.3)	①酸化塗 ②根 ③白色粒・黒色鉛物・片岩 ④口縁部片	外面：口縁部横ナデ。体部縦位指ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部縦位指ナデ。	
7	土師器 甕	口径 (20.0) 底径 (7.5)	①酸化塗 ②根 ③白色粒・黒色鉛物・片岩 ④口縁部片	外面：口縁部横ナデ。体部上位縦位指ケズリ、中位縦位指ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部縦位指ナデ。	口縁部内外面 に保付着。

## H-17号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③船土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 (12.8) 器高 (2.9)	①酸化塗 ②根 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部破片	外面：口縁部横ナデ。体部斜位指ナデ。底部縫ケズリ。 内面：横ナデ後放射状くさぎ。	
2	須恵器 环	口径 13.5 底径 7.0 器高 4.1	①慶元塗 ②灰白 ③赤色粒 ④1/2	外面：輪轍整形。底部回転糸切り。 内面：輪轍整形。	
3	土師器 甕	口径 (19.2) 底径 (24.1)	①酸化塗 ②根 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁部 1/5	外面：口縁部横ナデ後頸部指頭痕。体部横位・斜位指ケズリ。 内面：口縁部横ナデ、体部縦位指ナデ。	
4	瓦 平瓦	厚さ 1.4	①慶元塗 ②灰白 ③白色粒・石英・黒色鉛物 ④扶端部右側	背面：布目压痕。端部面取り。 凸面：造ナデ後横ナデ。 側面：置ナデ。	

Tab. 15 出土遺物觀察表（6）

## H-17号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
5	瓦 平瓦	厚さ 2.3 長さ 3.2	①醸化焰 ②淡黄 ③白色粒・石英・黒色粒 ④広端部左側	凹面：布目圧痕後、露ナデ。 凸面：露ナデ。 広端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	

## H-18号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 壺	直径 9.1 深高 (2.8)	①薄元焰 ②灰白 ③白色粒・石英・黒色粒 ④体部下段～底部破片	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轆整形。	

## H-19号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 环	口径 (12.8) 深高 (2.9)	①薄元焰 ②灰白 ③白色粒・黒色粒・赤色粒・ 石英 ④口縁～底部 2/3	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
2	須恵器 环	口径 (13.6) 底径 6.1 深高 4.1	①薄元焰 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部 3/5	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	口縁部外縁 の一部に側付 着。
3	須恵器 环	口径 13.6 底径 3.8 深高 3.8	①薄元焰 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒・石英・砂粒 ④口縁～底部 3/4	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
4	須恵器 椀	口径 (13.5) 底径 (5.4) 器 高 5.8	①薄元焰 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～底部 4/5	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轆整形。	
5	須恵器 椀	口径 6.7 底径 (2.0)	①醸化焰 ②にらみ ③白色粒・角閃石 ④底部破片	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。 内面：輪轆整形。放射状のミガキ。黒色処理。	
6	灰釉陶器 皿	口径 7.7 深高 2.5	①墨漬 ②灰白 ③— ④底部破片	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。回転ナデ。 内面：輪轆整形。見込みにねね焼き痕。	袖清け掛け。
7	土釜	口径 (18.4) 深高 (6.8)	①醸化焰 ②明赤褐色 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部破片	外面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位造ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位造ナデ。	
8	羽釜	口径 (20.5) 深高 (13.4)	①薄元焰 ②灰白 ③白色粒・角閃石 ④口縁部破片	外面：輪轆整形後、体部縱位造ケズリ。跨貼付。 内面：輪轆整形。	
9	羽釜	口径 (21.0) 深高 (6.8)	①醸化焰 ②橙 ③黒色粒・角閃石・白色粒 ④口縁部破片	外面：輪轆整形後、体部上位横位造ケズリ。跨貼付。 内面：輪轆整形。	
10	瓦 平瓦	厚さ 2.7 長さ 3.6	①醸化焰 ②にらみ・黄褐色 ③石英・白色粒・黒色氷結 ④右側	凹面：布目圧痕、糸切り痕。端部ナデ。 凸面：焼きき後ナデ。端部面取り。 侧面：露ナデ後、沈泡。	
番号	器種	法量(cm・g)	成・整形技法の特徴	備考	
11	新製品 板状鉄製品	長さ (3.6)、幅 2.5、厚さ 0.3、重さ 16.13			
12	鉄製品 鋸輪	長さ 5.6、幅 5.7、厚さ 0.3、重さ 46.62			
13	鉄製品 駒	長さ (7.3)、幅 3.4、厚さ 1.6、重さ 54.59			

## H-20号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 12.6 底径 7.6 深高 3.4	①醸化焰 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁～底部 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部斜位造ナデ後、指頭痕。 内面：口縁部横ナデ。体部ナデ。	
2	須恵器 椀	口径 6.0 底径 5.6 深高 5.6	①醸化焰 ②灰白 ③白色粒・片岩・石英 ④口縁～底部 2/3	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後、高台貼付。回転ナデ。 内面：輪轆整形。	
3	須恵器 椀	口径 18.2 底径 (6.1)	①醸化焰 ②にらみ・黄褐色 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④口縁～底部 4/5	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り後。高台貼付。 内面：輪轆整形。	内面に油擦付 着。
4	土師器 台付甕	口径 12.7 底径 (14.2)	①醸化焰 ②橙 ③白色粒・角閃石・片岩 ④脚台部欠損	外面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位造ケズリ、下位横位ナデ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位造ナデ。	
5	土師器 甕	口径 20.8 底径 (22.8)	①醸化焰 ②橙 ③白色粒 ④口縁～体部下位 1/2	外面：口縁部横ナデ後指頭痕。体部上位横位造ケズリ。下位横位 造ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位造ナデ。	外面に僅、内 面にコグ付着。

Tab. 16 出土遺物観察表（7）

## H-21号居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径(13.4) 器高(4.2)	①酸化焰 ②橙 ③白色粒 ④口縁～底部 1/5	外面：口縁部横ナデ。体部横位造ケズリ。 内面：口縁～体部ナデ後、放射状のミガキ。見込みナデ後ミガキ。	
2	須恵器 蓋	口径(14.0) 器高(2.8)	①還元焰 ②褐灰 ③白色粒・石英 ④1/6	外面：輪軸整形。 内面：輪軸整形。	外面に自然輪。
3	須恵器 蓋	器高(1.5)	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒・黒色粒・黒色脈物 ④挽み部	外面：輪軸整形。 内面：輪軸整形。	外面に自然輪。
4	須恵器 台付鉢	口径(18.6) 器高(8.2)	①還元焰 ②灰白 ③白色粒・石英・黒色粒 ④口縁～底部 1/3、高台部欠損	外面：輪軸整形。 内面：輪軸整形。	
5	瓦 軒平瓦	厚さ 3.3	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色脈物 ④輪端部欠損	背面：横ナデ。 凸面：横ナデ。 軒部：锯行唐草文。	
6	瓦 平瓦	厚さ 1.1	①還元焰 ②灰 ③白色粒・石英 ④広端部左側	背面：布引痕後広端部付近横ナデ。端部面取り。 凸面：横ナデ。 狭端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	
7	瓦 平瓦	厚さ 1.1	①還元焰 ②灰 ③白色粒・石英・黒色脈物 ④狭端部右側	背面：布引痕後ナデ。端部面取り。 凸面：平行叩き後縫叩き。 狭端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	
8	瓦 平瓦	厚さ 1.4	①酸化焰 ②赤褐 ③白色粒・石英・チャート ④広端部	背面：布引痕後ナデ。側端部面取り。 凸面：平行叩き幾部分的に縫叩き。 広端部：露ナデ。	
9	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色粒・石英 ④左侧	背面：横ナデ後縫叩きナデ。端部面取り。 凸面：ナデ後縫叩き。平行叩き。 侧面：露ナデ。	

## H-22号居跡①

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 环	口径 12.1 器高 4.2	①酸化焰 ②橙 ③白色粒 ④斜位完形	外面：口縁部横ナデ。体部横位・斜位混ナデ。 内面：横ナデ後ミガキ。	
2	土師器 环	口径(12.8) 器高 3.5	①酸化焰 ②橙 ③白色粒 ④口縁～底部 1/2	外面：口縁部横ナデ。体部斜位造ケズリ。下位横ナデ。 内面：横ナデ後ミガキ。	
3	土師器 环	口径(12.8) 器高 3.7	①酸化焰 ②にぶい褐 ③白色粒 ④口縁～底部 1/2	外面：口部横ナデ。体部横位・斜位混ナデ。 内面：横ナデ後斜位。	内面に油渕付着。
4	土師器 环	口径(13.0) 底径 6.0 器高 4.3	①酸化焰 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部 2/3	外面：口縁部横ナデ。体部斜位造ケズリ後、上位横ナデ。 内面：口部横ナデ。体部横位造ナデ。	
5	須恵器 环	口径 13.9 底径 8.0 器高 3.8	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒・黒色粒・チャート・ 石英 ④完形	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	
6	須恵器 环	口径 13.8 底径 6.8 器高 4.4	①酸化焰 ②オリーブ黒 ③チャート ④完形	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	内外斑素吸着。
7	須恵器 环	口径 14.0 底径 6.2 器高 4.6	①酸化焰 ②にぶい黄褐 ③白色粒・黒色脈物・片岩 ④斜位完形	外面：輪軸整形。底部糸切り後粘土板を再貼付し、右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	
8	須恵器 环	口径(14.2) 底径 6.6 器高 3.7	①還元焰 ②灰黄 ③白色粒・石英・石英 ④口縁～底部 2/3	外面：輪軸整形。底部糸切り後粘土板を再貼付し、右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	内外に重ね施きの炭化痕。
9	須恵器 环	口径 14.0 底径 6.5 器高 4.1	①還元焰 ②灰黄 ③白色粒・褐色粒 ④口縁～底部 4/5	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	重ね施きの炭化痕。
10	須恵器 皿	口径 13.4 底径 6.8 器高 3.4	①還元焰 ②灰黄 ③白色粒・石英・片岩 ④完形	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。高台貼付後回転ナデ。 内面：輪軸整形。	
11	須恵器 皿	口径 14.5 底径 7.5 器高 5.1	①一部還元不良 ②にぶい黄褐 ③粗粒石英・白色粒・黒色粒・ 片岩 ④口縁～底部 4/5	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り、高台貼付後回転ナデ。 内面：輪軸整形。	外面に油渕付着。
12	須恵器 皿	口径(14.6) 底径 7.5 器高 5.4	①酸化焰氣味 ②にぶい黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部 3/5	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	
13	須恵器 皿	口径 15.3 底径 7.0 器高 6.1	①酸化焰 ②にぶい黄褐 ③片岩・白色粒・黒色粒 ④口縁～底部 3/5	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り、高台貼付後回転ナデ。 内面：輪軸整形。	
14	須恵器 皿	口径 17.2 底径 7.5 器高 7.5	①酸化焰 ②にぶい銀 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④口縁～底部 3/5	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り、高台貼付後回転ナデ。 内面：輪軸整形。	

Tab. 17 出土遺物観察表（8）

## H-22号住居跡②

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
15	土器器 小型甕	口径(12.2) 器高(8.8)	①醸化焰 ②にふい根 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ。体部上位横位置ケズリ、下位位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位置ナデ。	
16	土器器 台付甕	口径(15.6) 器高(12.9)	①醸化焰 ②にふい赤褐色 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④口縁～体部1/5	外面：口縁部横ナデ。体部斜位・横位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位置ナデ。	
17	土器器 甕	口径(18.4) 器高(5.8)	①醸化焰 ②根 ③白色粒・片岩 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ後指頭痕。体部横位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。頭部～体部横位置ケズリ。	
18	土器器 甕	口径(17.6) 器高(9.0)	①醸化焰 ②根 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ後指頭痕。体部横位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位置ナデ。	一次被熱。
19	土器器 甕	口径(19.1) 器高(4.8) 口径(24.8)	①醸化焰 ②根 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁～底部1/3	外面：口縁部横ナデ後指頭痕。体部上位横位置ケズリ。中位斜位 位置ケズリ。下位位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部上位横位置ナデ、下位位置ナデ。	外面に保付着。
20	瓦 平瓦	厚さ 2.7	①醸化焰 ②根 ③白色粒・石英・粗大砂粒 ④端面欠損	凹面：布目压痕、糸切り痕、指頭痕。 凸面：織粒。割書き木。 広端部：露ナデ。	
21	瓦 平瓦	厚さ 2.1	①醸化焰 ②根 ③白色粒石英・片岩 ④破片	凹面：布目痕、線刻2箇所。 凸面：露ナデ。線刻1箇所。 側面：露ナデ。	
22	瓦 丸瓦	厚さ 2.5	①還元焰 ②灰 ③粗大白色粒・石英・黒色鉱物 ④左側	凹面：布目明き後露ナデ。端部面取り。 凹面：布目痕、糸切り痕。端部面取り。 狭端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	
23	瓦 丸瓦	厚さ 2.3	①還元焰 ②灰 ③粗大白色粒・石英・黒色鉱物 ④左側	凹面：露ナデ。端部面取り。 凹面：布目痕、部分的に露ナデ。 側端部：露ナデ。	
24	瓦 平瓦	厚さ 1.4	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色鉱物 ④端面欠損。左側	凹面：布目压痕。端部面取り。 凸面：露ナデ後露ナデ。端部面取り。 側面：露ナデ。	

## H-23号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 長颈甕	口径 7.1 器高(10.4)	①還元焰 ②灰白 ③白色粒・石英 ④口縁～頸部欠損	外面：輪轉整形後、体部下位回転露ケズリ。底部高台貼付。 内面：輪轉整形。	肩部・見込み に自然軸。

## H-24号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土器器 甕	口径 12.4 器高 4.5	①醸化焰 ②根 ③白色粒・石英・片岩 ④口縁～底部2/3	外面：口縁部横ナデ。体部露ケズリ。 内面：刷毛状工具による擦ナデ。	
2	土器器 甕	口径(20.0) 器高(11.3)	①醸化焰 ②明黄 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ。体部横位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位置ナデ。	

## H-27号住居跡

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土器器 甕	口径 8.4 器高 3.1	①醸化焰 ②根 ③白色粒・褐色粒・黒色鉱物 ④口縁～底部2/3	外面：口縁部横ナデ。体部露ケズリ。 内面：刷毛状工具による擦ナデ。	
2	須恵器 甕	口径 7.4 器高 4.0	①醸化焰 ②灰黃 ③白色粒・褐色物 ④口縁～底部1/3	外面：輪轉整形。底部右回転系切り。 内面：輪轉整形。	
3	須恵器 甕	口径 5.8 器高 3.7	①還元焰 ②黄灰 ③黑色粒・石英・チャート・片岩 ④口縁～底部1/3	外面：輪轉整形。底部右回転系切り。 内面：輪轉整形。	
4	須恵器 甕	口径(14.7) 器高 4.8	①還元焰 ②灰白 ③白色粒・石英・チャート・片岩 ④口縁～底部1/6	外面：輪轉整形。底部回転系切り後高台貼付、回転ナデ。 内面：輪轉整形。	
5	瓦 平瓦	厚さ 2.0	①還元 ②灰 ③白色粒 ④狭端部右側	凹面：布目压痕。端部面取り。 凸面：調理き。 狭端部：露ナデ。 側面：露ナデ。	

## H-28号住居跡①

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 甕	口径(12.7) 器高(5.2) 器高 3.4	①醸化焰 ②灰黃 ③白色粒・片岩 ④口縁～底部破片	外面：輪轉整形。底部回転系切り。 内面：輪轉整形。	

Tab. 18 出土遺物観察表（9）

## H-28号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	土器器 裏	口径 (19.6) 器高 (9.0)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・黑色粒・片岩 ④口縁～体部上位破片	外面：口縁～頸部横ナギ。体部横位・斜位窓ケズリ。 内面：口縁～頸部横ナギ。体部横位窓ナギ。	

## H-29号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土器器 ミニチュア	口径 (3.1) 器高 (3.1)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・石英 ④頸部～底部 1/3	外面：体部上半横位指ナギ。下半横位窓ケズリ。 内面：体部横位指ナギ。	
2	土器器 高窯	口径 (11.7) 器高 (5.4)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・石英・角閃石 ④脚部	外面：脚部ナギ後窓位ミガキ。 内面：横位窓ナギ。一部刷毛。脚部ミガキ。	透孔3。
3	土器器 台付便	口径 (12.4) 器高 (3.7)	①焼成 ②黄褐色 ③白色粒 ④口縁～体部上位破片	外面：口縁～頸部横ナギ。体部窓ケズリ後窓位刷毛目。 内面：口縁～頸部横ナギ。体部横位窓ナギ。	
4	土器器 台付便	口径 (14.0) 器高 (6.3)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・黑色粒・片岩 ④口縁～体部上位破片	外面：口縁～頸部横ナギ。体部窓ケズリ後窓位刷毛目。 内面：口縁～頸部横ナギ。窓位指ナギ後指頭既。	

## H-30号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土器器 环	口径 (10.5) 器高 (3.2)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・角閃石 ④完形	外面：口縁横ナギ。体部横ケズリ。 内面：横ナギ。	
2	土器器 环	口径 (12.2) 器高 (2.9)	①焼成 ②黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナギ。体部横ケズリ。 内面：横ナギ。	
3	須恵器 环盖	口径 (13.1) 器高 (2.6)	①焼成 ②灰 ③白色粒・石英 ④1/5	外面：輪軸整形。天井部回転窓ケズリ。宝珠摘み貼付。 内面：輪軸整形。	

## H-31号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	ミニチュア土器 壺	口径 (6.7) 底径 (2.7) 器高 (7.9)	①焼成 ②赤褐色 ③黒色粒・角閃石 ④完形	外面：口縁～頸部窓位・斜位刷毛目後、横位窓ナギ。体部上位刷毛目後、一部指ナギ。体部下位横位窓ナギ後、部分的ミガキ。 内面：口縁部横ナギ。頸部指痕既後、横位刷毛目。体部下位横位窓ナギ。	
2	土器器 壺	底径 (2.7) 器高 (7.5)	①焼成 ②(に)い黄褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④口縁～頸部欠損	外面：頸部窓位刷毛目。体部斜位刷毛目後、窓位・横位・斜位ミガキ。 内面：体部横位窓ナギ。	
3	土器器 鉢	口径 (16.0) 器高 (4.7)	①焼成 ②赤褐色 ③白色粒・石英 ④口縁～底部 1/3	外面：口縁部横ナギ。体部横ナギ後横位窓ミガキ。 内面：口縁部横ナギ。体部横ミガキ後、放射状ミガキ。	

## J-1号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	圓文土器 深鉢	口径 (19.3) 器高 (17.0)	①良好 ②赤 ③白色粒・角閃石 ④口縁部下位 4/5	口唇部に4ヶ所 1単位の刺込みを4単位施す。器面全体にRL単筋縞文を横位施す。口縁部下にボタン状貼付。	諸磯b式
2	圓文土器 深鉢	口径 (21.4) 器高 (21.6)	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④口縁部下位 4/5	器面全体にRL単筋縞文を横位施す。口縁部下にボタン状貼付 4ヶ所。	諸磯b式
3	圓文土器 深鉢	器高 (17.1)	①褐色 ②(に)い黄褐色 ③白色粒・赤色粒 ④網部大型破片	地文に RL 単筋縞文を横位施す。平截竹管状工具による横位集合沈線を6段以上施す。器曲部に窓位集合沈線、X字状沈線を施す。	諸磯b式
4	圓文土器 深鉢	底径 (6.0) 器高 (4.9)	①不良 ②明赤褐色 ③白色粒・石英多量 ④網部下位～底部破片	地文に RL 単筋縞文を横位施す後、平截竹管状工具による横位集合沈線を2段以上施す。	諸磯b式
5	圓文土器 深鉢	口径 (16.0) 底径 (一) 器高 (8.3)	①普通 ②赤褐色 ③白色粒・赤色粒 ④口縁部破片	地文に RL 単筋縞文を横位施す後、平截竹管状工具による平行沈線を同心円状に施す。頸部に横位平行沈線。	諸磯b式 2次被熱。
6	圓文土器 有孔土器	口径 (16.0) 底径 (一) 器高 (8.3)	①普通 ②灰褐色 ③白色粒 ④口縁部破片	口縁直下に小孔 3箇所残存。外面は丁寧なミガキ状整形。	諸磯式
7	圓文土器 浅鉢	底径 (5.0)	①堅硬 ②灰褐色 ③白色粒 ④体部破片	有段部。内外面に丁寧なミガキ状整形。	諸磯式
8	圓文土器 深鉢	器高 (5.0)	①堅硬 ②(に)い黄褐色 ③白色粒・石英・角閃石 ④網部破片	矢羽根状刺込みを伴う平行浮縞文を横位施す。区画内に2～3条の平行浮縞文を斜位・あるいは対弧状に施す。	諸磯b式
9	圓文土器 深鉢	器高 (5.0)	①堅硬 ②(に)い黄褐色 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁部破片	口縁部が強く屈曲。地文に無筋L織文施す後、平截竹管状工具による横位集合沈線を3段以上施す。	諸磯b式

Tab. 19 出土遺物觀察表 (10)

## J - 1 号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
10	縄文土器 深鉢	高さ (4.4)	①埋藏 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部破片	4 単位の波状口縁。波頂部に刻込み。陶文に R.L 単節繩文施加後、頂部に半截竹管状工具による横位集合沈綫を施し、波頂部から斜位・垂直集合沈綫を施す。三角形区画内に横位 U 字状集合沈綫。	諸職 b 式
11	縄文土器 深鉢	高さ (4.7)	①良好 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁部破片	口縁～頸部が強く屈曲する様やかな波状の縁。陶文に単節 R.L 繩文施加後、口縁部に半截竹管状工具による平行沈綫を 2 条施し、波頂部を下に乳頭状貼付す。頸部は弧状の平行沈綫を複数条施す。	諸職 b 式
12	縄文土器 深鉢	高さ (3.5)	①埋藏 ②赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口縁～頸部が強く屈曲。口縁の一部を内側へ「く」の字状に押し込み、乳頭状貼付す。全面に半截竹管状工具による横位集合沈綫。	諸職 b 式
13	縄文土器 深鉢	高さ (4.7)	①埋藏 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	半截竹管状工具による集合沈綫を横位・縱位・斜位施す。	諸職 b 式
14	縄文土器 深鉢	高さ (10.9)	①埋藏 ②明赤褐色 ③白色粒・石英 ④口縁～頸部破片	口縁～頸部が強く屈曲。半截竹管状工具による集合沈綫を横位・斜位に施し、三角形状区画内に弧状入組す。	諸職 b 式
15	縄文土器 深鉢	高さ (12.0)	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・石英・片岩 ④口縁部破片	大型波状口縁部。波頂部から器形に沿って半截竹管状工具による斜位集合沈綫を施す。	諸職 b 式
16	縄文土器 深鉢		①良好 ②明赤褐色 ③白色粒・角閃石 ④胴部破片	地文に単節 R.L 繩文を横位施す後、全体に半截竹管状工具による C 字状刻突す。	諸職式
17	縄文土器 深鉢		①埋藏 ②明赤褐色 ③白色粒 ④胴部破片	半截竹管状工具による縱位・斜位集合沈綫を施す後、棒状・ボタン状貼付す。	諸職 c 式
18	縄文土器 深鉢		①埋藏 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④胴部破片	半截竹管状工具による横位集合沈綫施加後、溝巻状結節浮綫。	諸職 c 式
19	縄文土器 深鉢	口径 (10.3) 高さ (3.2)	①普通 ②黒褐色 ③白色粒・角閃石多量 ④口縁部破片	口縁部が強く外反。口肩直下から下方へ半截竹管状工具による横位集合沈綫を 3 段以上施す。区画内に竹管状工具による微小な円形刻突文を施す。	諸職 c 式
20	縄文土器 深鉢		①埋藏 ②にぶい黄褐色 ③石英・白色粒 ④口縁部破片	口肩直下に半截竹管状工具による縱位集合沈綫。口縁部に結合沈綫を斜位施す。	諸職 c 式
番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴		備考
21	石器 石鏃	長さ 2.3 幅 1.6 厚さ 0.3 重さ 0.6 黒曜石。 回基。			
22	石器 未製品	長さ 3.4 幅 2.1 厚さ 0.8 重さ 4.4 黒曜石。 石鏃の未成品。			
23	石器 石器	長さ 5.3 幅 5.6 厚さ 1.1 重さ 25.3 白石。 (欠損後の) 刀部再製品。	刀部周辺に磨減及び微細剥離痕。		
24	打製石斧	長さ < 4.6 > 幅 4.6 厚さ 1.5 重さ 33.7 白石。 短冊形。 小破片。 刀部周辺に磨耗痕。 被熱により破碎。			
25	石器 砕削剥離痕	長さ 6.4 幅 9.3 厚さ 5.1 重さ 260.8 黑色安山岩。 刨削の端部に片面加工を施し刀部とする。 刀部周辺に微細剥離痕。			
26	石器 スターリーベイ	長さ 5.8 幅 6.0 厚さ 2.0 重さ 61.3 白石。 繊皮をもつ剥片の二側縁に片面加工を施し刀部とする。			
27	石器 スターリーベイ	長さ 5.4 幅 6.0 厚さ 0.9 重さ 27.5 デザイサイト。 剥離の縁辺に片面加工及び微細剥離痕。 刀部周辺に磨耗痕。			
28	石器 回基	長さ 3.9 幅 6.5 厚さ 4.8 重さ 441.2 安山岩。 表・裏面に摩耗痕が認められ、表面中央・右側面中央には戴打集中による凹穴。磨耗による危険がみられる。			
29	石器 回基	長さ 17.8 幅 11.5 厚さ 6.2 重さ 1,525.6 安山岩。 槌円形。 表・裏面に磨耗痕及び凹穴が認められ、裏面は平滑。磨一回、四穴は戴打集中により形成される。			
30	石器 砕石	長さ < 4.4 > 幅 < 3.9 > 厚さ < 1.3 > 重さ 21.5 砂岩。 天然品。 表・裏面は摩耗により平滑。 被熱により赤く変色。			
31	石器 槌打鍛	長さ 14.5 幅 3.1 厚さ 1.4 重さ 70.7 片岩。 扁平錐の両側縁部に連続する二次加工痕。 上部はやや磨損。 研磨は認められない。			
32	石器 多孔石	長さ 54.4 幅 27.4 厚さ 22.5 重さ 23.1kg 安山岩。 大型鍛の全体に凹穴が 26 穴。 鍛打痕多数。 裏面の一部は摩耗により平滑。			
33	石器 多孔石	長さ 36.2 幅 23.5 厚さ 19.6 重さ 12.5kg 安山岩。 大型鍛の表・裏面に並んだ凹穴が 17 穴。 鍛打痕多数。			

## D - 3 号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 环	口径 (11.8) 底径 (7.2) 高さ 2.6	①還元焰 ②灰灰 ③白色粒・石英 ④1/2	外面：輪轍整形。底部凹軸部切り後ナヂ。 内面：輪轍整形。	
2	須恵器 环	口径 (13.4) 底径 (8.6) 高さ 4.1	①還元焰 ②灰白 ③石英 ④1/3	外面：輪轍整形。底部右回転系切り。 内面：輪轍整形。	

## D - 4 号土坑①

番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴	備考
1	古鉄	鉄径 : 細 2.15 横 2.13、内径 : 細 1.71 横 1.71、重さ 2.95。 洪武通寶。		
2	古鉄	鉄径 : 細 2.19 横 2.19、内径 : 細 1.81 横 1.71、重さ 3.50。 洪武通寶。		

Tab. 20 出土遺物観察表(11)

## D-4号土坑(2)

番号	器種	法量(cm・g)、成・整形技法の特徴			
3	古鉢	鉢径: 縦2.25 横2.20、内径: 縦1.89 横1.81、重さ3.58。	洪武通寶、背文下「福」。		
4	古鉢	鉢径: 縦2.12 横2.10、内径: 縦1.74 横1.69、重さ3.05。	洪武通寶。		
5	古鉢	鉢径: 縦2.11 横2.18 内径: 縦1.79 横1.80 重さ1.84。	洪武通寶。摩耗、削耗著しい。背側縁なし。		
6	古鉢	鉢径: 縦2.27 横2.30 内径: 縦1.80 横1.90 重さ2.81。	洪武通寶。		

## D-6号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 黒色處理 环	口径(6.4) 底径(2.6)	①酸化焰 ②褐 ③角閃石・石英・白色針状物質 ④体へ底部4/5	外面: 鞭轆整形。底部右回転系切り。 内面: 鞭轆整形。黑色處理。ミガキ。	外面に油塗付 着。

## D-8号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 环	口径(13.4) 底径(5.6) 器高 3.2	①漂元端 ②灰黄 ③角閃石・白色針状物質 ④1/4	外面: 鞭轆整形。底部右回転系切り。 内面: 鞭轆整形。	

## D-10号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	かわらけ	口径 9.2 底径 4.6 器高 2.3	①酸化焰 ②褐 ③雲母・白色針状物質 ④完形	外面: 鞭轆整形。底部左回転系切り。 内面: 鞭轆整形。	
2	かわらけ	口径 9.1 底径 4.4 器高 2.2	①酸化焰 ②褐 ③雲母・白色針状物質 ④完形	外面: 鞭轆整形。底部左回転系切り。 内面: 鞭轆整形。	

## J D-1号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶土器 深鉢	器高(7.8)	①良好 ②に赤い黄斑 ③白色粒・石英 ④口縁部破片	S字状・溝巻状の幅広縁带によって口縁部を横位区画し。区内に単屈R L調文を横位・縦位充填後、縁帯監の幅広凹線で削消。	加曾利E IV式

## J D-3号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶土器 深鉢		①普通 ②褐 ③白色粒・褐色砂粒多量 ④口縁部破片	地面上単屈R L調文を施し、口縁直下に丸棒状工具による2条の横位平行单屈縫施文後、竹管状工具による円形刺突。そこを頂点として捲円形同心円状に単屈縫を施す。	加曾利E IV式

## J D-4号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶土器 深鉢	器高(11.0)	①良好 ②褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	単屈R L調文を口縁部に横位・胴部に縦位施文後、口縁部を幅狭低縁帶で横長楕円形状に区画し、縁帶脇に凹線をめぐらす。	加曾利E IV式
2	陶土器 鉢		①良好 ②明赤褐 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④頭部破片	丸棒状工具による単屈縫を施文後、円形貼付文。	縫之内I式
3	陶土器 深鉢	器高(4.9)	①普通 ②褐 ③石英・白色粒・角閃石 ④口縁部破片	口縁直下に丸棒状工具による単屈線1条を横位施文。	縫之内I式
4	陶土器 深鉢	器高(3.8)	①普通 ②明黄褐 ③白色粒・角閃石 ④口縁部破片	口縁直下に丸棒状工具による単屈線1条を横位施文後、口縁部突起直下に削孔。	縫之内I式
5	陶土器 深鉢	器高(4.9)	①普通 ②褐 ③白色粒・黒色粒・石英 ④口縁部破片	口縁直下に幅狭縁帶を貼付し、単屈線1条を施文。	縫之内式
6	陶土器 鉢		①普通 ②褐 ③白色粒 ④胴部破片	丸棒状工具による単屈線で三角形状に区画し、区内にL R単屈調文を横位充填。	縫之内I式

## J-1号集石(1)

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶土器 深鉢		①普通 ②明赤褐 ③白色粒・片岩多量 ④口縁部破片	2条の平行する幅広縁帶で横位区画し、区内に縦位単屈線を充填。	加曾利E I式
2	陶土器 深鉢		①普通 ②明黄褐 ③白色粒・黒色粒・片岩 ④胴部破片	単屈R L調文施文後、丸棒状工具による単屈線で縦長楕円形状に区画し、削消。	加曾利E IV式
3	陶土器 深鉢		①普通 ②明黄褐 ③白色粒・石英・角閃石 ④胴部破片	幅広縁帶によって縦位もしくは楕円形状に区画し、区内に単屈L R調文を縦位充填。	加曾利E IV式
4	陶土器 深鉢		①普通 ②明黄褐 ③白色粒・黒色粒・石英・角閃石 ④口縁部破片	微隆起縫文を縦位もしくは同心円状に貼付し、脇を指ナデ。	加曾利E IV式

Tab. 21 出土遺物観察表 (12)

## J D - 1号集石②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
5	調文土器 深鉢		①青釉 ②板 ③白色粒・黑色鉻物 ④口縁部～柄部上位破片	黒邊起縞文が弧状もしくは同心円状に貼付し、輪を指ナダ。	加曾利E IV式
番号 器種 法量 (cm) 成・整形技法の特徴					
6	石器 スタ レイバー	長さ 6.0 幅 3.9 厚さ 1.4 重さ 30.7	黒色頁岩。		
7	石器 スタ レイバー	長さ 8.4 幅 4.2 厚さ 3.6 重さ 130.3	黒色頁岩。		
8	石器 スタ レイバー	長さ 12.4 幅 12.3 厚さ 2.4 重さ 446.5 砂岩。被熱。			
9	石器 開口 石器	長さ 9.9 幅 6.6 厚さ 4.0 重さ 387.2 安山岩。表・裏面に磨耗痕や敲打痕が認められる。下端部は欠損後とみられる敲打痕あり。			
10	石器 開口 石器	長さ 20.8 幅 18.1 厚さ 5.3 重さ 3,044.1 安山岩。表・裏面に磨耗痕があり裏面は平滑。表面中央に凹穴が4穴。			
11	石器 石皿 石皿	長さ<14.7> 幅<11.4> 厚さ 4.5 重さ 1,011.1 砂岩。欠損品。板状縫を素材とし、表・裏面に磨耗痕及び側面凹状の開口、多孔石の転用。			
12	石器 開口	長さ 10.5 幅 8.9 厚さ 4.4 重さ 339.1 安山岩。表・裏面中央に敲打集中とみられる凹穴。			

## T - 2号豊穴

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	調文土器 深鉢	底径 10.7 高さ (7.9)	①青釉 ②板 ③白色粒・石英 ④底部下位～底部破片	底部網代痕。	後期前集

## T - 3号豊穴

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 壺身	口径 10.0 底径 5.9 高さ 3.2	①薄元端 ②灰 ③石英・白色粒 ④完形	外面：輪轍整形。底部回転 kazari。 内面：輪轍整形。	体部下位摩耗部あり。

## S X - 1 ①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	口径 (14.0) 高さ (3.3)	①醸化焰 ②灰 ③白色粒・黄閃石 ④口縁～体部破片	外面：口縁部横ナデ、体部ケズリ。 内面：横ナデ。	内面に曲筋付着。
2	須恵器 瓶	口径 (3.8) 器 高 (2.8)	①薄元端 ②暗オリーブ ③黑色粒 ④1/3	外面：輪轍整形。摘み欠損。 内面：輪轍整形。	天井部に自然軸。
3	須恵器 壺蓋	口径 (12.6) 高さ (1.6)	①薄元端 ②灰 ③白色粒・石英 ④1/5	外面：輪轍整形。天井部回転 kazari。 内面：輪轍整形。	内面に曲筋付着。
4	須恵器 壺	口径 (17.1) 底径 (11.7) 高さ 4.0	①薄元端 ②灰 ③白色粒・黑色粒 ④1/5	外面：輪轍整形。底部回転 kazari。高台貼付。 内面：輪轍整形。	高台端部、良好摩耗している。
5	土師器 黒色處理 壺	口径 — 底径 (9.0) 高さ (3.7)	①醸化焰 ②灰 ③白色粒・石英・チャート ④全体 1/3	外面：輪轍整形、底部右回転系切り後 kazari。 内面：輪轍整形。ミガキ。黑色處理。	外面部底面に黒斑。
6	須恵器 壺	口径 15.1 底径 7.7 高さ 4.1	①薄元端 ②淡黄緑 ③石英・白色粒 ④4/5	外面：輪轍整形、底部右回転系切り。 内面：輪轍整形。	内外炭素吸着。
7	須恵器 壺	口径 (6.4) 底径 4.9	①醸化焰氣味 ②褐色 ③白色針状物質 ④2/3	外面：輪轍整形、底部右回転 kazari。 内面：輪轍整形。	
8	須恵器 盤	口径 (20.7) 底径 (17.0) 高さ 2.9	①薄元端 ②灰 ③白色粒 ④口縁～体部破片	外面：輪轍整形、体部下位回転 kazari。 内面：輪轍整形。	
9	須恵器 壺	口径 (3.4)	①薄元端 ②灰 ③白色粒・黑色粒 ④肩部破片	外面：輪轍整形。肩部に二重沈線と鶴衝状工具による刺突文。 内面：輪轍整形。	
10	須恵器 大甕	口径 44.0 高さ (24.6)	①薄元端 ②灰 ③白色針状物質・黒色粒 ④口縁部 1/2、肩部 1/5	外面：輪轍整形、肩部横ナデ。 内面：輪轍整形。肩部指ナダと指頭圧痕。	肩部外面と口縁部内面に自然軸。
11	瓦 丸瓦	幅 15.1 厚さ 1.6	①薄元端 ②灰 ③粗大白色粒・粗大石英・黒色 鉻物 ④広端部	凸面：彫印記後、磁化・模倣 kazari。端部面取り。 凹面：布目压痕、糸切り痕。広端部側横ナデ。端部面取り。	
12	瓦 丸瓦	厚さ 2.3	①薄元端 ②黄灰 ③白色粒・石英 ④狭端部右側	凸面：彫印記後、模倣 kazari。 凹面：布目压痕、糸切り痕。端部面取り。	
13	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①薄元端 ②灰 ③白色粒・石英 ④広端部右側	凸面：彫印記後、模倣 kazari。 凹面：布目压痕、糸切り痕。端部面取り。	

Tab. 22 出土遺物観察表 (13)

## S X - 1 ②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
14	瓦 平瓦	厚さ 1.9	①薄元端 ②灰 ③白色粒・褐色粒 ④狹端部近左側	凹面：布目压痕後、一部繩叩き。部分的な横位窓ナデ。端部面取り。 凸面：格子叩き後、縦位・横位・斜位窓ナデ。縦刻。端部面取り。 側面：窓ナデ。	
15	瓦 平瓦	厚さ 2.3	①酸化端 ②にぶい黄褐 ③白色粒・黒色胚物 ④破片	凹面：糸切り痕。端部面取り。 凸面：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
16	瓦 平瓦	厚さ 2.4	①薄元端 ②灰 ③白色粒・石英 ④破片	凹面：布目压痕。糸切り痕。 2次被熱により、溶解した胎土が付着。2次利用。	
番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴	備考	
17	石製品 石鍤	長さ 13.6 幅 14.9 厚さ 8.1 重さ 1,585.1	安山岩。自然縫界面中央に敲打集中による搖籃状の大きな凹穴。		
18	石製品 敲錘車	長さ 6.7 幅 < 6.5 > 厚さ 2.5 重さ 26.7 角閃石安山岩。一部欠損。研磨により整形。			

## S X - 2

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 桶	口径 (12.2) 底径 (5.6) 器高 4.4	①酸化端 ②にぶい黄褐 ③白色粒・片岩・白色粘土質 ④口縁～底部 2/3	外面：輪幅整形。底部回転糸切り後、高台貯付。 内面：輪幅整形。	近部黒斑。
2	須恵器 輪	口径 (13.0) 底径 (7.8) 器高 5.2	①薄元端 ②白色粒・黒色粒 ③口縁～底部 1/5	外面：輪幅整形。高台貼付。 内面：輪幅整形。	
3	土器器 甕	口径 (20.2) 底径 (6.2)	①酸化端 ②明色 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部破片	外面：口縁部横ナデ。頂部指頭痕。体部横位窓ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部横位窓ナデ。	
4	須恵器 瓶	底径 (13.6) 器高 (6.2)	①酸化端 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④体部下部～底部破片	外面：輪幅整形後、体部下位回転ケズリ。高台貼付後、端部に棒状压痕。底部に墨書き記号。	
5	瓦 平瓦	厚さ 3.0	①酸化端 ②黄褐 ③白色粒・石英・褐色粒 ④広端部右側	凹面：布目压痕、糸切り痕。端部面取り。 凸面：縦位窓ナデ後横位窓ナデ。広端部指頭痕。近接して線刻と刻畫「當」。 広端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
6	瓦 平瓦	厚さ 2.4	①薄元端 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④狹端部左側	凹面：布目压痕。糸切り痕。一部指ナデ。端部面取り。 凸面：平口叩き後ナデ。縦刻 1箇所、「三」カ。 狭端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
7	瓦 平瓦	厚さ 2.5	①薄元端 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒・赤色粒 ④狹端部右側	凹面：布目压痕後、部分的な横位窓ナデ、縦位窓ナデ。端部面取り。 凸面：横位窓ナデ。側面付近のみ縦位窓ナデ。 狭端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
8	瓦 丸瓦	厚さ 1.3	①酸化端 ②灰黃 ③白色粒・赤色粒 ④狹端部左側	凸面：横位窓ナデ。 凹面：布目压痕。端部面取り。 狭端部：糸切り後、棒状压痕。 側面：窓ナデ。	
9	瓦 丸瓦	厚さ 2.1	①薄元端 ②灰 ③白色粒・石英 ④狹端部右側	凸面：縦位窓ナデ。端部面取り。 凹面：布目压痕。糸切り痕。端部面取り。 狭端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
10	瓦 平瓦	厚さ 1.6	①薄元端 ②灰オリーブ ③白色粒・黒色胚物 ④狹端部右側	凹面：布目压痕後、狭端部側のみ横位窓ナデ。端部面取り。 凸面：横位窓ナデ。端部面取り。 狭端部：窓ナデ。 側面：窓ナデ。	
11	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①酸化端 ②にぶい紅 ③白色粒・黒色胚物 ④狹端部	凹面：布目压痕後、部分的な縦位窓ナデ。狭端部側のみ横位窓ナデ。端部面取り。 凸面：縦位窓叩き後窓ナデ。狭端部付近のみ横位窓叩き。 狭端部：糸切り痕。	
12	瓦 平瓦	厚さ 1.6	①酸化端 ②浅黄褐 ③白色粒・石英 ④石側	凹面：布目压痕後。端部面取り。 凸面：繩叩き後、横位窓ナデ。端部面取り。 側面：窓ナデ。	

Tab. 23 出土遺物觀察表 (14)

## S X - 3

番号	器種	法値 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	調文土器 台付上器部	高さ (12.0)	①良好 ②にふい黄根 ③白色粒 ④無破片	単面 R L 調文施文後、ボタン状突起貼付。丸棒状工具による単辺縫で三叉文・弧状文を施文し、区画内に刺突充填。	安行式
2	調文土器 深鉢	高さ (4.9)	①良好 ②にふい黄根 ③白色粒・石英 ④口縁部破片	口唇部外面に2段の輪積み底。外面ケズリ、内面ナデ。	天神原式
3	調文土器 深鉢		①良好 ②にふい黄根 ③白色粒 ④胴部破片	燃系 r を巻位施文。内面タテナデ。	晩期中葉
4	調文土器 鉢	直径 5.2 高さ (14.2)	①普通 ②根 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④胴部上位～底部 1/3	輪積み痕顕著。内外面ナデ。	天神原式
番号	器種		法値 (cm・g)	成・整形技法の特徴	備考
5	石器 多孔石	長さ 21.1 幅 19.0 厚さ 5.4 重さ 2,044.0	安山岩。一部欠損。板状縁の表・裏面に凹穴・戴打痕が多数。全体に磨滅。		

## W - 2 号溝

番号	器種	法値 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (12.0) 脚高 (3.0)	①酸化帯 ②根 ③白色粒・角閃石 ④口縁～底部 1/6	外面：口縁部横ナデ。体部館ケズリ。 内面：横ナデ。	
2	須恵器 鉢	口径 (13.8) 底径 (6.0) 脚高 5.0	①澤不良 ②浅黃 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部 1/3	外面：輪積型。底部回転系切り後、高台貼付、回転ナデ。 内面：輪積型。	

## 遺構外出土遺物 A ①

番号	器種	法値 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	調文土器 深鉢	高さ (12.0)	①良好 ②明赤褐 ③白色粒・石英 ④胴部破片	単面 R L 調文を横位・巻位施文後、横位に蛇行する浮縫貼付。	諸職 c 式併行
2	調文土器 深鉢	高さ (7.7)	①普通 ②にふい褐色 ③白色粒・石英・チャート ④口縁～胴部上位破片	口唇部および胴部に竹管状工具による花弁状突文を横位施文。	諸職 c 式併行
3	調文土器 深鉢	高さ (4.4)	①堅継 ②にふい根 ③石英・角閃石 ④口縁部破片	波状口縁。平行する 2 条の直線状結跡浮縫文と同心円状の結跡浮縫文を口縁部に貼付。三角形状区画内に小さな円形貼付文。	諸職 c 式
4	調文土器 深鉢		①普通 ②根 ③白色粒・角閃石 ④口縁部破片	半截竹管状工具による深い集合沈線を横位・斜位施文。	十三菩提式
5	調文土器 深鉢	高さ (14.3)	①良好 ②根 ③白色粒・石英 ④口縁部上位破片	全体に単面 R L 調文を網位施文後、口縁部を横位幅広單弦線によって区画し、丸棒状工具による単沈線を口縁部から垂下させ。区画内に削落後、網位に蛇行する単沈線を施す。	加曾利 E 砂式
6	調文土器 深鉢	高さ (11.0)	①良好 ②にふい黄根 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部破片	口縁部を幅広縫によって横長横円形形状に区画し、単面 R L 調文を横位充填後、縫帶筋に凹縫をめぐらす。	加曾利 E 砂式
7	調文土器 深鉢	高さ (9.6)	①堅継 ②にふい黄根 ③白色粒・チャート・角閃石 ④口縁部破片	単面 R L 調文横位施文後、口縁部を幅広縫によって横長横円形状である「口縁 S 字」状に区画し、縫帶筋に凹縫をめぐらす。	加曾利 E 砂式
8	調文土器 深鉢	高さ (5.2)	①良好 ②暗褐色 ③石英・白色粒 ④口縁部破片	口縁部を幅広縫によって横長横円形形状に区画し、単面 R L 調文を横位充填後、縫帶筋に凹縫をめぐらす。	加曾利 E 砂式
9	調文土器 深鉢	高さ (4.6)	①良好 ②根 ③白色粒 ④口縁部破片	口縁部に単面 R L 調文横位施文後、回線を巻位横円形形状に施す。区画外を研磨し削り落す。	加曾利 E 砂式
10	調文土器 深鉢	高さ (10.0)	①普通 ②にふい黄根 ③白色粒 ④口縁～胴部破片	棚衝状工具による深い集合沈線を弧状・逆 S 字状に施す。	中期後葉
11	調文土器 深鉢	高さ (4.6)	①堅継 ②にふい褐色 ③白色粒・角閃石・片岩 ④口縁部破片	口唇部直下に微隆起縫文を横位貼付し。口縁部に弧状もしくは横円形状の微隆起縫文を施す。	加曾利 E 砂式
12	調文土器 深鉢		①普通 ②にふい黄根 ③白色粒・角閃石 ④胴部破片	無端 R L 調文を横位施文後、丸棒状工具による単沈線を斜位施文し、刻みを伴う横長粘土瘤を貼付する。	安行式
13	調文土器 深鉢	高さ (5.2)	①良好 ②にふい赤褐 ③白色粒 ④口縁部破片	口唇部粘土瘤及び口縁部に指頭圧痕。胴部に拂卓系を斜位施文。	天神原式
14	調文土器 深鉢	高さ (10.3)	①堅継 ②根 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～胴部上位破片	口唇部に指頭圧痕。その後位に回線を横位施文。外面を巻位ケズリ、内面を横位・斜位ケズリ。	天神原式
15	調文土器 深鉢	高さ (5.5)	①堅継 ②にふい根 ③白色粒 ④口縁部破片	口唇部粘土瘤及び口縁部に指頭圧痕を残したまま指頭圧痕。	天神原式
16	調文土器 深鉢	高さ (9.0)	①良好 ②にふい黄根 ③白色粒・黒色粒・石英・片岩 ④口縁～胴部破片	口縁部に輪積み痕を残したまま粘土瘤を 2 段積み上げる。	天神原式
17	弥生土器 甕		①酸化帯 ②にふい赤褐 ③白色粒・角閃石 ④体部破片	外面：巻位・斜位刷毛目後、ミガキ。 内面：横位刷毛目。	弥生前期末～中期初頭

Tab. 24 出土遺物観察表（15）

## 遺構外出土遺物A②

番号	器種	法縦（cm）	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
18	甕形土器 蓋		①青浦 ②橙 ③石英・白色粒 ④口縁部破片	口縁部外縁に横位櫛捺波状文。内外面横ナデ。	樽式1期
法縦（cm・g）、成・整形技法の特徴					
19	石器 石頭	長さ2.2 幅1.4 厚さ0.5 重さ1.0 黒曜石。 回基。			
20	石器 スク レイバー	長さ5.3 幅6.8 厚さ1.3 重さ38.6 灰岩。			
21	石器 打製石斧	長さ10.8 幅4.1 厚さ1.2 重さ69.3 黒色頁岩。 短冊形。基部・刃部に顕著な摩耗と光沢がある。			
22	石器 打製石斧	長さ11.7 幅5.0 厚さ1.8 重さ112.4 硬質砂岩。 扇形。刃部再生あるいは製作途中と思われる。			
23	石器 打製石斧	長さ10.6 幅4.8 厚さ1.7 重さ93.6 黑色頁岩。 短冊形。基部・刃部に顕著な摩耗と光沢がある。			
24	石器 打製石斧	長さ9.7 幅8.0 厚さ3.0 重さ205.7 黑色頁岩。 打製石斧の未成品か。			
25	石器 石頭	長さ< 8.6 > 幅< 5.9 > 厚さ1.7 重さ81.2 砂岩。有溝底石。右上半端・下端部欠損。表面に2条、裏面に3条の横裂孔あり。			
26	石器 棒状鍥	長さ15.3 幅2.8 厚さ1.9 重さ155.0 綠色岩類。人為的な加工は認められない。			
27	石器 磨石	長さ11.0 幅8.3 厚さ4.4 重さ656.5 安山岩。 構円形。表・裏面に摩耗痕が認められ、右側面・下端部に戴打痕。			
28	石器 多孔石	長さ27.1 幅24.9 厚さ18.0 重さ15.0kg 砂岩。大型板状鍥の表・裏面に凹穴が41穴。裏縁も人為的に面		写真のみ掲載	
29	石器 多孔石	長さ33.2 幅24.0 厚さ22.6 重さ13.0kg 安山岩。大型鍥の全面に凹穴が114穴。表面の一部及び左側面は		写真のみ掲載	
30	土製品 土製品	長さ3.2 幅2.8 厚さ1.0 重さ9.58。全周研磨。土器片再利用。無文。			

## 遺構外出土遺物B①

番号	器種	法縦（cm）	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土器器 丸底鉢	口径(12.0) 器高(6.0)	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・角閃石 ④口縁～底部1/5	外面：口縁部横ナデ。体部縦位・横位箇ナデ。底部横位ケズリ。 内面：体部～底部、横位箇ナデ後、縱位放射状ミガキ。	
2	土器器 器高	口径(13.3) 器高(6.6)	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁～体部上位破片	外面：口縁部横ナデ。頸部縦位刷毛目。体部斜位箇ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。頸部刷毛目。底部横位箇ナデ。	
3	須恵器 环	口径(14.8) 器高(7.9)	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・石英 ④口縁～底部2/3	外面：輪轍整形。底部回転置ケズリ。 内面：輪轍整形。	
4	須恵器 环	口径(12.9) 器高(5.8)	①酸化焰 ②浅黄 ③白色粒・角閃石・片岩 ④口縁～底部2/3	外面：輪轍整形。底部回転糸切り後無調整。 内面：輪轍整形。	
5	須恵器 耳皿	口径(8.3) 器高(4.6/5.0)	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黑色鉱物・石英 ④口縁～底部2/3	外面：輪轍整形後、折り曲げ、指ナデ。底部高台貼付後、回転ナデ。 内面：輪轍整形後、折り曲げ、指ナデ。	
6	羽釜	口径(17.8)	①酸化焰 ②明黄 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部破片	外面：輪轍整形。跨貼付。煤付着。 内面：輪轍整形。	
7	かわらけ	口径(11.8) 器高(7.1)	①酸化焰 ②明黄 ③白色粒 ④口縁～底部破片	外面：輪轍整形。 内面：輪轍整形。見込みに油漬付着。	
8	瓦 平瓦	厚さ1.5	①還元焰 ②灰 ③白色粒・石英・黑色鉱物 ④狭端部左側	凹面：布目圧痕後、縦位箇ナデ。狭端部側のみ横位ナデ。端部面取り。 凸面：縫合き後、縦位・縦位箇ナデ。 側面：箇ナデ。	
9	瓦 平瓦	厚さ1.8	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・黑色鉱物 ④内縫欠損	凹面：布目圧痕、糸切り痕。 凸面：縫合き。 側面：箇ナデ。	
10	瓦 丸瓦	厚さ2.2	①還元焰 ②灰 ③白色粒・チャート・石英・黑 色粒 ④側縫欠損	凹面：縦位箇ナデ、指ナデ。 凸面：布目圧痕。 側面：箇ナデ。	
11	瓦 平瓦	厚さ1.1	①還元焰 ②灰 ③白色粒・チャート・石英・黑 色粒 ④側縫欠損	凹面：布目圧痕後、縦位箇ナデ。端部面取り。 凸面：木口状工具による横ナデ後、一部縫合き。 側面：箇ナデ。	
12	瓦 平瓦	厚さ2.1	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・石英・黑色鉱物 ④広端部左側	凹面：布目圧痕、糸切り痕。一部指ナデ。端部面取り。 凸面：横位箇ナデ。縫合。 広端部：箇ナデ後、棒状圧痕。 側面：箇ナデ。	
13	瓦 平瓦	厚さ1.5	①酸化焰 ②にぶい黄 ③白色粒・赤色粒・石英 ④狭端部右側	凹面：糸切り痕後、横位箇ナデ。端部面取り。 凸面：糸切り痕。 狭端部：箇ナデ。	

Tab. 25 出土遺物観察表 (16)

## 遺構外出土遺物B②

番号	器種	法量 (cm・g)、成・整形技法の特徴	備考
14	鉄製品 鉄鍔	長さ (10.1)、幅 0.7、厚さ 0.7、重さ 13.97/ 基部	
15	鉄製品 板状鉄製品	長さ 8.1、幅 4.3、厚さ 0.1、重さ 13.03	
16	鉄製品 針	長さ (15.1)、幅 2.1、厚さ 0.85、重さ 61.53	
17	鉄製品 針	長さ (5.1)、幅 1.4、厚さ 0.9、重さ 10.63	
18	鉄製品 針	長さ (4.9)、幅 0.7、厚さ 0.5、重さ 2.81	
19	鉄製品 削	長さ (3.8)、幅 0.6、厚さ 0.6、重さ 10.08	
20	鉄製品 鍵	長さ 18.4、幅 2.7、厚さ 0.5、重さ 92.73	
21	鉄製品 鉗	長さ 6.7、幅 6.7、厚さ 0.3、重さ 28.49	
22	銅山開闢遺物 鉄塊石遺物	長さ 10.1、幅 10.5、厚さ 5.0、重さ 596.88	磁着。
23	銅山開闢 遺物 切型	長さ 4.6、幅 7.2、厚さ 3.8、重さ 97.20	
24	金屬製品 鉄鉗王	長さ 1.1、幅 1.1、重さ 4.93	鉄製カ

## V　まとめ

本遺跡で確認された遺構も含め、周辺における土地利用の変遷を概略的に捉えることにより、まとめとしたい。本遺跡が立地する元総社蒼海遺跡群は、相馬ヶ原扇状地の末端に位置している。この扇状地形は約13,000年前に起きた棲名山の陣場岩屑雪崩によって形成されたもので、この地形形成が後の元総社地域の発展に大きく関わるものとのと考えられる。陣場岩屑雪崩層の上には蓄積された調査により、浅間 - 板鼻黄褐色輕石 (A s - Y P : 13,000 年前降下) → 前橋泥炭層・浅間 - 総社輕石 (A s - S j : 11,000 年前降下) → 総社砂層 - 黒ボク土 → 浅間C輕石 (A s - C : 3 世紀末降下) → 棲名 - ニッ岳洪川テフラ (H r - F A : 6 世紀初頃降下) → 浅間 B 輕石 (A s - B : 1,108 年降下) → 浅間A輕石 (A s - A : 1,783 年降下) の順でテフラ等が堆積していることが周知となっている。現時点において、これら堆積層の中で陣場岩屑雪崩層・A s - Y P・前橋泥炭層・総社砂層を生活面とする遺構は確認されていないことから、人々が元総社の地を居住域として選択するのは黒ボク土堆積以降であった可能性が高いものと言えよう。なお、総社砂層の堆積においては興味深いものがある。同層は、洪水起源によるものであるが、層の厚さは 2.5 m 程もある。洪水層がこれほどの厚さにまで堆積する理由として、元総社の地が相馬ヶ原扇状地の末端にあたることが、一因と考えられる。相馬ヶ原扇状地は南方向へ傾斜する前橋台地の上に乗っていることから、地形の傾斜は南東方向へ傾斜する相馬ヶ原扇状地を過ぎると、南方向へ傾斜する前橋台地へ引き継がれることになる。このため、棲名山を水源とする染谷川や牛池川などの河川は地形の変換点にあたる元総社周辺で流路を南東方向から南方向へ変えることになる。流路の屈曲は、洪水を引き起こす大きな原因となり得る。河川の水が急激に棲名山から元総社方面に流れ込んだ場合、河川の屈曲部では豊富な水量を南へ曲げきることができず、そのまま南東方向へオーバーフローしてしまうのであろう。このオーバーフローによる度重なる洪水土の堆積が総社砂層と考えられ、浅間 - 総社輕石が降下したころには、湿地帯であった土地が、徐々に台地へと変容していったものと推測される。総社砂層が堆積している元総社地域において、最古と考えられる遺構は縄文時代前期後葉の諸磧も式期段階であることから、元総社における台地化は縄文時代前期後葉には完成していたと言え、該期を境にして土地利用を集落域へと変容させていったものと考えられる。

本遺跡において、縄文時代前期後半・中期後半・後期前葉・晚期前葉・弥生時代前期～中期・後期・古墳時代前期・後期・奈良・平安時代・中世の遺構および遺物の出土が見られる。元総社における縄文時代の集落は、台地上に

立地する傾向が強く、前期後半および中期後半の集落が散在する状態で確認されており、本遺跡においても例外ではない。ただし、縄文時代の集落には時期的な連続性は見られず、定住の地としての選択性は弱かったものと推測される。より、河川に近い低地部分からは、縄文時代後期～晩期の集落が点在することが推測され、牛池川の低地部分にあたる元総社北川遺跡（2007年）や元総社蒼海遺跡群（9）（2006年）では該期の良好な土器が出土している。本遺跡は染谷川が作り出した台地の縁辺部に位置しており、やはり後期・晩期の遺構・遺物の確認がなされている。比較的該期の遺跡は低地を好むことから、さらに染谷川に近接した低地部分においては集落の広がりが期待できるものと言えよう。なお、低地部分の占地を好む傾向は、弥生時代中期にまで及ぶ傾向が多く見られ、本遺跡ややはり河川に近い元総社蒼海遺跡群（37）（2012年）では、前期末～中期初頭に位置づけられる沖II式の土器片が出土している。

弥生時代の遺構・遺物は先述した沖II式の土器片以外で、樽式期の土器片が1点のみしか本遺跡では確認されていない。元経社地域では絶じて弥生時代中期～後期の遺構を輩出する遺跡は少ない。しかしながら、古墳時代前期の住居跡からの出土遺物では、いわゆる東海系とされるS字甕と共に伴する状態で在地弥生土器の系統を保つものも散見されている。このため、居住域こそ確認されていないものの周囲に該期集落が少なからずとも展開していたのであろう。

古墳時代になると、爆発的に元総社の地には集落が構成される。傾向として、5世紀代を除き、4世紀～7世紀代までの住居跡は所狭しと構築されている印象を受ける。本遺跡においても同様で、該期の住居跡は多数検出されている。前期の段階では、元総社北川遺跡で検出された大規模な用水路が示す通り、低地における水田開発が本格的に進められる始める。これは、S字甕とともに水田開発の集団ないし技術が元総社まで及んできたことを示すのであろう。S字甕と在地弥生土器の系統を踏んだ土器が共伴する類例に関しては、弥生時代より在地に根ざしていた集団が水田開発集団を受容したとも言えるのではなかろうか。なお、台地上では住居跡の構築とともに畠の耕作が行われており、畠耕作に伴う積極的な土壤の搅拌については元総社蒼海遺跡群（28）（2010年）で述べられている。中期段階では、末葉（TK 47段階：陶色編年）になると住居跡の検出例があるが、それ以外の時期に関しては遺構・遺物の確認ともほぼ見られず、元総社閑泉明神北IV遺跡（2007年）で確認されている水田跡が数少ない資料である。なお、中期段階において大きな地形の変容や災害事例は見受けられず、人々がこの地を離れていく状況に関しては理解に苦しむところである。今後の課題となるが、別の理由も含めて本地域における5世紀代を捉えなおしていく必要があるものと思われる。6・7世紀代は安定して集落が造営され、やはり台地上では集落とともに畠、低地では水田の耕作が行われている。畠の痕跡は元総社蒼海遺跡群（16）（2008年）で畠間においてHr-F A混入の搅拌土壤が確認されている。同畠は10世紀代の住居跡に切られていることから、時期幅としてHr-F A降下後から10世紀代までが与えられる。しかしながら、Hr-F Aの残存具合からHr-F A降下後からの土壤搅拌があり進んでいないものと判断でき、古墳時代に帰属する畠と言っても遡色はないものであろう。水田跡は元総社北川遺跡でHr-F AおよびHr-F P下の小区画水田が良好な状態で検出されている。

奈良時代になると元総社の土地利用に大きな転機が訪れる。上野国府・国分僧寺・国分尼寺の造営である。元総社は少くとも9世紀後半までは、これら国府関連施設を中心として機能することになる。本遺跡において、国府関連の遺構検出には及ばなかったが、国府が機能する8・9世紀代の住居跡の検出は見られた。これらの住居跡を住まいとする人々は、国府関連施設とは無関係ではないと推測されるが、明確な関連を捉えるには至っていない。なお、9世紀代になると住居跡のカマド構築材として瓦を使用する状況が見受けられるようになる。これらの瓦は、国府・国分僧寺・国分尼寺のいずれかに葺かれていたものと想定され、818年（弘仁9年）の地震により崩落した瓦を再利用しているものと考えられている。

いわゆる、国府関連施設が機能していたとされる8・9世紀代の元總社を別の視点で観察すると、興味深いも

のがある。堅穴住居跡は一般的な人々の居住用と考えられているものであるが、この堅穴住居跡が8・9世紀代になると、まったく構築されない地域が現れるのである。この8・9世紀代の集落空白地は、国庁・国衙・国府いずれかの範囲内にあたると推測される。現在の行政機関内に一般宅地が存在しないのと同様で、当時の行政機関内にも一般的な人々が住む堅穴住居跡は作られなかつたものと考えられる。上野国府は、後の時代に構築される蒼海城によりその痕跡が壊されている部分が多くある。このため、国府の範囲や施設について明確な情報が得られていないのが現状である。今後の課題として、8・9世紀の集落分布および空白部分を捉えていくことにより、国府の範囲を限定させていくことが急務と言えよう。

10世紀になると元総社の地には所狭しと住居跡の分布が認められるようになり、集落分布の偏りも見られなくなる。該期には国府の機能が失われていたのであろう。なお、939年（天慶2年）に上野国府は承平・天慶の乱で平将門により滅ぼされたとされるが、概ねであるが、元総社の地全体に住居跡が再構築される時期と一致するとも言える。

11世紀代には数こそは少なくなるものの、住居跡の分布は空白部等を持たず元総社地内に散在する。そして、11世紀代を境に元総社には堅穴住居跡は作られなくなる。本遺跡における10・11世紀代の住居跡は先述に例外なく検出されている。なお、カマドの構築材として国府・国分僧寺・国分尼寺のものと想定される瓦が、ほぼ全ての住居跡で利用されている。これは、やはり国家的な権力が一般的な人々に及ばなくなったことを示しているのかもしれない。

本遺跡において中世の遺構は数少ないが、この段階になると蒼海城が国府の地割を利用して構築される。蒼海城周辺の堀は、元総社地内において数多く確認されており、元総社蒼海遺跡群（21）・（23）（2009年）では近接して2時期の堀が検出されており、古い時期の堀は埋め戻されるとともに、15世紀中ごろの土器・陶器・磁器等が多数出土している。この時期は、1429年（永享元年）に総社長尾氏（長尾景行ないし長尾忠房）により蒼海城が修築を受けたとの記述と一致するものである。なお、新しく掘りなおされた堀は規模が大きくなっている。現在の地割で残存しているものは修築後のもと想定される。

以上のように、元総社の土地利用の変遷を概観したが、この流れの中で本遺跡を捉えなおしてみると、大きくは相違がないものと思われる。問題となるのが、国府・蒼海城が機能していた時期における本遺跡の役割と言えよう。国府とは国庁・国衙が含まれる範囲を示し、詳しくは国府は役所の中核施設、国衙は役所そのもの全体、国府は国府・国衙を含めた役所周囲の衛星的な施設を含む範囲を示す。本遺跡では、8・9世紀代の住居跡が検出されていることから、国庁・国衙の範囲内からは除外されるのであろう。国府の範囲内に入るか否かは不明であるが、9世紀代の住居跡のカマド構築材として瓦を使用している状況からも何らかの関わりを有していた集落であったものと推測されるものである。蒼海城に関しては、本遺跡内において掘立柱建物跡や堀の確認はなされていない。『群馬県古城墨跡の研究 上巻』（1971年）で示される蒼海城の郭や土居からは距離を隔していることからも、一つの郭として機能していたような場所ではないものと考えられる。しかしながら、本遺跡西脇に流れる染谷川は自然の防御線ともなり得るもので、近くには防御的な施設である五番塙も存在していることから、大きくは蒼海城の勢力範囲内に納まっていたものと推測できよう。

## 抄 錄

フリガナ	モトゾウジャオウミイセキグン 48
書名	元総社蒼海遺跡群 (48)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
編著者名	福田貴之・日沖剛史
編集機関	前橋市教育委員会
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒 371-0018 群馬県前橋市三俣町二丁目 10-2 Tel 027-231-9531
発行年月日	西暦 2014 年 3 月 20 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号 (日本測地系)				
元総社蒼海 遺跡群 (48)	群馬県前橋市元総 社 町 1557、1559、 1560-2、1560- 3番	10201	24 A 130-40	36° 23' 15"	139° 01' 46"	2012.12.13 ~ 2013.03.29	前橋都市計画事 業元総社蒼海土 地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
			縦穴住居跡	31軒		
元総社蒼海 遺跡群 (48)	集落	縦穴住居跡	31軒	縦穴土器	縦穴時代、古 墳時代後期お よび奈良・平 安時代の集落 を確認	
		溝	4条	土師器		
		奈良・平安	14基	須恵器		
		中世	多數基	羽釜		
			3基	灰釉陶器		
			3基	鉄製品		
			1基	石製品		
				瓦		
				鉄滓		

---

写 真 図 版

---



元總社舊海道跡群（48）遠景 東から



元總社舊海道跡群（48）調査区北側全景 上が西



H-1号住居跡全景 南西から



H-1号住居跡カマド全景 北西から



H-2号住居跡全景 西から



H-2号住居跡カマド全景 西から



H-3号住居跡全景 東から



H-4号住居跡全景 南西から

H-5号住居跡全景 西から



H-6号住居跡掘り方全景 西から



H-6号住居跡カマド全景 西から



H-7号住居跡全景 西から



H-7号住居跡カマド全景 西から



H-8号住居跡全景 西から



H-9号住居跡全景 西から



H-9号住居跡カマド全景 西から



H-10号住居跡全景 西から



H-10号住居跡カマド全景 西から



H-10号住居跡貯藏穴遺物出土状況 北から



H-11号住居跡全景 北西から



H-11号住居跡カマド全景 北西から



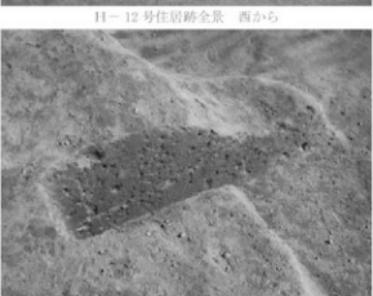
H-11号住居跡貯藏穴遺物出土状況 東から



H-12号住居跡全景 西から



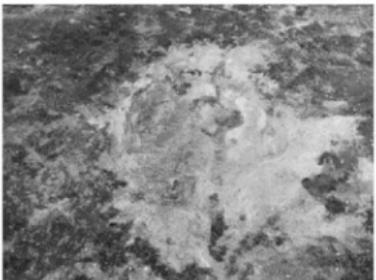
H-12号住居跡カマド全景 西から



H-12号住居跡棚状施設断面 南西から



H-13号住居跡全景 南東から



H-13号住居跡跡全景 南東から



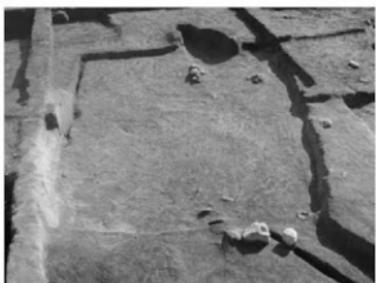
H-13号住居跡壁柱穴 (P-15) 断ら割り断面 西から



H-14号住居跡全景 西から



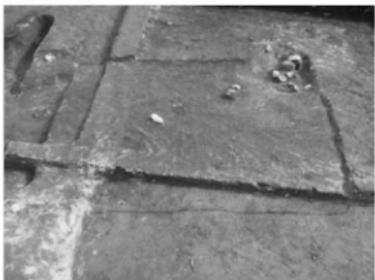
H-14号住居跡カマド全景 西から



H-15号住居跡全景 西から



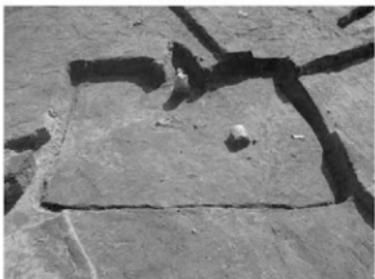
H-15号住居跡カマド全景 西から



H-16号住居跡全景 西から



H-16号住居跡カマド全景 北西から



H-17号住居跡全景 北西から



H-17号住居跡カマド全景 北西から



H-18号住居跡全景 南西から



H-19号住居跡掘り方全景 西から



H-20号住居跡全景 西から



H-20号住居跡カマド全景 西から



H-20号住居跡出入り口状施設検出状況 西から



H-20号住居跡出入り口状施設断面 割り断面 西から



H-21号住居跡全景 西から



H-21号住居跡カマド全景 西から



H-22号住居跡全景 西から



H-22号住居跡カマド全景 西から



H-23号住居跡掘り方全景 西から



H-24号住居跡全景 西から



H-25号住居跡全景 西から



H-26号住居跡全景 北西から



H-27号住居跡全景 南西から



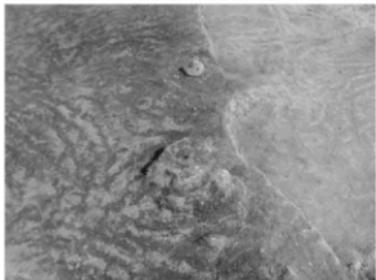
H-28号住居跡全景 西から



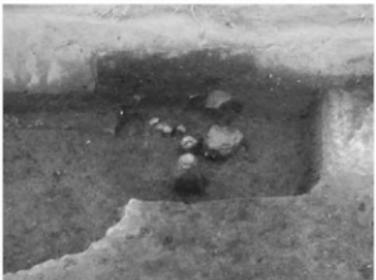
H-28号住居跡カマド全景 西から



H-30号住居跡全景 南から

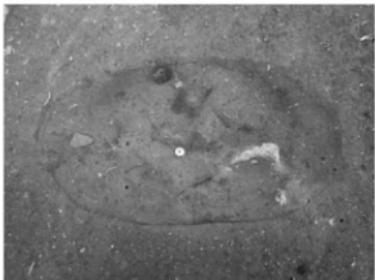


H-30号住居跡全景 南から



H-31号住居跡全景 西から

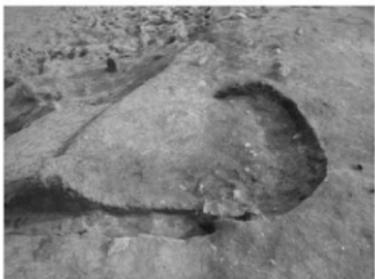




D-4号土坑全景 西から



D-4号土坑遺物出土状況 北西から



D-8号土坑全景 北から



D-10号土坑全景 南から



J-D-1号土坑全景 東から



J-D-1号土坑遺物出土状況 南から



J-D-2号土坑全景 南から



1号配石全景 南から



T-1号竖穴状墓構全景 西から



T-2号竖穴状墓構全景 西から



T-3号竖穴状墓構全景 西から



SX-1号性格不明墓構全景 北から



SX-2号性格不明墓構全景 北西から



SX-3号性格不明墓構全景 東から



W-2号墓構全景 北から



W-2号墓構出土状况 東から

P L. 12

H-2号住居跡



H-2住-1



H-2住-2



H-2住-3



H-2住-4



H-2住-5



H-2住-6

H-3号住居跡



H-3住-1



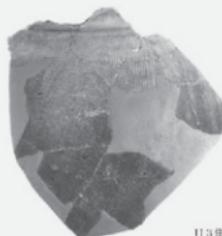
H-3住-2



H-3住-3



H-3住-4



H-3住-5

H-4号住居跡



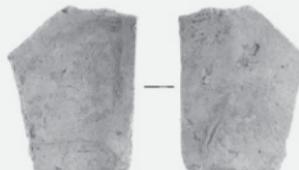
H-4住-1



H-4住-2



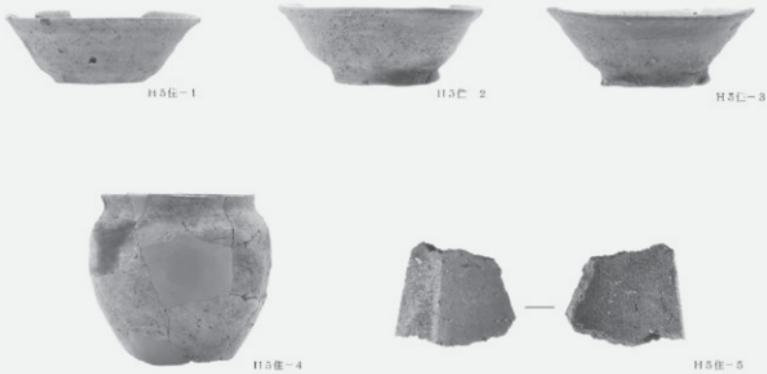
H-4住-3



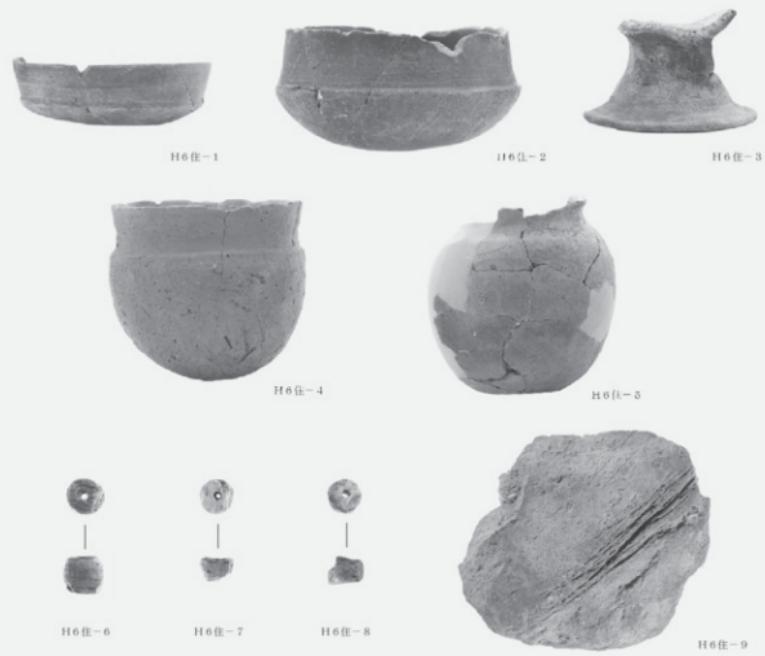
H-4住-4

出土遺物①

## H-5号住居跡



## H-6号住居跡



出土遺物②

P L. 14

H-7号住居跡



H-7住-1



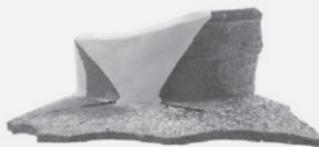
H-7住-2



H-7住-3



H-7住-4



H-7住-5

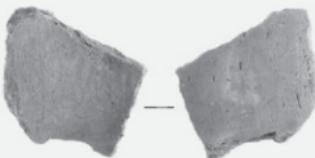
H-8住居跡



H-8住-1



H-8住-2



H-8住-3



H-8住-4

出土遺物③

## H-9号住居跡



H9住-1



H9住-2



H9住-3

## H-10号住居跡



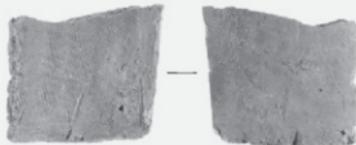
H10住-1



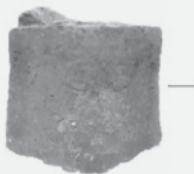
H10住-2



H10住-3



H10住-4



—



H10住-5



H10住-6

P L. 16

H—11号住居跡



H11住-2



H11住-1



H11住-3



H11住-4



H11住-5



H11住-6

H—12号住居跡



H12住-1



H12住-2



H12住-3



H12住-4



H12住-5



H12住-6



H12住-7



H12住-8



H12住-9



H12住-10

出土遺物⑤

## H-12号住居跡



H12住-11



—



H12住-15



H12住-12



—



H12住-17



H12住-13



—



H12住-18



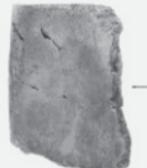
H12住-14



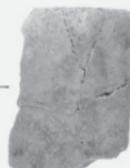
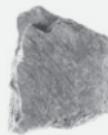
—



H12住-19



—

H12住-16  
出土遺物⑥

—



H12住-20

P L. 18

H-12号住居跡



H12住-21

H-13号住居跡



H13住-1



H13住-3



H13住-2

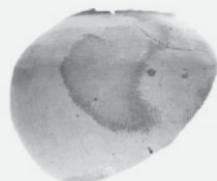
H-14号住居跡



H14住-1



H14住-2



H14住-3



H14住-4

H-15号住居跡



H15住-1



H15住-2



H15住-2



H15住-3

H15住-3

H-16号住居跡



H16住-1



H16住-2



H16住-3



H16住-4



H16住-5



H16住-6



H16住-7

出土遺物⑦

## H-17号住居跡



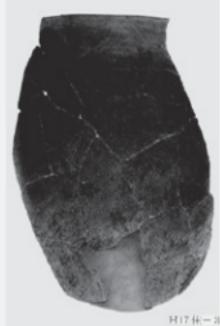
H17住-1



H17住-2



H17住-4



H17住-3

## H-18号住居跡



H17住-5



H18住-1

## H-19号住居跡



H19住-1



H19住-2



H19住-3



H19住-4



H19住-5



H19住-6

出土遺物⑧

P L. 20

H-19号住居跡



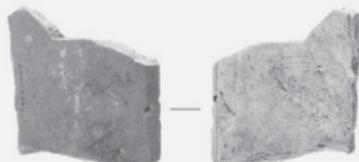
H19住-7



H19住-9



H19住-8



H19住-10



H19住-12



H19住-11



H19住-13

H-20号住居跡



H20住-1



H20住-3



H20住-4



H20住-2



H20住-5

出土遺物⑨

## H-21号住居跡



H21 住-1



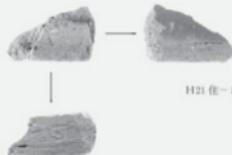
H21 住-2



H21 住-3



H21 住-4



H21 住-5



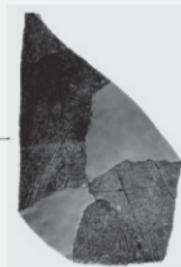
—



H21 住-6



—



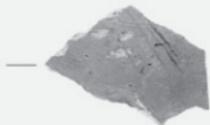
H21 住-7



—



H21 住-8



H21 住-9

出土遺物@

P L. 22

H-22号住居跡



H22住-1



H22住-2



H22住-3



H22住-4



H22住-5



H22住-6



H22住-7



H22住-8



H22住-9



H22住-10



H22住-11



H22住-12



H22住-13



H22住-14

出土遺物①

## H-22号住居跡



H22住-15



H22住-16



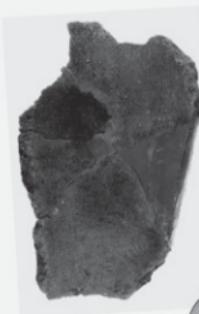
H22住-17



H22住-18



H22住-19



H22住-20

刻畫



H22住-21



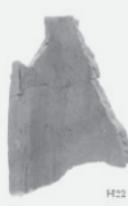
H22住-21 刻畫



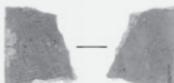
H22住-23



H22住-22



出土遺物⑫



H22住-24

P L. 24

H-23号住居跡

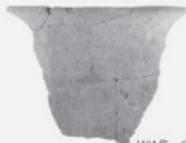


H23住-1

H-24号住居跡



H24住-1



H24住-2

H-27号住居跡



H27住-1



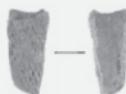
H27住-2



H27住-3



H27住-4



H27住-5

H-28号住居跡



H28住-1



H28住-2



H29住-1



H29住-3



H29住-2



H29住-4

H-30号住居跡



H30住-1



H30住-2



H30住-3

H-31号住居跡



H31住-1



H31住-2



H31住-3

出土遺物⑬

J-1号住居跡



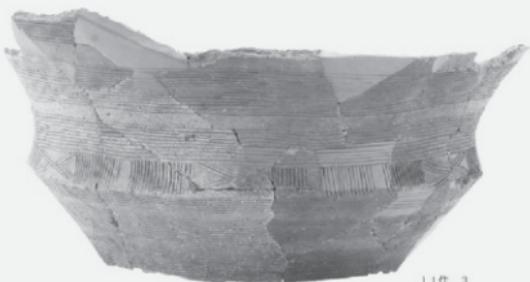
J-1住-1



J-1住-4



J-1住-2



J-1住-3



J-1住-5



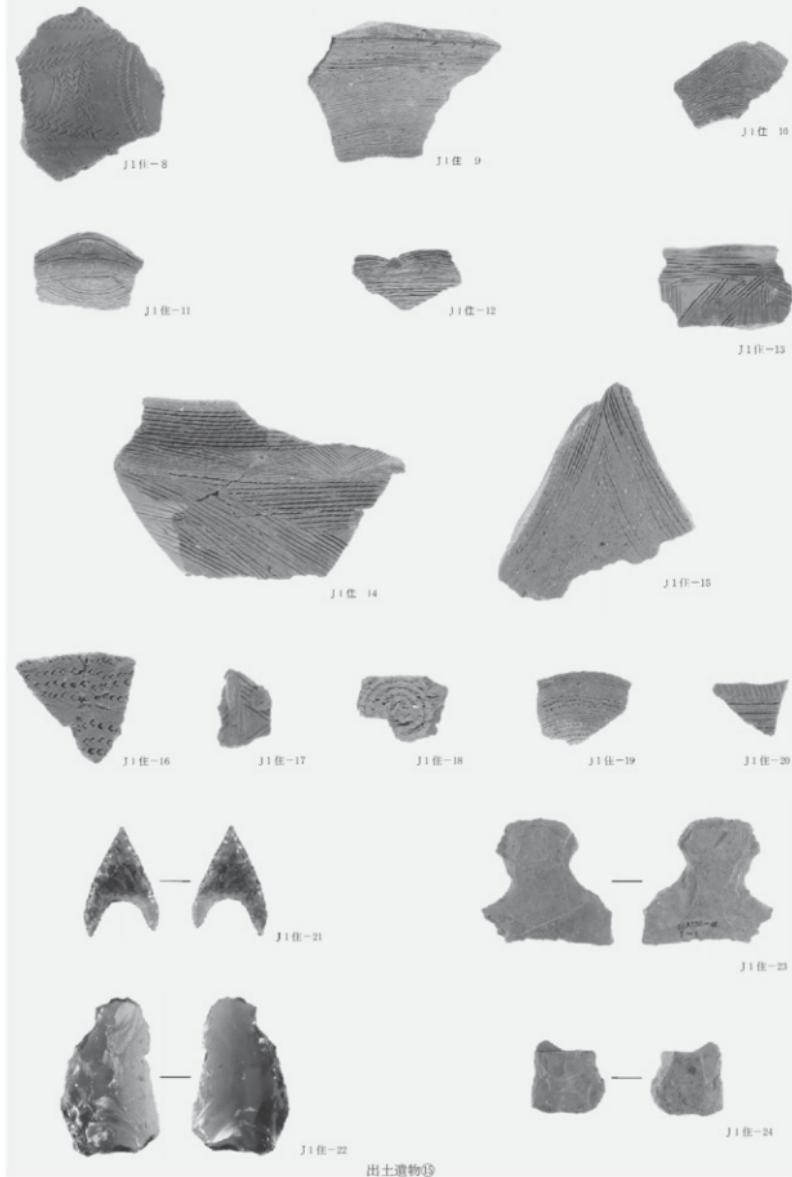
J-1住-6



J-1住-7

出土遺物⑩

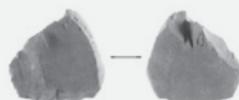
## J-1号住居跡



## J - 1号住居跡



J1住-25



J1住-26



J1住-27



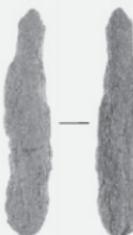
J1住-28



J1住-29



J1住-30



J1住-31



J1住-33



J1生-32

## D-3号土坑



D3土-1



D3土-2

## D-6号土坑



D6土-1

出土遺物◎

D - 4号土坑



D 4 土-1



D 4 土-2



D 4 土-3



D 4 土-4



D 4 土-5



D 4 土-6

D - 8号土坑



D 8 土-1

J D - 3号土坑



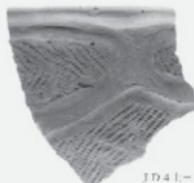
J D 3 土-1

J D - 1号土坑



J D 1 土-1

J D - 4号土坑



J D 4 土-1



J D 4 土-2



J D 4 土-3



J D 4 土-4



J D 4 土-5



J D 4 土-6

出土遗物⑪

## J-1号集石



J-1集-1



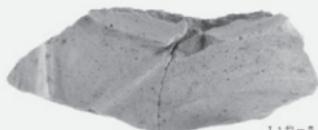
J-1集-2



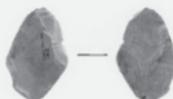
J-1集-3



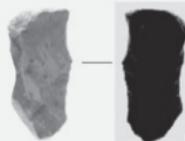
J-1集-4



J-1集-5



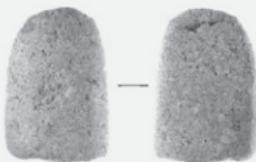
J-1集-6



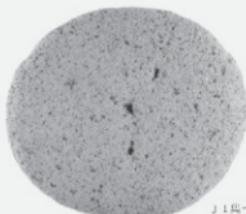
J-1集-7



J-1集-8



J-1集-9



J-1集-10

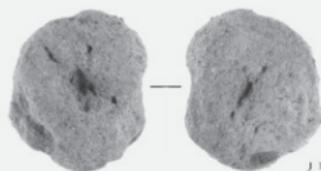


J-1集-11

出土遺物⑧

P L. 30

J - 1号集石



J - 1集-12



T 2 - 1

T - 3号竖穴状遗構



T 3 - 1

S X - 1号性格不明遗構



S X 1 - 1



S X 1 - 2



S X 1 - 3



S X 1 - 4



S X 1 - 5



S X 1 - 6



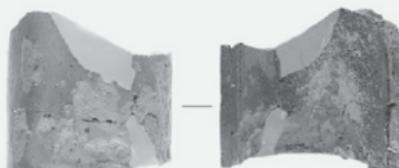
S X 1 - 7



S X 1 - 8



S X 1 - 9



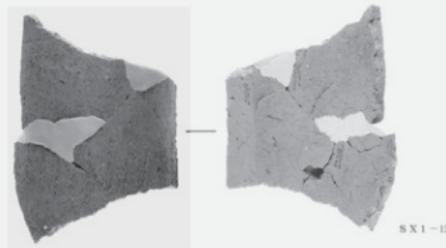
S X 1 - 11

出土遺物⑯

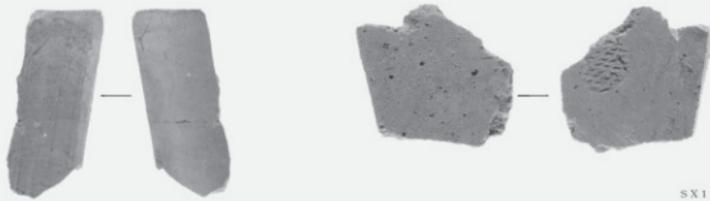
S X - 1号性格不明遺構



6 x 1 10



S X 1-12



5 X 1 = 12

S X 1 = 14



381-15

S X 1 - 10



SX 1-18

出土遺物②

P L. 32

S X - 1号性格不明遺構



S X 1 - 17

S X - 2号性格不明遺構



S X 2 - 1



S X 2 - 2



S X 2 - 3



S X 2 - 4



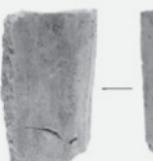
S X 2 - 5



S X 2 - 6



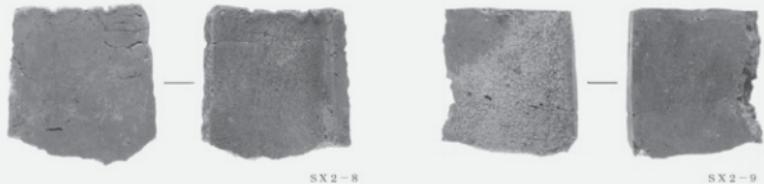
S X 2 住 - 6 刻畫



S X 2 - 7

出土遺物②

## S X - 2 号性格不明遺構



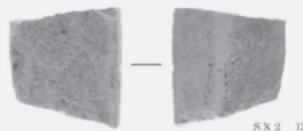
SX 2 - 8

SX 2 - 9



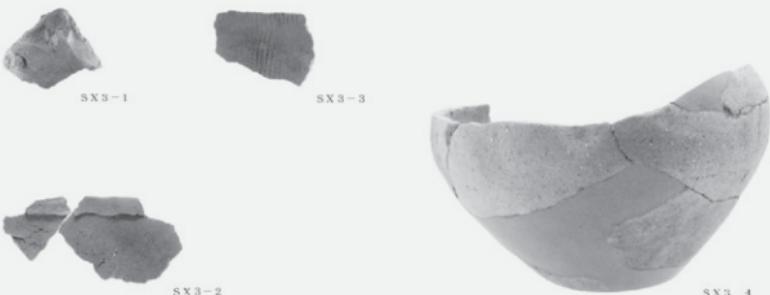
SX 2 - 10

SX 2 - 11



SX 2 - 12

## S X - 3 号性格不明遺構



SX 3 - 1

SX 3 - 3

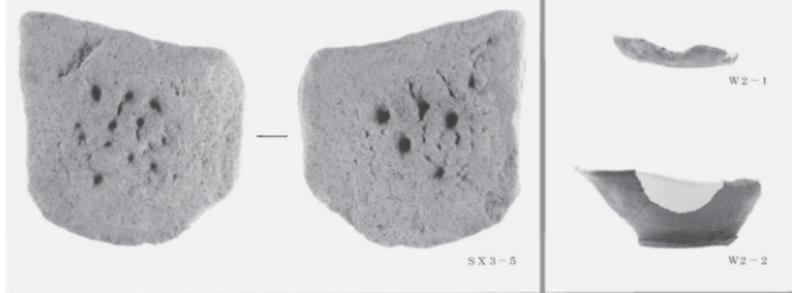
SX 3 - 2

SX 3 - 4

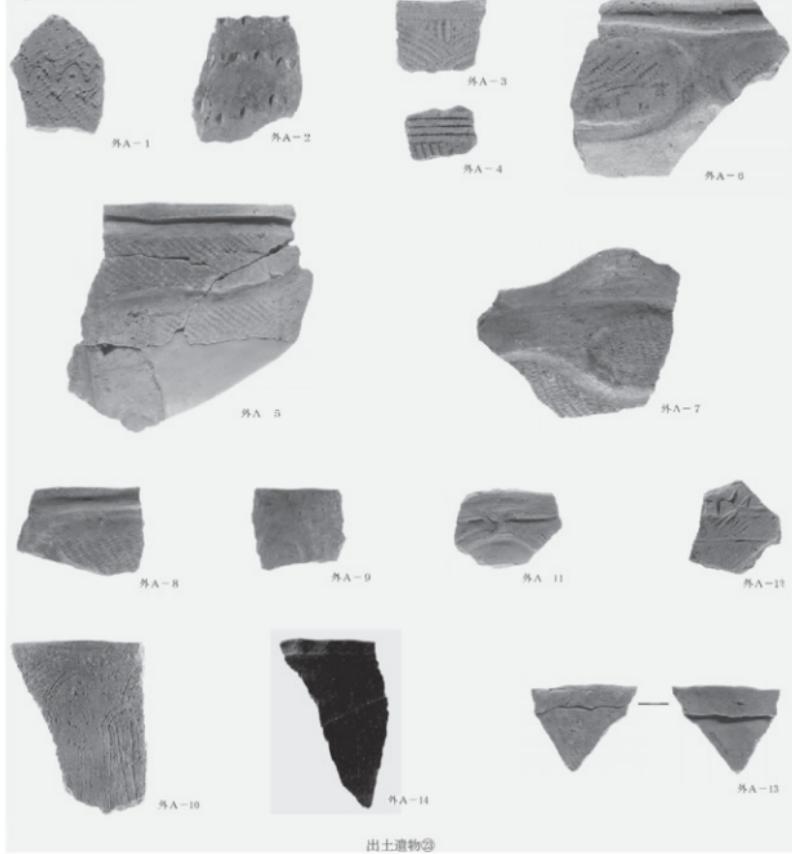
出土遺物②

P L. 34

S X - 3号性格不明遺構

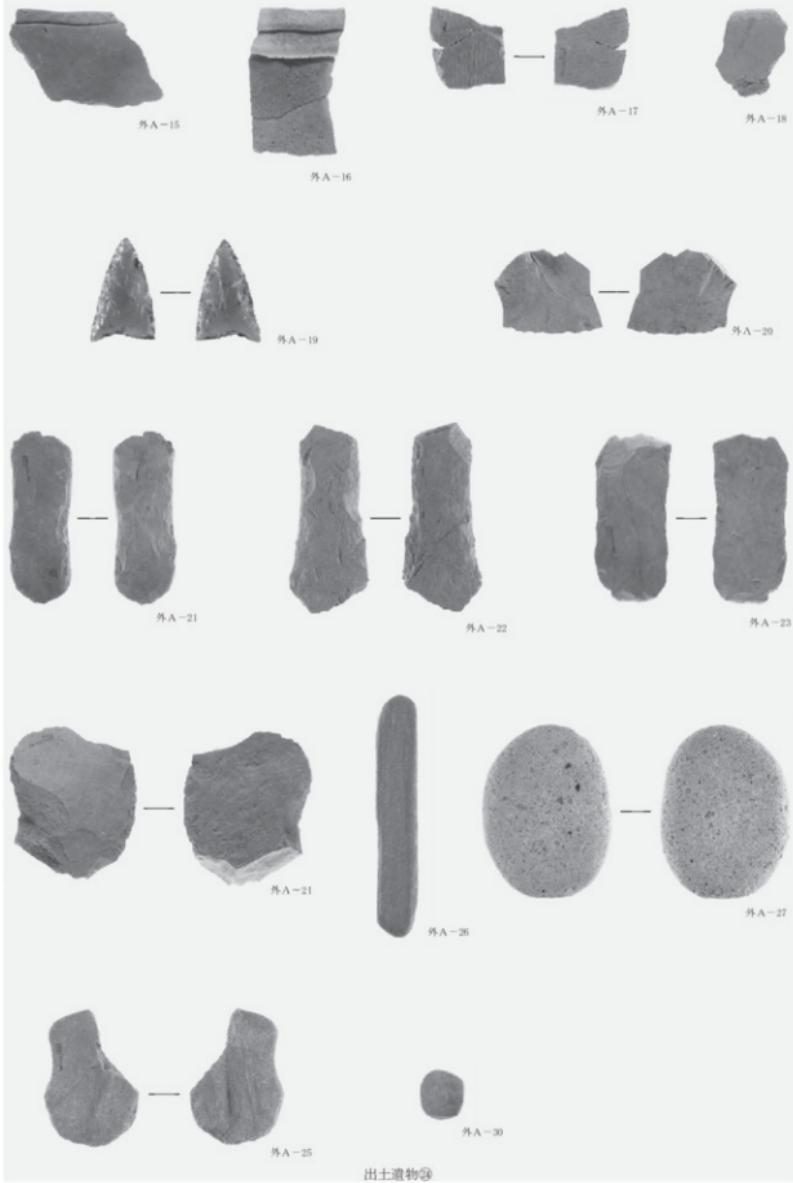


遺構外出土遺物A



出土遺物②

## 遺構外出土遺物 A



出土遺物②

遺構外出土遺物 A



外A-28



外A-29

遺構外出土遺物 B



外B住-1



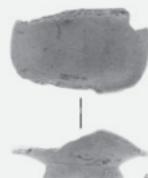
外B住-2



外B住-3



外B住-4



外B住-5



外B住-6

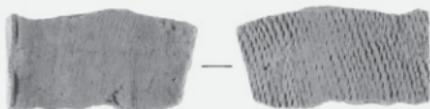


外B住-7

## 遺構外出土遺物B



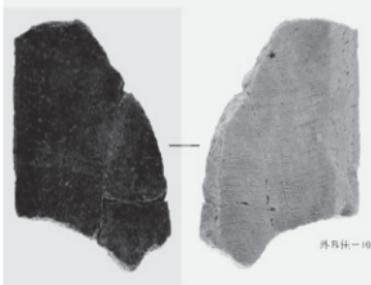
外B住-8



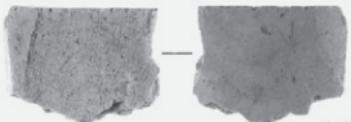
外B住-9



外B住-11



外B住-10



外B住-12



外B住-13



外B住-14



外B住-15

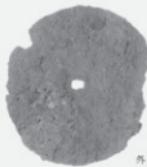
出土遺物③



外B住-17



外B住-19



外B住-21



外B住-18



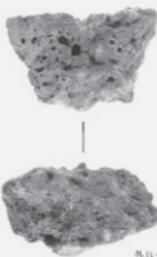
外B-20



—



外B-22



外B-23



外B-24

## 元総社蒼海遺跡群（48）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

---

平成26年3月17日印刷

平成26年3月20日発行

編 集／前橋市教育委員会

発 行／前橋市教育委員会

前橋市三保町二丁目 10- 2

Tel. 027-231-9531

印 刷／朝日印刷工業株式会社

---